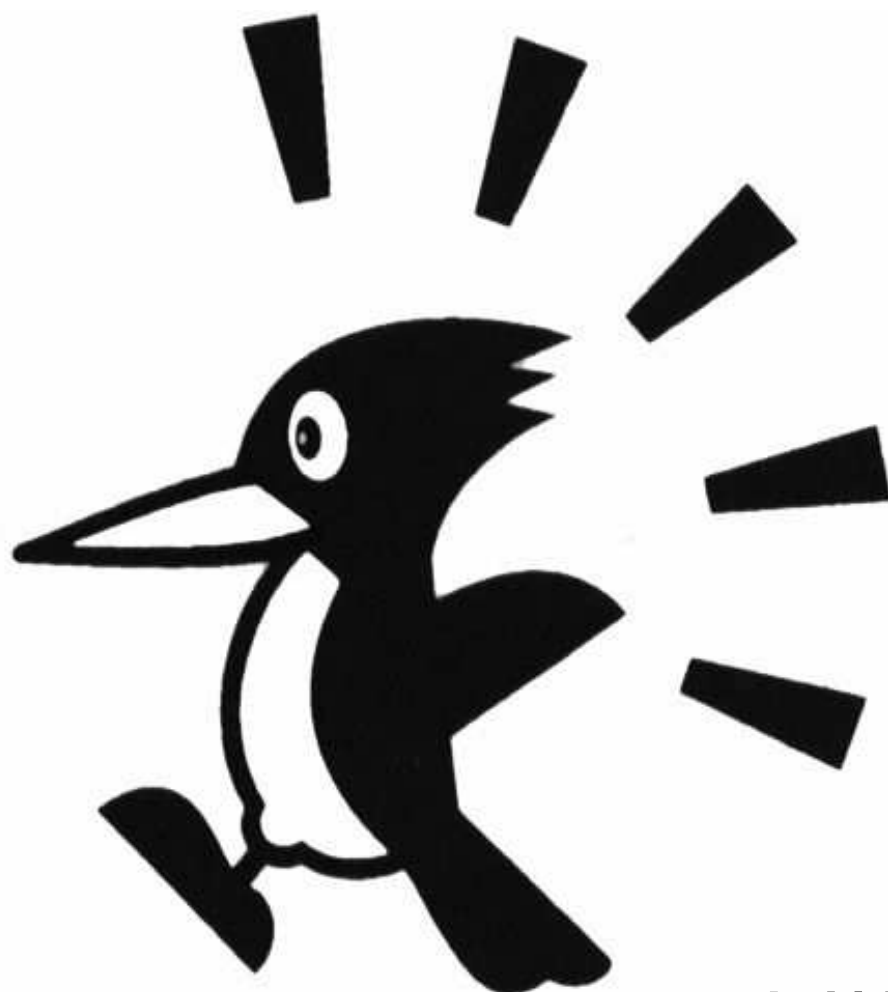


第 2 次
旭地区まちづくり計画
2021-2030

< 後期計画 2026-2030 >

つながる、楽しむ。普通が素敵。
だもんで、旭。



旭地域会議



ますます高まる取組の重要性

旭地区まちづくり計画が初めて作られたのは 2011 年。10 年の取組期間を経て、2020 年に第 2 次まちづくり計画が作られ、5 年経過した今年度、後期 5 か年の旭地区まちづくり計画を地域会議で作ることとなりました。私たちは、基本構想や前期 5 か年計画を学び深め、骨子案を肉付けしながら後期計画を作り上げましたが、地域の皆さんへのアンケートから気づいたことが 2 つあります。

1 つ目は「気持ちが通い合う住民参加のまちづくり」や「美しさや魅力あふれるまちづくり」に関しては、現在の姿に満足していないが重要性を感じていると答えた方が多いという点。2 つ目は「安全に安心して暮らしていけるまちづくり」に関しては、現在の姿に満足しており、さらに重要性を感じていると答えた方が多いという点。この 2 つから、旭地区の皆さんは現状に満足せず、今後一層の取組の重要性を感じているということが分かったのです。

しかしながら、前期 5 か年を振り返ってみると、様々な課題が浮き彫りにされました。人口減少や少子高齢化は日本のトップを走り、コロナ禍を経て、お祭りの消失や商店の廃業、こども園の休園など無くなってしまったものも増えています。

反面、旭には多くの自慢でき誇れる新たな取組が、地域の皆さんの手で創り出されていることもわかりました。それは様々な課題や困りごとを、人と人との結びつきの中で、支え合い助け合ってきた旭の皆さんの温かさがもたらした結果だと思えます。また、旭地区に移住された方が 100 組を超え、旭地区を選び、この旭地区で生き生きと活動されていることが、これからの旭にとっての大きな希望になっていくことも感じ取れました。

変化が激しく、先行きが不透明な時代だからこそ、私たちが大切にしてきたことは、旭では当たり前になっているお互いの顔が見える関係性を保つこと、困ったときに助け合える横のつながりを、次世代の子どもたちにもつなげていくことです。

「いつまでも安心して暮らし続けられる旭地区」にしていきたいという思いを込め、そして、今後 5 年間で旭のために私たち地域住民は何ができるだろうかを考えまとめ、一つの羅針盤として旭地区の方々が手に取っていただけるように考えたまちづくり計画です。ぜひご一読くださり、今後の取り組みに生かしていただきたいと思います。

最後に、アンケートをはじめ、地域で活動する皆さんにも地域会議との意見交換にご協力いただきましたこと、多くの皆さんの声や想いにより後期計画を策定できましたこと、心より感謝申し上げます。

2026 年 2 月

旭地域会議会長 板倉小夜子

— 目 次 —

旭地区の現況	2
第2次旭地区まちづくり計画の概要	4
第2次旭地区まちづくり計画前期計画（2021～2025）の総括	6
計画の全体像	10
後期5か年計画（2026～2030）	11
重点取組項目1 「気持ちが通い合う住民参加のまちづくり」	12
取組分野1 移住・定住	13
取組分野2 子育て、学び・育ち	14
取組分野3 健康づくり	15
重点取組項目2 「安全に安心して暮らし続けられるまちづくり」	16
取組分野1 福祉	17
取組分野2 道路・交通、生活	18
取組分野3 防災、交通安全・防犯	19
重点取組項目3 「美しさと魅力あふれるまちづくり」	20
取組分野1 産業（農林業・商業）	21
取組分野2 観光・交流	22
取組分野3 まち、歴史・文化	23
＜資料編＞	
旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査 結果報告書	24
計画策定の経緯	58
（1）策定の主な経過	58
（2）策定委員	59

旭地区の現況

旭地区の人口推移

旭地区では、この5年間で350人以上の人口が減少し、児童・生徒数も12人減少しています。このままの状態推移した場合、2040年の人口は、1,500人を下回ると予測されています。

■これまでの人口の推移（各年4月1日現在）

単位：人

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
人 口	2,600	2,522	2,422	2,375	2,318	2,244
世 帯 数	1,075	1,055	1,032	1,041	1,035	1,029
人口増減数		△78	△100	△47	△57	△74
内 自然増減※1	-	△35	△42	△49	△47	△45
訳 社会増減※2		△43	△58	2	△10	△29
出 生 数	14	1	4	5	7	-
高齢化率	45.5%	46.4%	47.7%	48.0%	48.7%	49.6%

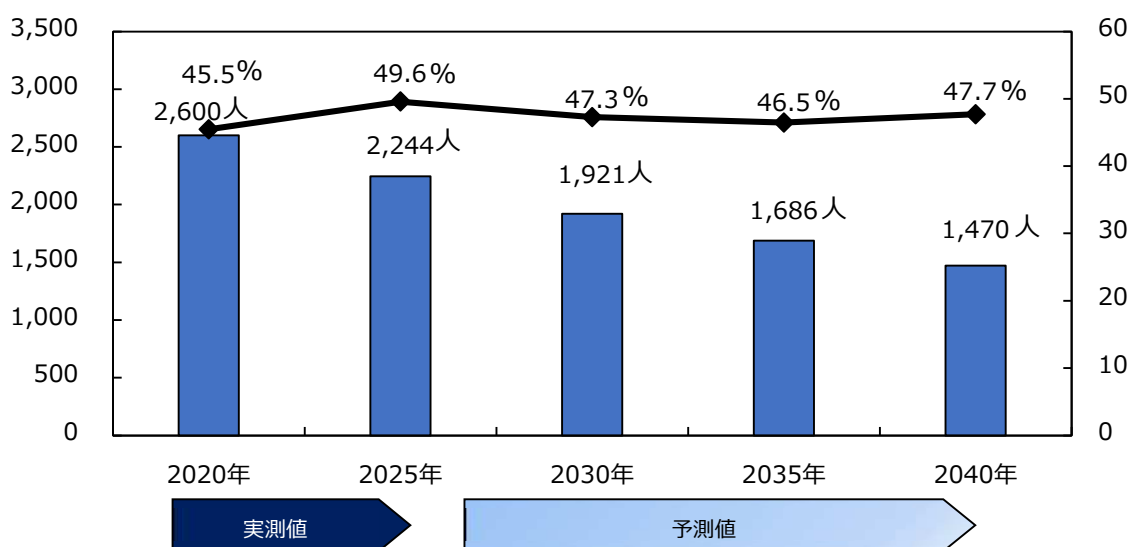
※1 生まれた人の数となくなった人の数の差 ※2 転入した人の数と転出した人の数（市内転居含む）の差

■児童・生徒数の推移（各年5月1日現在）

単位：人

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
小 渡 小 学 校	38	38	38	34	29	26
敷 島 小 学 校	48	53	55	53	47	48
旭 中 学 校	44	40	39	33	41	44
合 計	130	131	132	120	117	118

■人口及び高齢化率の将来予測（各年4月1日現在）※出典：旭地域カルテ



■ 空き家情報バンクの成約状況（※2025年度は12月末現在の数値）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
件数	10件	2件	6件	5件	5件	4件
人数	13人	4人	11人	10人	11人	9人
制度開始以降	80件	82件	88件	93件	98件	102件
累計	189人	193人	204人	214人	225人	234人

地域カルテ※からわかる旭地区の特徴

旭地域カルテ（2022年4月版）から、旭地区の特徴として、次のようなことが挙げられます。

- 豊田市の住みよさ満足度 が 減少している
- 旭地区住民の定住意識 は 上昇している
- 住民参加型のまちづくりが進められていると思う人 が 減少している
- 概ねすべての年代 が 防災対策や医療の充実を求めている傾向が強い

※地域カルテ…地域の概況や将来推計、まちづくりへの参加状況などを中学校区ごとにまとめたもの
旭地域カルテ（豊田市ホームページ）

<http://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/jichiku/1037159/1053954.html>



この5年間で始まったもの、なくなったもの

旭地区ではこの5年間で、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、旅館・飲食店などの商業施設が減少し、また、令和7年度から小渡こども園が休園になりました。

一方で、住民共助の新たな取組や地域団体等と連携した先進的な取組など、今後、旭地区を持続可能な地域にしていくための住民主体の取組がたくさん始まっています。



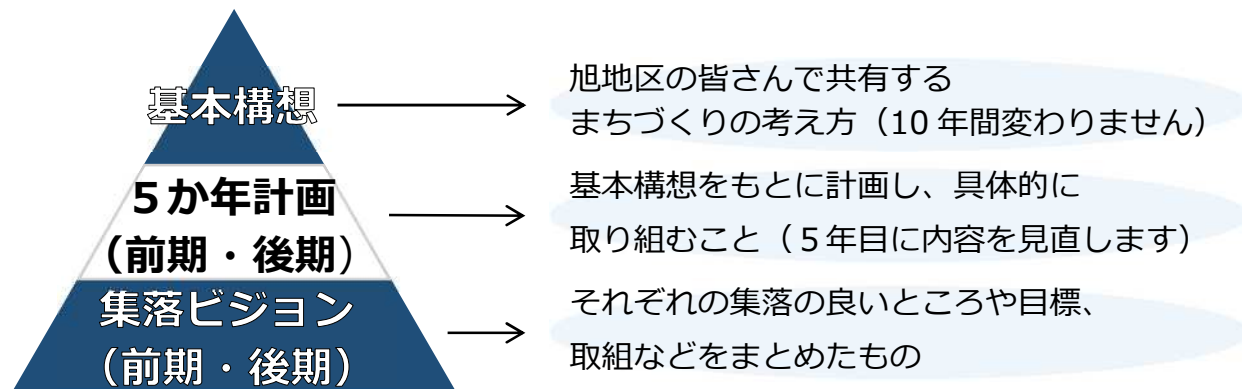
第2次旭地区まちづくり計画の概要

旧旭町が豊田市と合併して16年が経ちます。この間、「この地域をさらに良くしよう」と考え行動する多くの人たちによって、様々な取組が行われてきました。2011年度には「旭地区まちづくり計画（計画期間：2011～20年）」を策定し、まちづくりの方向性が明確となり、活発な地域活動や移住者の受入れが実現しています。

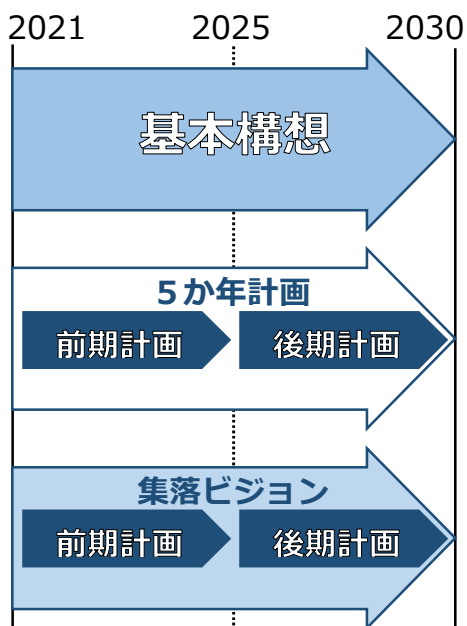
「第2次旭地区まちづくり計画」は、前計画を受け継ぎ、旭地区の皆さんがまちづくりの考え方を共有し、「旭地区をもっと住みやすいまちにしたい」と思う人が、それぞれの立場で、自主的にまちづくりに取り組むことができるようにする「道しるべ」です。

計画は、「基本構想」「5か年計画」「集落ビジョン」の3つから成ります。

第2次旭地区まちづくり計画の構成



計画期間



- **基本構想**：10年間（2021～30年度）
「基本理念」「めざす姿」の2つで構成されます。
 - ・基本理念 まちづくりを進めるために皆さんで共有する基本的な考え
 - ・めざす姿 10年後にめざす旭地区の姿
- **5か年計画**：前期5年間（2021～25年度）
後期5年間（2026～30年度）
 - ・具体的な取組内容をまとめた5年ごとの計画
- **集落ビジョン**：前期5年間（2021～25年度）
後期5年間（2026～30年度）
 - ・町内会ごとの地域づくりの方針と具体的な取組内容をまとめた5年ごとの計画

【まちづくりの基本理念】

「まちづくりの基本理念」は、旭地区に住む皆さんがまちづくり活動をするにあたり、基本的な考え方として共に持ち続けたい「合い言葉」です。

つながる、楽しむ、普通が素敵。だもんで、旭。

「まちづくり」とは何か？と考えたとき、そこに住む人の幸せな生活をつくることではないかと思ひ至りました。

第一に、まちづくりには「縦のつながり」と「横のつながり」が大切だと考えました。旭のいいところの一つである、困ったときに助け合える「横のつながり」。そしてそれを子どもたちの世代につないでいく「縦のつながり」。つながることは、幸せ作りの第一歩だと思います。



そして、「楽しむ」ことの大切さ。人のため、地域のために頑張っても、つらいことは長続きしません。「無理せず、楽しく」も、幸せの大切な要素ではないでしょうか。

最後に、日本中で失われつつある「ご近所さんとの顔の見える関係性」が、旭地区では普通に存在していること、これは大きな強みであると考えました。互いに認め合い、支え合っている旭は、とても素敵です。

【めざす姿】

この計画のゴールである10年後に、旭地区の「ひと」「くらし」「まち」が、どういう状態になっていてほしいかを「めざす姿」として設定しました。

まずは「ひと」。暮らしを楽しんでいることはもちろん、人口が減って高齢者が増えていく社会では、少しお節介なくらいがちょうどいいのではないかと考えました。

そして、安全・安心な「くらし」を守るため、今後、住民同士の支え合いがますます大切になってくるでしょう。

最後に、旭の人には「住み続けたい」、外の人には「行ってみたい」と思われるような自慢の「まち」をめざします。

第2次旭地区まちづくり計画は、

SDGs（エスディージーズ）を推進します。



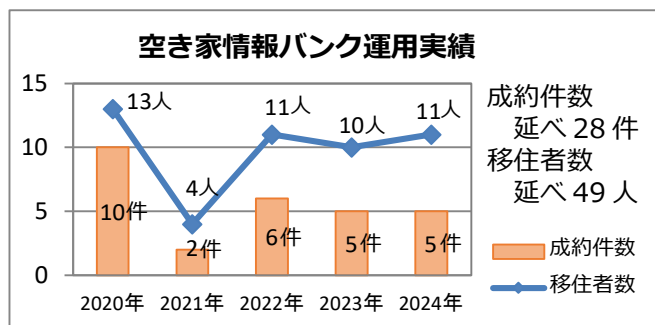
SDGs は、**Sustainable Development Goals**（持続可能な開発目標）の頭文字で、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、17の目標（ゴール）を定めています。豊田市は、SDGsの推進に積極的に取り組む自治体として、内閣府から選定されています。本計画は、17の目標（ゴール）のうち、「11 住み続けられるまちづくりを」と「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の2つをめざします。

第2次旭地区まちづくり計画前期計画の総括

前期5か年の主な事業実績

■空き家情報バンク制度

地域の積極的な働きかけによる空き家の発掘や受け入れ体制の充実により、旭地区は、空き家情報バンクへの物件登録数・成約実績の累計共に、市内で最も高い結果となっています。



■地域課題解決事業*の活用

将来像の実現に向けて、地域課題解決事業の制度を活用し、重点的に取り組むべき課題解決の内容を検討し、事業化するなど、効果的な事業提案と事業実施を進めることができました。

※地域課題の解決策を、市の事業に反映させ、市と地域の共働で解決する仕組み

地域課題解決事業の例	
・旭木の駅プロジェクト推進事業	(H24～)
・花の里づくり事業	(H25～)
・支障木の伐採支援事業	(H25～)
・あさひ高齢者見守り事業	(H26～)
・定住促進事業	(H28～)
・ツキノワグマ対策事業	(R4～)
・里山の景観保全支援事業	(R6～)

■わくわく事業

わくわく事業は、地域資源（人、歴史、文化など）を活用し、地域課題の解決や地域の活性化に取り組む団体を支援する制度で、旭地区ではこれまで、「防災・防犯」、「子育て支援」、「伝統文化や芸能の継承」、「地域の拠点作り」などさまざまな分野で、住民主体のまちづくりが進められています。

わくわく事業交付実績						
項目		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
交付件数		13 団体	11 団体	12 団体	13 団体	17 団体
内訳	新規	4 団体	2 団体	3 団体	3 団体	5 団体
	継続	9 団体	9 団体	9 団体	10 団体	12 団体
交付総額		4,813 千円	4,664 千円	6,593 千円	6,799 千円	8,979 千円

前期 5 年間の取組の検証結果

(1) 関係団体へのヒアリングによる検証結果

各種取組の実績や地域の状況、取組を実践している関係団体へのヒアリング結果などに基つき、各種取組の効果を4段階で評価した結果、23項目のうち19項目が「効果が出ている」「出始めている」、4項目が「効果が薄い」「効果が出ていない」という結果となりました。

これらの取組を、今後どのように継続し、あるいは変えていくかを考えていく必要があります。

取組分野		主な取組項目／検証結果（現状分析）・課題	有効性	方向性
1	移住・定住	定住支援策の推進 ：空き家情報バンクの登録物件が不足している。家を建て替えられる空き地の需要の調査も必要	○	↑
		田舎暮らしの魅力発信 ：都市部の移住希望者への魅力発信	△	↗
		仕事探しの支援 ：周知を図ることや内容の充実が必要	○	↗
	子育て、学び・育ち	子育て環境の充実 ：支援制度は充実しているが実績が少ない	○	↗
		子どものまちづくりへの参加 ：新たな地域教材・講師の発掘	○	→
		生涯学習の推進 ：交流館やつくラッセルでさまざまな講座を開催。住民の学びの場として有効利用する方策が必要	○	→
2	健康づくり	健康寿命の延伸 ：交流館やぬくもりの里主催のイベントは継続的に行われている	○	↗
		まちぐるみの健康づくりの推進 ：参加者の高齢化・固定化	○	→
	福祉	暮らしの不安解消 ：民生委員、包括支援センター、消防等関係機関との連携により支援体制が拡充。見守り活動は継続	◎	→
		高齢者の外出促進 ：旭さんさんクラブは交流館やぬくもりの里で定期的に開催。里モビは車両の老朽化の問題がある	○	↗
	道路・交通、生活	幹線道路・生活道路の整備 ：自治区要望による道路整備を実施	○	→
		バスの利便性の向上 ：住民ニーズに即したバス運行の見直しや多様な手段の移動支援を検討する必要がある	○	↗
		生活環境の整備 ：地域要望に基づき、柿の木伐採を実施。ツキノワグマ講習会の開催。移動販売車が定期的に運行	○	→
	防災、交通安全・防犯	防災活動の充実 ：防災マップ等による意識の向上。単身高齢者等の増加により、避難行動の遅延の可能性	○	↑
		交通事故防止及び防犯対策の推進 ：住民による子どもの見守り運動や立哨活動を実施	○	↗
3	産業（農林業・商業）	地域資源を活用した産業の育成 ：ブランド化認定の仕組み作りが必要。空き店舗の活用による商業活性化	○	↗
		営農体制の整備と鳥獣害対策 ：遊休農地は増えているが、利活用は進んでおらず、獣害もみられており対策が必要	△	↗
		森林保全と森林資源の活用 ：森づくり団地化と計画的な間伐	◎	→
	観光・交流	観光事業の充実と情報発信 ：SNS等を活用した情報発信を実施。ダム酒や御城印の販売。インバウンドへの対応遅れが問題	○	↗
		観光拠点の整備 ：上中のしだれ桃は維持管理が重要。旭高原元気村では、キャンプデッキや散策道の整備により集客を図る	△	↗
		地域内外の交流による地域活性化 ：関係人口を増やすための交流イベント等の実施	◎	→
	まち、歴史・文化	オールあさひの郷土愛醸成 ：旭中学校生徒がわくわく事業で旭の魅力を発信。げんき通信による地域資源等の紹介	○	→
		歴史・伝統文化の継承 ：旭の思い出アーカイブ作品の展示の実施。補助金活用による棒の手・打ち囃子団体の支援	△	↗

※有効性4段階評価／◎確実に効果が出ている、○効果が出始めている、△効果が薄い、×効果が出ていない

※今後の方向性評価／↑更に重点化、↗現状以上、→現状維持、↘縮小

（2）アンケート調査による検証結果

2024 年度に、15 歳以上の旭地区住民を対象としたアンケート調査を実施した結果、第2次旭地区まちづくり計画策定前（2019 年）と比べ、現在の旭の姿に満足している人の割合は、多くの項目で「減っている」状況が伺えました。しかし、それぞれの取組の「重要度は高い」と考えている人が多く、目標とする3つのめざす姿に「近づいてはいないが、重要性は強く感じている」状態であるということが分かりました。

重点取組項目1 気持ちに通い合う住民参加のまちづくり

状態	現在の姿に満足していない（↓）が、重要性を感じている（→）	満足度		重要度	
		2019 年	2024 年	2019 年	2024 年
《 分析 》 ①子育て、保育のしやすい環境、雰囲気への満足度は下がっているが、今後若い世代を旭地区に呼び込むためにも、住民が互いに助け合う仕組みが重要である。 ②移住定住対策に関しては、空き家の発掘、空き家情報バンクへの登録が重要であり、地域や定住委員等の協力が必要である。 ③自然は豊かであるが、土砂災害や獣害の問題もあるため、安全に教育、保育のできる環境の必要性が高まっている。	①子育て、保育のしやすい環境、雰囲気が作られている	15.1%	11.5%	36.9%	39.6%
		↓		↑	
	②移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	26.7%	25.7%	34.8%	33.9%
		↓		↓	
	③豊かな自然や地域資源を生かした学校などの教育、保育環境がある	20.8%	20.3%	30.7%	32.4%
		↓		↑	

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

状態	現在の姿に満足しており（↑）、さらに重要性を感じている（↑）	満足度		重要度	
		2019 年	2024 年	2019 年	2024 年
《 分析 》 ①治山工事や間伐などが継続的に行われていることにより、洪水や土砂災害に対する安全性への満足度は高まっている。 ②今後はさらに高齢化が進み、独居の高齢者も増えていくことが予想されるため、安心して暮らすことができるための支援はより重要となる。 ③必要な医療・福祉サービスが受けられるよう、支援体制をこれまで以上に整えていくことが必要である。	①洪水・土砂災害などの災害に対する安全性が保たれている	5.7%	6.0%	45.7%	50.2%
		↑		↑	
	②高齢者が安心して暮らすことができる	10.1%	13.2%	43.8%	49.0%
		↑		↑	
	③必要な医療・福祉サービスが確保されている	10.0%	11.6%	42.9%	48.6%
		↑		↑	

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

状態	現在の姿に満足していない（↓）が、重要性を感じている（→）	満足度		重要度	
		2019 年	2024 年	2019 年	2024 年
《 分析 》 ①鳥獣害が増えている原因のひとつに、遊休農地の増加がある。その利活用や、鳥獣害対策のための補助金のPRを行い、まちぐるみで対策する必要がある。 ②「旭木の駅プロジェクト」の活動は継続されているが、高齢化の問題もあるため、今後の活動が懸念される。 ③集落営農団体の取組が注目されるようになっているが、今後は担い手の育成も重要である。	①農作物等を守るために必要な鳥獣害対策が進んでいる	12.4%	9.3%	41.0%	46.1%
		↓		↑	
	②森林が健全に保全され森林資源が有効活用されている	7.0%	6.0%	34.6%	39.7%
		↓		↑	
	③営農体制の維持などにより田畑が適切に維持管理されている	8.5%	6.4%	34.6%	36.7%
		↓		↑	

（3）市民意識調査による検証結果

2019年度と2025年度に実施した市民意識調査結果を比較すると、ひとつの調査項目を除いて割合が減少しており、前期計画の取組分野にある「2025年にめざす姿」に近づいていないという結果となりました。一方で、旭地区が住みよいまちだと思う住民の割合は、「15.1ポイント増えている」という結果も出ています。

重点取組項目	取組分野	市民意識調査項目	2019年調査結果	2025年調査結果	分析
1	1	自治区・地域活動に参加している住民の割合	75.8%	68.4%	この5年間の市民意識調査の結果は全体的に下がっている。その中で、社会情勢の変化（コロナによる活動の自粛や環境変化による自然災害の増加など）により、地域住民の「防災」に対する意識は高まっている。
	2	児童生徒とともに行う地域の活動への参加の割合	35.4%	23.4%	
	3	適度に運動するか体を動かしている住民の割合	47.5%	42.3%	
2	1	近所づきあいに満足している住民の割合	80.8%	77.4%	
	3	防災訓練に参加経験がある住民の割合	81.8%	86.4%	
3	3	居住地へ愛着を感じている住民の割合	83.8%	82.0%	
		旭地区が住みよいまちだと思う住民の割合	67.7%	82.8%	

検証結果から見る現状の問題点と課題

重点取組項目	①現状の問題点 各団体へのヒアリング、アンケート、 市民意識調査の結果から抽出	②課題
1 気持ちに通い合う住民参加のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・人口流出 ・地域の担い手不足 ・移住者の受け入れ環境不足（空き家バンク物件数の不足） ・働く場が少ない ・子育て支援策の周知不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭地区の人口減少が進んでおり、さらなる移住の推進が必要である。 ・将来の地域の担い手を増やすためには、こどもを育てる環境を整え、地域内での雇用と就業機会の創出が必要となる。 ・自然環境を生かし、地域への愛着や誇りを持てるような地域と連携した教育が必要である。
2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害時の避難の不安 ・交通事故・犯罪に対する不安 ・移動手段が不便（病院、通学） ・買い物するところが少ない ・商店街の衰退と空き店舗増加 ・単身高齢者世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な暮らしを続けるため、人口減少に伴う小規模集落への支援、生活を支える利便性の高い交通網の形成、災害や防犯対策等が必要である。 ・商店街の魅力が減少し、お客さん離れが進むことが予想されるため、商業が活性化されるような施策が必要となる。
3 美しさの魅力あふれるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の増加 ・森林の荒廃（土砂災害、獣害） ・獣害被害（農地、農作物） ・観光資源・まちの衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を生かした観光事業の充実による関係人口の創出、地域ならではの資源を活かしたブランド事業の推進等を図る必要がある。 ・いつまでも美しい景観を保つために、間伐や遊休農地の利活用、農作物を守るための鳥獣害対策を推進する必要がある。

まとめ

第2次旭地区まちづくり計画（2021-2030年）が策定された2020年以降、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変容や地域社会の関係性の希薄化など、予測不可能な社会情勢が続きました。前期5か年の取組を進めた結果、個別の課題も多く、総合的には目標に近づいていない状況です。しかし、地域への愛着に対する意識は82.0%（第25回市民意識調査2025年）と高く、また、まちづくりへの重要度は5年前より高まっています。これらを踏まえ、旭地区の将来像とその実現に向けた取組を議論し、後期5か年計画を策定します。

計画の全体像

基本構想

2021～30年（10年間）

基本理念

つながる、楽しむ、普通が素敵。だもんで、旭。



つながる

旭のいいところの一つである、困ったときに助け合える「横のつながり」を、子どもたちの世代にもつなげていきたいという思いを込めて。

楽しむ

苦しいこと、つらいことは長続きしないけど、楽しいことならがんばれる。「無理せず、生き生きと、暮らしを楽しんでいる姿」が、10年後の旭の姿だといいなという思いを込めて。

普通が素敵

ご近所さんとの顔の見える関係性が、旭では普通（当たり前）に存在しています。しかしそれは、豊田市、愛知県、ひいては日本全体で失われつつあることでもあります。

旭では「普通」だと思われる「横のつながり」が、失くしたくない素敵なことなんだという思いを込めて。

めざす姿

ひと



人とつながり、暮らしを楽しむ。
少し世話焼きで、人とまちを大切に思うひと。

くらし



助け合い、支え合う。
小さなまちならではの、ふれあい豊かでいつまでも安心できるくらし。

まち



訪れてみたい、帰りたい。
これからもずっと自慢したくなるような美しいまち。



後期5か年計画 2026～30年（5年間）

重点取組項目

重点取組項目 1

P12

気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

若い世代や移住者が地域に定着し、地域の担い手が増え、皆がいつまでも健康で元気に暮らすことで、多くの住民が地域活動に参加できるまちを目指します。

取
組
分
野

移住・定住

P13

子育て、学び・育ち

P14

健康づくり

P15

重点取組項目 2

P16

安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

地域住民が互いに支えあい信頼関係を築くことができ、安全で充実した生活環境が維持されることで、いつまでも安心して暮らし続けられるまちを目指します。

取
組
分
野

福祉

P17

道路・交通、生活

P18

防災、交通安全・防犯

P19

重点取組項目 3

P20

美しさと魅力あふれるまちづくり

森林や農地などの山里が美しい景観を保ち、地域の伝統文化が継承され、一人ひとりが愛着と誇りを持つことで、「ずっと住み続けたい」と思える自慢のまちを目指します。

取
組
分
野

産業（農林業・商業）

P21

観光・交流

P22

まち、歴史・文化

P23

重点取組項目 1 「気」持ちが通い合う住民参加のまちづくり

旭地区では人口減少と高齢化が進み、地域活動の担い手不足が深刻化しています。今後も、地域外からの移住者の受け入れを進めながら、移住してきた人が地域に定着できるような交流や取組を地域活動への参加などを通して推進していく必要があります。

若い世代や移住者が地域に定着し、地域の担い手が増え、皆がいつまでも健康で元気に暮らすことで、多くの住民が地域活動に参加できるまちを目指します。

2030年にめざす状態

■「移住者、定住者を受け入れる雰囲気
が地域にある」満足度（旭地区のまちづくりを考
えるアンケート調査）

25.7%（2024年）

⇒ **30.0%（2030年）**

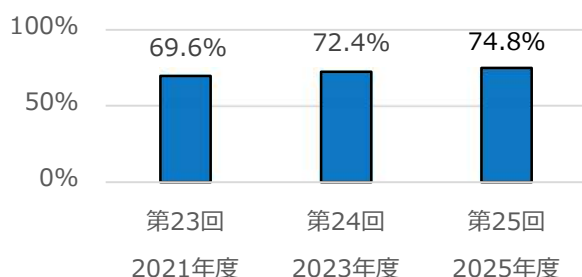
■「集落の維持に必要な地域活動が行わ
れている」満足度（旭地区のまちづくりを考
えるアンケート調査）

16.9%（2024年）

⇒ **20.0%（2030年）**

旭地区の現状

図1 地域への定住意向
（市民意識調査）



旭地区では、地域にこれからも定住し続けたいと思っている人が多いです。直近の市民意識調査（図1）における地域への定住意向 74.8%（豊田市平均 65.5%）は市内第2位であり、地域への愛着から、ずっと旭で住み続けたいという方が多くいることが分かります。

一方、人口減少が進んでいく中で、草刈りなどの地域活動を維持していくた

めには、さらなる移住・定住の推進が必要となってきます。旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査（表1）の「今後力を入れるべき取組」では「子育て・保育環境」や「移住・定住者の受け入れ」の重要性が挙げられており、子育て世代をターゲットに魅力的な教育環境を地域ぐるみで作り出していくとともに、移住者の受け入れ体制を強化していくことが必要です。

表1 今後、力を入れていく取組の重要度が高い項目（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

子育て、保育のしやすい環境づくり	39.6%
移住者、定住者の受け入れ	33.9%
豊かな自然や地域資源を生かした学校などの教育、保育環境	32.4%

※重要度が「高い」、「やや高い」を合わせた割合

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野 1 移住・定住



（1）定住支援策の推進

①空き家の発掘【地域・行政】

定住担当者による空き家の発掘と所有者への交渉＜新規＞、
空き家一覧表の整理＜新規＞、空き家情報バンク制度による情報発信

②空き家所有者への支援【行政】

空き家所有者相談会＜新規＞、空き家改修補助金、空き家片付け補助金

③移住者への支援【地域・行政】

移住者交流会＜新規＞、空き家片付け補助金の対象者の拡充＜新規＞、
空き家活用支援事業、空き家改修補助金、山村地域等定住応援補助金

④家を建て（替え）られる用地の確保など環境整備【行政】

住宅建築に伴う農地活用に対する行政書士相談窓口の設置＜新規＞、
空き地情報バンク制度の運用

（2）田舎暮らしの魅力発信

①移住希望者増加に向けた情報発信及び支援【地域・おいでん・さんそんセンター・行政】

空き家見学ツアー＜新規＞、移住相談＜新規＞、SNSによる情報発信＜新規＞、
地元交流会の開催、エビネの里及び市営住宅入居者へのフォロー体制づくり

②都市と農山村の交流による移住きっかけづくり【地域・おいでん・さんそんセンター】

関係人口を増やす取組＜新規＞、山里ひとなる塾＜新規＞、
農林業体験交流及びセカンドスクールの実施、企業と地域/団体のマッチング事業

（3）仕事探しの支援

①暮らしに合わせた仕事紹介システムの構築【団体・行政】

あさひ小仕事バンクによる求人情報等の掲載＜新規＞

具体的な取組事例

移住・定住地元交流会の開催

移住の促進や定住につなげるため、地域主催で、旭地区への移住希望者や移住してきた人との交流会を開催します。



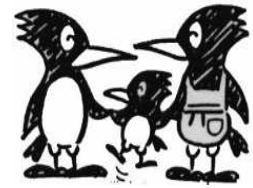
空き家見学ツアーの開催

空き家の活用と移住の促進につなげるため、空き家の見学や地域住民との交流会などの空き家ツアーを開催します。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野2 子育て、学び・育ち



（1）子育て環境の充実

①子育て支援制度・施設の活用及び周知【こども園・ぬくもりの里・交流館・行政】

読み聞かせ講座による親子交流＜新規＞、
こども食堂「リトルキッチンクラブ」の支援＜新規＞、放課後児童クラブ、
保健師による家庭訪問や健康相談、家事育児ヘルパー派遣制度、
ファミリーサポートセンター事業、子育て支援センター（杉本こども園）

②こどもの居場所づくりと交流の場の創出【団体・交流館】

はねっこクラブの開催、あそびま NAVI、
すぎん工房まつり・ふらっと祭による住民同士の交流

（2）こどものまちづくりへの参加

①学校・こども園と連携したこどものまちづくりへの参加【学校・団体】

多文化交流の実践（小渡小学校）＜新規＞、学習発表（敷島小学校）＜新規＞、
各種地域イベントへの参加、まちづくり団体活動への参加、
わくわく事業「旭中サンライズプロジェクト」

②地域住民の学校教育への参加・協力と郷土学習の推進【学校・地域・団体】

地域人材の発掘とコーディネート（学びあい本部）、
授業等での地域住民・活動団体の指導及び協力、郷土芸能の指導

（3）生涯学習の推進

①学びの場の充実【学校・地域・団体・交流館・行政】

旭中学校の地域住民への利用開放（学びあい本部）、交流館事業の実施、

具体的な取組事例

旭中サンライズプロジェクト

旭中学校の生徒が地域の活性化を目指して、仲間や地域の人々と共働しながら、さまざまな課題の解決や取組を実践しています。



ハラペーニョ商品の開発

交流館事業の実施

地域に根ざした温かなコミュニティの形成に向けて、地域の住民が、健康や文化、歴史などを楽しく学びながら交流する講座などを実施しています。



旭の魅力再発見講座

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野3 健康づくり



（1）健康寿命の延伸

①自分の健康状態を知る【地域・ぬくもりの里・交流館・行政】

若者・働く世代の健康チェック等による健康づくり啓発＜新規＞、
出前講座の開催や健康チェックの拡充（自治区・交流館講座）、
健康診査の受診勧奨の充実、地域ふれあいサロン参加者の体力測定

②規則正しい生活習慣や運動習慣の定着【交流館・行政】

ボッチャ・モルックの無料貸し出し＜新規＞、能楽師による呼吸法講座＜新規＞、
各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催、
管理栄養士等による生活習慣病予防の啓発活動の実施

③歯と口の健康の推進【交流館】

歯科衛生士による歯と口の健康に関する出前講座の開催

④規則正しい生活習慣の定着【地域・学校・行政】

学校保健委員会活動や保健師による健康教室の実施、
保護者を対象にした生活習慣病予防に関する取組の充実

⑤認知症予防を目的とした学びの教室＜新規＞【ぬくもりの里・交流館・行政】

ぬくもり教室の開催＜新規＞、高齢者の体力づくり、転倒予防、
認知症予防を目的とした「元気アップ教室」

（2）まちぐるみの健康づくりの推進

①健康になるための活動ができる仲間や場所づくり【地域・ぬくもりの里・交流館】

健康づくり教室＜新規＞、地域ふれあいサロン・高齢者クラブ・交流館自主グループ活動等の継続実施と各関係機関と連携した事業の推進

②まちぐるみ家族ぐるみで推進する多世代参加の健康づくり【地域・ぬくもりの里・交流館】

ぬくもり参観日、旭&朝日丘ふれあい交流事業、自治区行事、交流館講座の開催

具体的な取組事例

移動販売での健康チェック

移動販売と合わせて、血管年齢の測定や噛む力のチェックなどの健康測定を行うことで、住民の健康づくりをサポートします。



ぬくもり教室・ぬくもり参観日の開催

「認知症予防」や「介護」などをテーマに、脳トレ、栄養、体操など、楽しく輝きながら年を重ねられる講座「ぬくもり教室」の実施や、地域住民や利用者家族に施設を周知する「ぬくもり参観日」を開催します。



安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

重点取組項目2

高齢化が進む旭地区では、地域のつながりを活かした支え合い・助け合いが求められています。防災体制の強化や旭で安心して暮らし続けられる福祉サービスの整備などが、今後さらに重要になっていきます。

地域住民が互いに支えあい信頼関係を築くことができ、安全で充実した生活環境が維持されることで、いつまでも安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

2030年にめざす状態

■「困ったときに助け合える近所付き合いが行われている」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

28.3%（2024年）

⇒ **30.0%（2030年）**

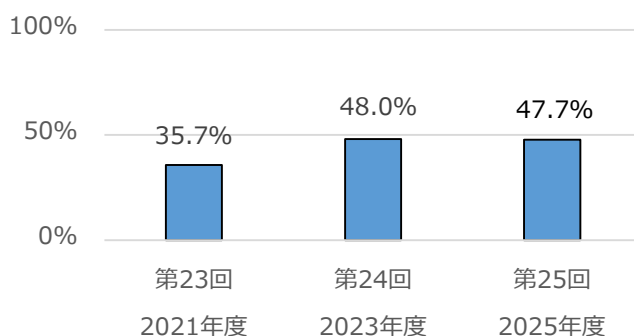
■「高齢者が安心して暮らすことができる」満足度（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

23.2%（2024年）

⇒ **25.0%（2030年）**

旭地区の現状

図2 近所とのつきあい
（市民意識調査）



旭地区では、高齢化率が上昇しているとともに、単身高齢者の数も増加しています。市民意識調査（図2）の「近所とのつきあいがどれくらいありますか」においては、市内平均16.7%と比較すると、旭地区の日常的なつきあいの割合は高い数値になっています。顔の見える関係性や日常적인見守り活動などの成果が表れた結果と断っていいでしょう。

また、旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査（表2）においては、「今後力を入れるべき取組」として、「災害への安全対策」や「高齢者が安心して暮らすことができる環境整備」が上位に挙がりました。有事の際や困りごとがあった際に、支え合い、助け合える関係性を築きながら、安全に安心して暮らし続けられる生活環境を維持することが必要になってきます。

表2 今後、力を入れていく取組の重要度が高い項目（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

洪水・土砂災害などの災害に対する安全対策	50.2%
高齢者が安心して暮らすことができる環境整備	49.0%
必要な医療・福祉サービスが確保	48.6%

※重要度が「高い」、「やや高い」を合わせた割合

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野 1 福祉



（1）暮らしの不安解消

①困りごとに対する相談・支援体制の確立【地域・ぬくもりの里・行政】

しきしま支え合いシステム＜新規＞、相談支援及び関係機関との連携（ぬくもりの里、民生委員等）、第3次地域福祉活動計画事業の実践

②地域ぐるみの見守り活動の充実【地域・団体・ぬくもりの里・行政】

福祉特派員制度のPR及び情報交換会の開催、豊田市ささえあいネット～高齢者見守りほっとライン～、ひとり暮らし高齢者登録、緊急連絡先カード・お困りカードの活用、安否確認旗活動（幸せの黄色いハンカチ運動の会）

③地域と連携した介護予防＜新規＞【地域・ぬくもりの里】

家族介護交流事業（介護者のつどい）

（2）高齢者の外出促進

①高齢者の移動手段に関する困りごとの解決【地域・団体・ぬくもりの里・行政】

住民共助の仕組みによる移動支援の実証実験＜新規＞、たすけあいプロジェクトの推進（たすけあいカー）、小型モビリティ「里モビ」の活用、自治区敬老会開催支援

②高齢者のいきがいと居場所づくり【地域・団体・ぬくもりの里・行政】

旭さんさんクラブの開催、地域ふれあいサロンの開催、高齢者クラブ活動の継続、福祉農業実践プロジェクト（メグ友会）、老人福祉センターぬくもりの里（おしゃべりカフェ）、老人憩の家あさひ荘の管理・運営

具体的な取組事例

安否確認旗活動（幸せの黄色いハンカチ運動の会）

黄色い旗の出し入れを通じて、主にひとり暮らしの高齢者の安否確認や犯罪の抑止、認知症の早期発見などにつなげていきます。



住民共助の仕組みによる移動支援の実証実験

バス停まで行くことができず、バス等の公共交通を利用できないひとり暮らし高齢者等の移動を支えるため、地域住民自らがドライバーとなり、目的地まで送迎する実証実験を始めています。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野2 道路・交通、生活



（1）幹線道路・生活道路の整備

①県道、市道及び生活道路の整備促進【地域・行政】

通行支障木の伐採支援事業（高所作業支援・委託伐採）、各地区の期成同盟会による陳情（県道）、自治区工事申請書の提出（市道）、県管理道路における草刈り作業、市道及び河川における草刈り作業

（2）バスの利便性向上

①持続可能なバス運行の見直し【地域・行政】

利用状況の検証・運行見直し（停留所の増移設、運行内容の見直し）、旭地域交通協議会での検討

②地域バスの利用促進に向けた検討・実施【地域・行政】

地域バス乗車特典の実施

③高校生等のバス通学にかかる費用の負担軽減＜新規＞【行政】

豊田市高校生等バス通学定期券購入費補助金＜新規＞

（3）生活環境の整備

①ツキノワグマ対策の実施【地域・行政】

ツキノワグマ講習会の実施＜新規＞、生活支障木（柿の木）の伐採支援事業

②買い物環境の向上【地域・企業・行政】

日用品の移動販売、個人宅配サービス

③生活環境の整備における作業効率化及び負担軽減【地域・おいでん・さんそんセンター・行政】

とよたの山里応援隊の活用＜新規＞、雑草刈機の貸し出し＜新規＞

具体的な取組事例

通行支障木の伐採支援事業

市道沿い等において、路肩の木竹の繁茂等により車両の通行に支障が出ている箇所について、枝払いや樹木の伐採等を実施し、生活道路の環境改善を実施します。



とよたの山里応援隊の活用

過疎化や高齢化により実施が難しくなった草刈り等の集落活動やその他のまちづくり活動に対して、ボランティアとして活動する意欲がある個人を登録し、山村地域の住民とともに保全活動や交流活動等を行っています。



※後期 5 か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野 3 防災、交通安全・防犯



（１）防災活動の充実

①減災・防災意識の向上啓発【地域・団体・交流館・行政】

乳幼児がいる家庭向けの防災講座＜新規＞、防災訓練の実施、
自主防災会事業補助金の活用

②災害時の迅速な避難行動のための防災体制の推進【地域・団体・ぬくもりの里・行政】

雨量計の設置による降水量の測定＜新規＞、福祉事業間での災害時に関する意見
交換＜新規＞、災害時避難訓練の実施、災害時避難行動マニュアルの作成・周知、
避難行動要支援者情報の活用、防災マップ及びハザードマップの活用、
情報伝達手段の周知

（２）交通事故防止及び防犯対策の推進

①住民相互の交通安全・防犯活動の実施【地域・学校・ぬくもりの里・行政】

ご近所同士の声掛け・パトロール等の実施、登下校時の子どもの見守り活動、
交通安全立哨活動

②交通事故及び犯罪を防ぐための支援制度の活用【地域・行政】

防犯カメラ・防犯灯の設置、自主防犯活動物品支給制度の活用、
交通事故防止設備の整備（ガードレール、カーブミラー等）

具体的な取組事例

雨量計の設置による降水量の測定

旭地区内の 20 か所以上に簡易の雨量計を設置し、雨量観測を実施。スマホを使った情報伝達を行い、大雨などの際に地域住民自らが危険になる前に自らの災害対応に結びつけられるようにする。



防犯カメラ・防犯灯の設置

こどもたちが学校から帰る際の安全対策や犯罪の抑止のため、街灯がない道路への防犯灯の設置や、適切な維持・管理を進め、地域の安全を守っています。



美

しさと魅力あふれるまちづくり

重点取組項目 3

旭地区の住民が、これからも旭に住み続けたいと思うためには、旭特有の美しい景観や伝統文化を守り、地域への愛着と誇りをもつことが大切です。合わせて、関係人口や観光客などとの交流を通し、旭の良さや魅力を再発見することで、地域に対する誇りを深めていく必要があります。

森林や農地などの山里が美しい景観を保ち、地域の伝統文化が継承され、一人ひとりが愛着と誇りを持つことで、「ずっと住み続けたい」と思える自慢のまちを目指します。

2030年にめざす状態

■「豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境がある」満足度
(旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

20.3% (2024年)

⇒ **25.0% (2030年)**

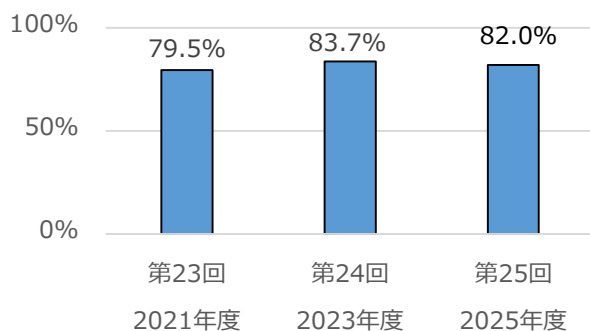
■「集落活動などにより、美しい農村景観が守られている」満足度 (旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査)

13.2% (2024年)

⇒ **15.0% (2030年)**

旭地区の現状

図3 居住地への愛着
(市民意識調査)



旭地区では、多くの人が居住地に愛着を持っています。直近の市民意識調査（図3）における82.0%は、市内平均77.5%と比較し約5%も高いことから、地域への誇りと愛着をもつ人が旭地区には多くいることが分かります。

また、旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査（表3）で「今後力を入れるべき取組」については、「農作物等を守るための鳥獣害対策」や「森林資源の有効活用」が上位に挙がりました。旭地区の特産品であるお米を守ることや、健全な森林・里山の整備を行うことで、美しい景観も含めた地域資源の活用によるまちづくりが必要になってきます。

表3 今後、力を入れていく取組の重要度が高い項目（旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査）

農作物等を守るために必要な鳥獣害対策の推進	46.1%
森林が健全に保全され、森林資源が有効活用	39.7%
営農体制の維持などによる、田畑の適切な管理	36.7%

※重要度が「高い」、「やや高い」を合わせた割合

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野 1 産業（農林業・商業）



（1）地域資源を活用した産業の育成

- ①地域通貨や特産品を活用した商業活性化【地域・団体・商工会・観光協会・行政】
御城印・矢作ダム貯蔵酒の販売＜新規＞、地域通貨（モリ券・商工会商品券）の発行、ブランド化による特産品の販売、自然薯等の6次産業事業支援
- ②地域の施設や土地、人材の有効活用による産業の活性化【団体・行政】
しきしまの家「ふらっと yui」の運営＜新規＞、空き家店舗活用補助金＜新規＞、空き地や空き施設への企業誘致・施設園芸等による利活用の検討、つくラッセルの有効活用

（2）営農体制の整備と鳥獣害対策

- ①集落営農の取組と担い手の育成【地域・団体・おいでんさんそんセンター・行政】
しきしまの家「自給家族」の運営＜新規＞、集落営農事業の推進、農地環境整備事業、農業体験の実施（セカンドスクール等）
- ②遊休農地の利活用【地域・団体・おいでんさんそんセンター・行政】
農地保全相談窓口＜新規＞、遊休農地を利用した赤蕎麦の栽培＜新規＞、農地バンク制度の活用、都市と農山村の交流・外部活力の活用（農業体験の実施）
- ③獣害対策の推進【行政】
獣害対策支援制度の活用（柵・ネット等の購入補助）

（3）森林保全と森林資源の活用

- ①健全な森づくりと森林資源の有効活用【地域・団体・行政】
家裏危険木伐採事業＜新規＞、森づくり会議の設置、森づくり団地化による間伐の推進、旭木の駅プロジェクト事業の推進
- ②各種活動団体と連携した木育・林育の推進【地域・団体・行政】
小中学校と連携した森林学習・間伐体験＜新規＞、ツリーハウスや遊具づくり等（あそびま NAVI）、森の健康診断・薪割り体験等（あさひ根っ子の会）

具体的な取組事例

矢作ダム貯蔵酒の販売

旭地区の観光資源でもある矢作ダム堤内に豊田市内4か所の酒蔵の吟醸酒等を貯蔵しています。矢作ダム貯蔵酒を使ったイベントなどを通じて、地域活性化を行います。



遊休農地の利活用

遊休農地になっている田畑について、わくわく事業などを通じて、地域団体等が主体で耕作等を行い、再生・利活用することで、新たな地域交流の活性化などにつなげます。



浅谷蕎麦倶楽部の活動

※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野2 観光・交流



（1）観光事業の充実と情報発信

①地域イベント等の情報発信【観光協会・行政】

旭観光協会等の HP・SNS 等による情報発信、地域イベント等の窓口一元化

②観光客誘致策の推進【地域・商工会・観光協会・行政】

世界ラリー選手権開催支援＜新規＞、アジア競技大会の運営サポート＜新規＞、旭マルシェの開催、地域資源の温泉や川を活用した誘致活動、新たな体験プランの作成

（2）観光拠点の整備

①地域資源を活かした花の里づくり事業【地域・観光協会・行政】

観光及び経済の拠点となる小渡町及び笹戸町を花の里として整備、上中しだれ桃の維持管理

②旭高原元気村の活用促進【元気村・行政】

キャンプデッキエリア等を活用した誘客＜新規＞、旭高原体験型プログラムの充実、散策道の再整備

（3）地域内外の交流による地域活性化

①交流事業による関係人口の増加【学校・交流館】

姉妹都市提携国等の外国人との異文化交流会（小渡小学校）＜新規＞

具体的な取組事例

SNS 等による情報発信

Instagram などの SNS やホームページなどを活用し、観光やイベント、地域の情報などを発信していくことで、交流人口や関係人口の増加を図っていきます。



キャンプデッキエリア等を活用した誘客

旭高原元気村に新設されたキャンプデッキエリアやトイレ・シャワー等の水廻り施設をPRし、キャンプ好きなどをターゲットに誘客を推進していきます。



※後期5か年計画で新たに記載する取組は、＜新規＞を付けています。

取組分野3 まち、歴史・文化



（1）オールあさひの郷土愛醸成

①地域情報の共有及び魅力発信【地域・団体・行政】

S N Sや動画による情報発信

あさひげんき通信を活用した各種取組・地域資源の紹介

（2）歴史・伝統文化の継承

①地域の歴史・文化財の保存【地域・観光協会・行政】

旭郷土資料館作品の展示＜新規＞、各団体・町内会による歴史の振り返り

②郷土芸能、郷土食などの伝統文化の継承【地域・商工会・行政】

ブランド化認定制度の創設＜新規＞

ブランド化による郷土食や特産品の販売

郷土芸能の披露の場（あさひまつり）

元気な愛知の市町村づくり補助金の活用による棒の手等保存会の支援

具体的な取組事例

あさひげんき通信を活用した各種取組・地域資源の紹介

旭に関わる行事やニュースなどを、地域の人が地域のことを知るツールとして、取材などを通して掲載していきます。



旭郷土資料館作品の展示

旭郷土資料館の閉館に代わり、旭観光協会内の窓口で、旭地区の歴史的な文化財や当時の写真などの企画展示を行っています。



資料編

旭地区のまちづくりを考える
アンケート調査 結果報告書

目次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収結果	1
(6) 調査項目	1
2 調査結果	2
(1) 各設問の調査結果	2
(2) 旭地区のまちづくり全般について	9
(3) 旭地区の施設やイベントへの参加状況について	15
(4) 自由意見のまとめ	47

令和6年10月

旭地域会議
豊田市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第2次旭地区まちづくり計画の後期5か年計画策定に向けて、前期5か年計画を振り返り、現状を把握するための資料とします。

(2) 調査対象

旭地域に住む15歳（令和6年4月1日現在）以上（高校生以上）の全員2,136人及び旭中学校41人の全校生徒を対象としました。

(3) 調査方法

調査票は区長会を通じて、町内会長に配付。町内会長は各世帯（令和6年4月1日現在で15歳以上（高校生以上）の世帯人数分）へ直接配付していただき、回収も各世帯から町内会長、町内会長から自治区長へと直接回収していただきました。

中学生については、インターネット上のアンケートフォーム（Google Form）にて回答いただきました。

(4) 調査期間

令和6年7月2日（火）から令和6年9月3日（火）まで

(5) 回収結果（中学生含む）

抽出数	有効回答数	有効回答率
2,177人	1,356人	62.3%

(6) 調査項目

- ① 回答者の属性に関する質問 7問
- ② 現在の生活環境に関する質問 29問
- ③ 今後力を入れていくべき取組に関する質問 29問
- ④ 利用または見学したことのある場所や施設に関する質問 1問
- ⑤ 参加または見学したことのあるイベントに関する質問 1問
- ⑥ 参加または見学したことのある伝統行事に関する質問 1問
- ⑦ 自由記載欄 1問

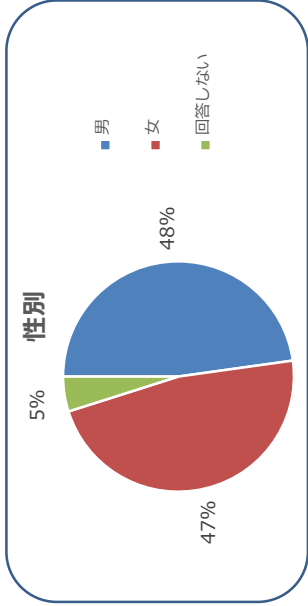
2 調査結果

(1) 各設問の調査結果

問1 あなたの性別は？

①全体 (単位：人)

男	女	回答しない	総計
648	642	66	1,356



②自治区別

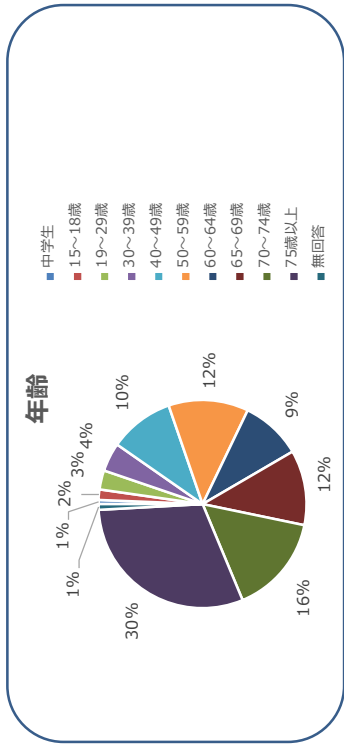
(単位：人)

	男	女	回答しない	総計
浅野	138	144	11	293
小渡	99	104	8	211
笹戸	64	60	9	133
敷島	243	232	25	500
築羽	104	102	13	219
総計	648	642	66	1,356

問 2 あなたの年齢は？

①全体

(単位：人)						
中学生	15～18 歳	19～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	
9	22	40	60	137	168	
60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上	無回答	総計	
128	158	210	412	12	1,356	



②自治区別

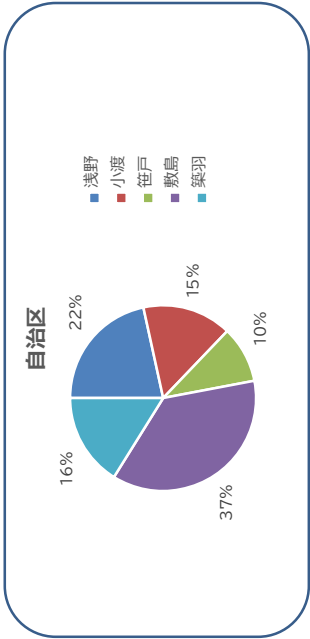
(単位：人)						
	中学生	15～18 歳	19～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳
浅野	0	4	7	12	28	32
小渡	1	4	5	4	16	23
笹戸	1	4	6	3	13	16
敷島	4	7	16	30	57	73
築羽	3	3	6	11	23	24
総計	9	22	40	60	137	168

	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上	無回答	総計
浅野	36	31	51	91	1	293
小渡	19	28	27	84	0	211
笹戸	10	18	20	38	4	133
敷島	50	47	77	134	5	500
築羽	13	34	35	65	2	219
総計	128	158	210	412	12	1,356

問 3 あなたのお住まいの地区（自治区）は？

(単位：人)

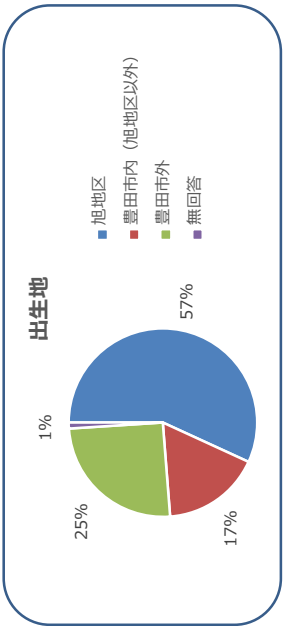
浅野	小渡	笹戸	敷島	築羽	総計
293	211	133	500	219	1,356



問 4 あなたの出生地（お生まれ）は？

①全体

(単位：人)			
旭地区区内	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	総計
771	230	341	1,356



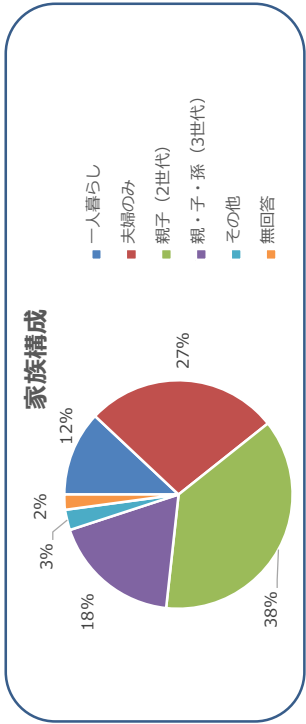
②自治区別

(単位：人)			
	旭地区	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外
浅野	171	36	84
小渡	127	33	51
笹戸	79	19	32
敷島	268	100	128
築羽	126	42	46
総計	771	230	341

問 5 あなたの家族構成は？

①全体

(単位：人)					
一人暮らし	夫婦のみ	親子 (2世代)	親・子・孫 (3世代)	その他	総計
163	370	507	248	39	1,356



②自治区別

(単位：人)					
	一人暮らし	夫婦のみ	親子 (2世代)	親・子・孫 (3世代)	その他
浅野	36	86	129	34	3
小渡	26	69	71	40	3
笹戸	23	30	43	27	3
敷島	53	133	193	93	19
築羽	25	52	71	54	11
総計	163	370	507	248	39

- 「その他」の内容（主なもの）
 - ・4世代…8件
 - ・兄弟姉妹…7件

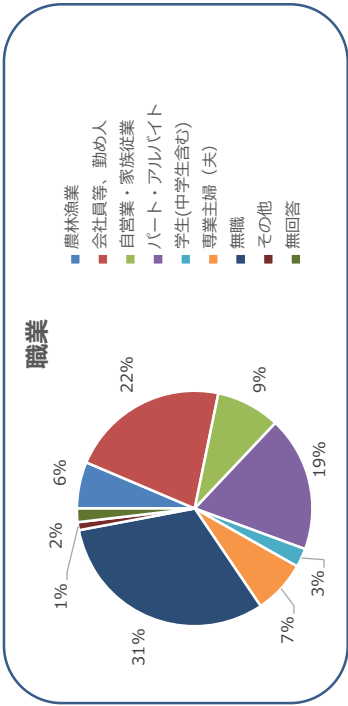
問 6 あなたの職業は？

①全体

(単位：人)

農林漁業	会社員等 勤め人	自営業 家族従業員	パート アルバイト	学生 (中学生含む)
87	296	119	252	35

専業主婦(夫)	無職	その他	無回答	総計
100	427	15	25	1,356



②自治区別

(単位：人)

	農林漁業	会社員等 勤め人	自営業 家族従業員	パート アルバイト	学生 (中学生含む)
浅野	10	59	17	59	6
小渡	12	38	39	29	5
笹戸	6	24	13	31	6
敷島	39	123	35	98	11
築羽	20	52	15	35	7
総計	87	296	119	252	35

	専業主婦(夫)	無職	その他	無回答	総計
浅野	23	111	6	2	293
小渡	13	69	2	4	211
笹戸	6	39	2	6	133
敷島	40	140	3	11	500
築羽	18	68	2	2	219
総計	100	427	15	25	1,356

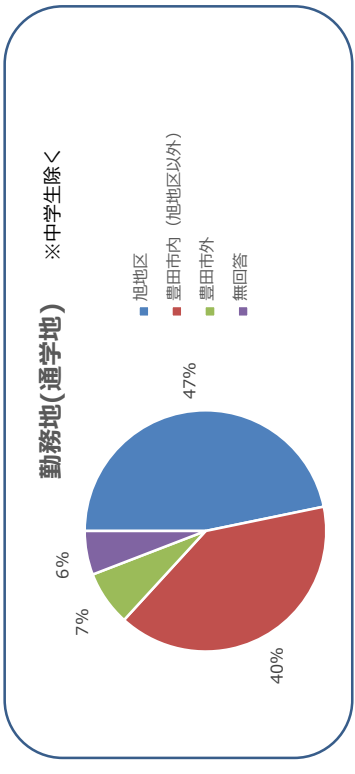
- 「その他」の内容(主なもの)
 - ・両親の介護
 - ・会社役員

問 7 あなたの勤務地(通学地)は？ (問6で1～5に該当のみ※) ※中学生除く

①全体

(単位：人)

旭地区	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	無回答	総計
367	314	58	46	785



②自治区別

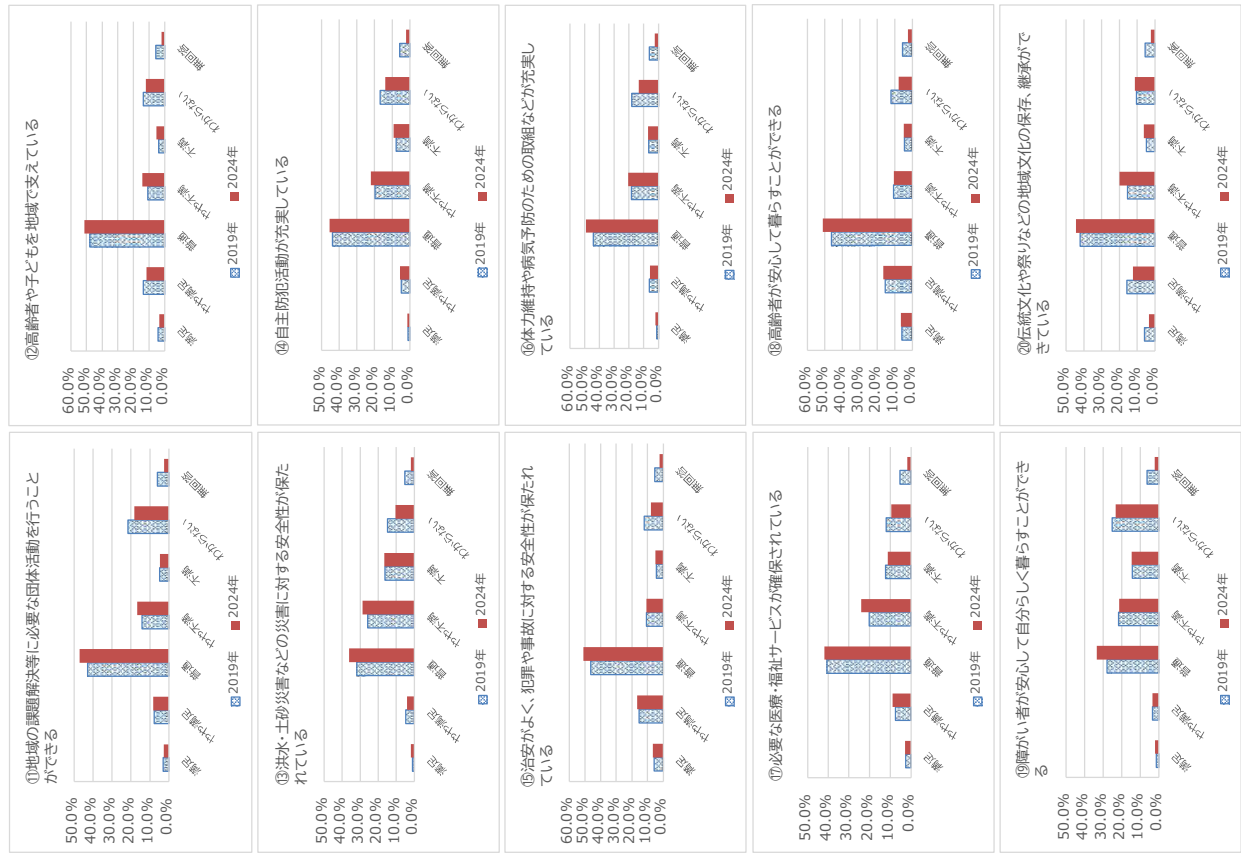
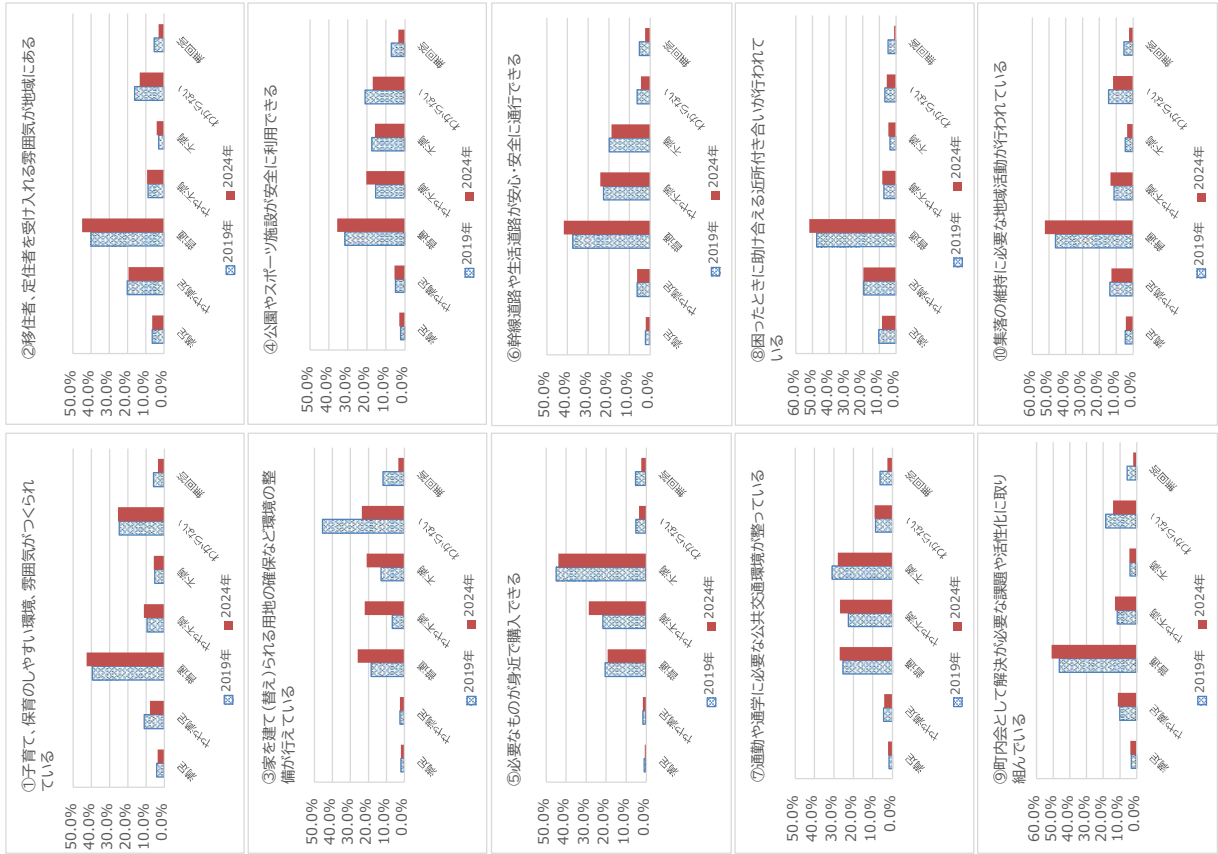
(単位：人)

	旭地区	豊田市内 (旭地区以外)	豊田市外	無回答	総計
浅野	66	62	12	11	151
小渡	73	34	5	11	123
笹戸	41	31	4	4	80
敷島	126	136	27	14	303
築羽	61	51	10	6	128
総計	367	314	58	46	785

(2) 旭地区のまちづくり全般について

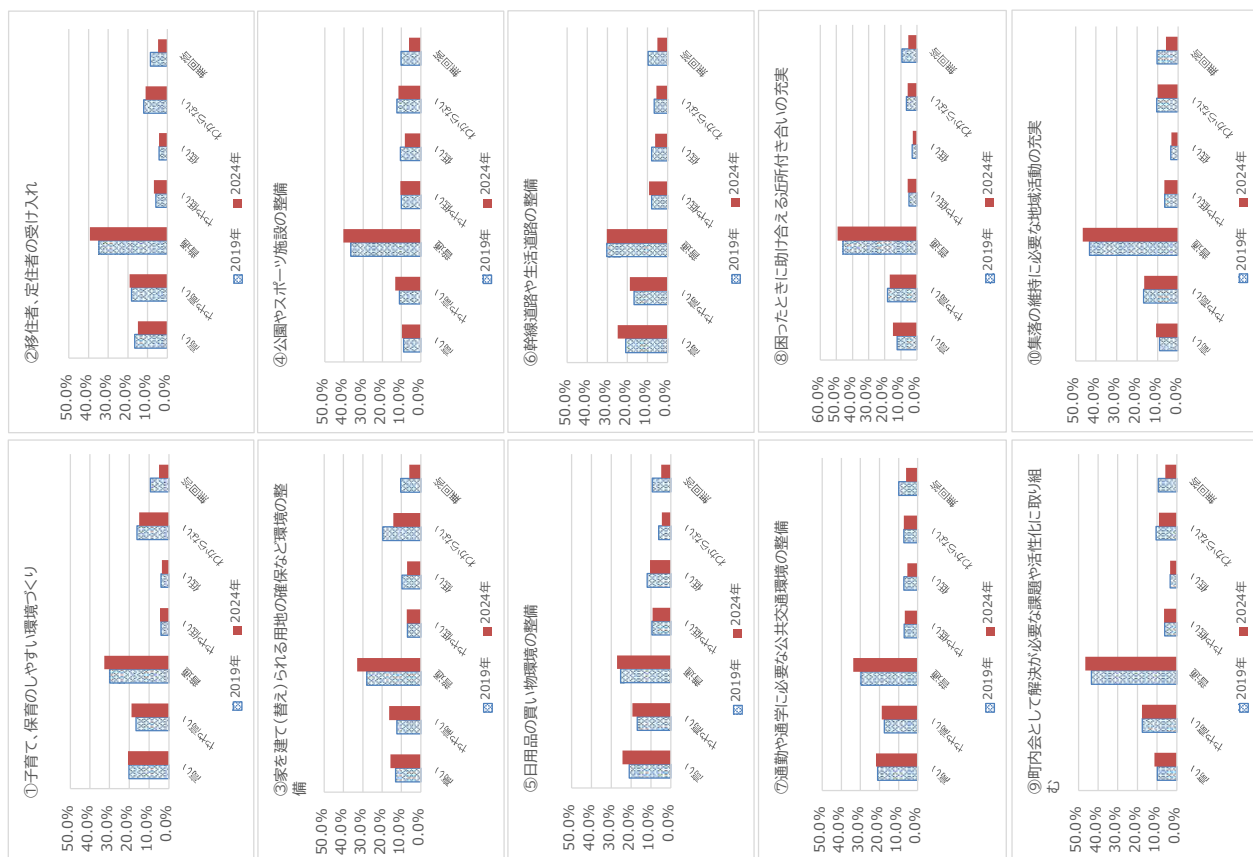
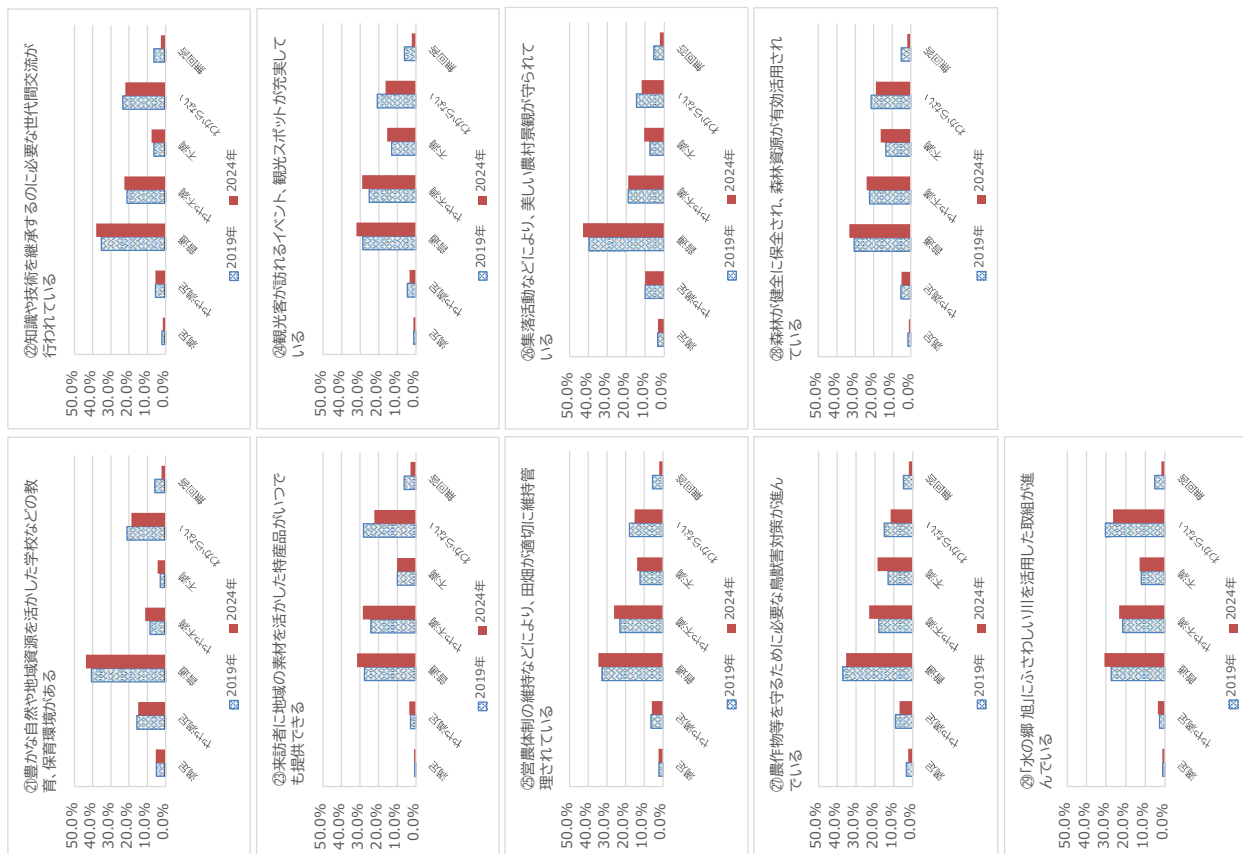
問 8 日常生活での満足度について

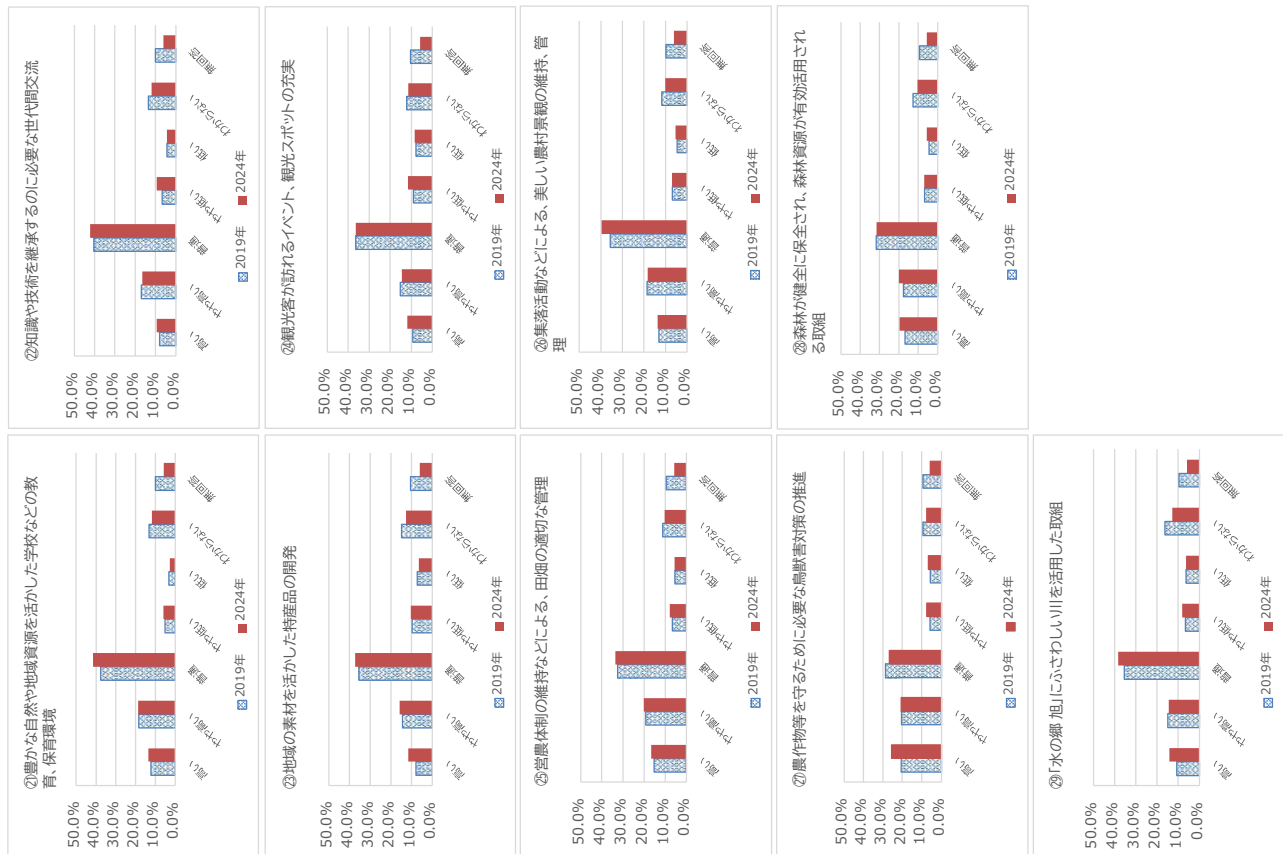
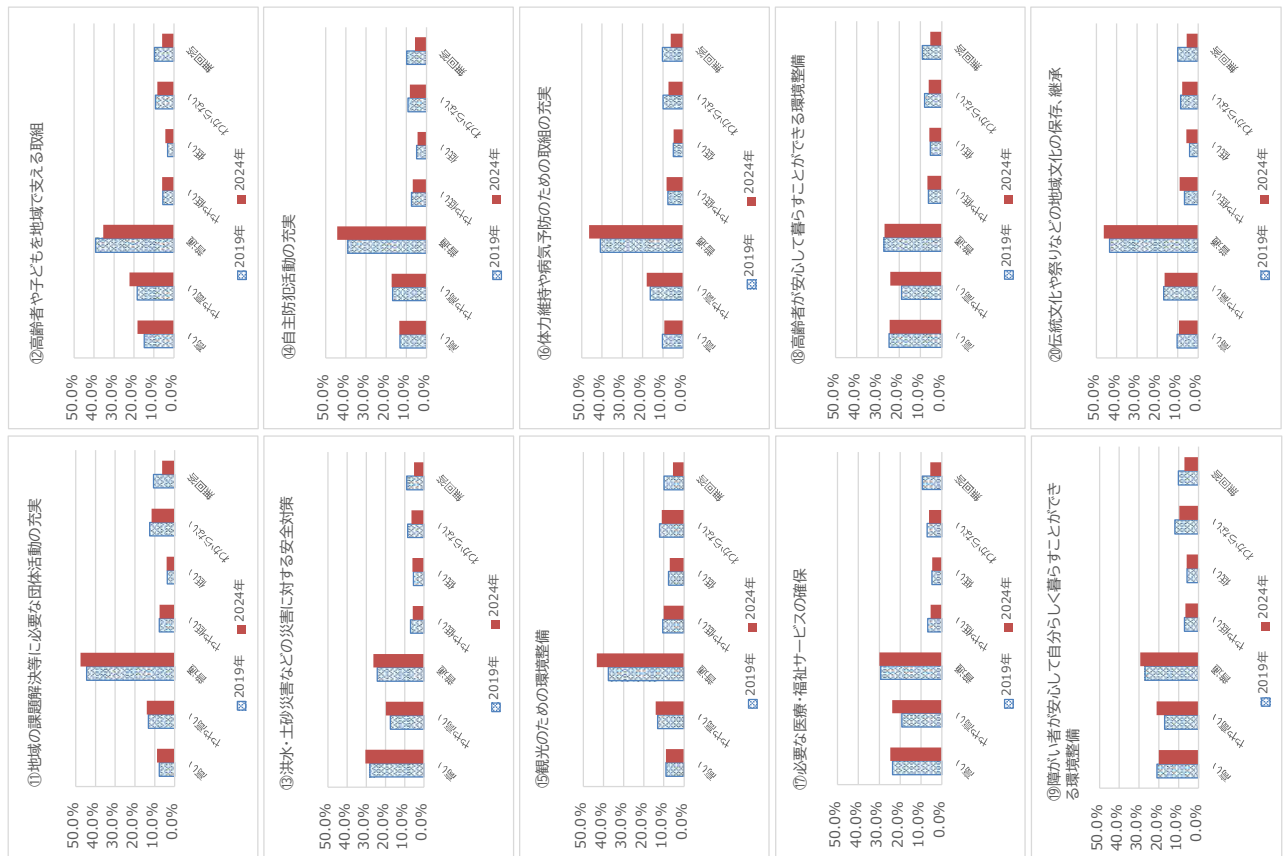
2019年と2024年の結果を比較すると、全体的な傾向は似通っていますが、個々に見ると、この5年で満足度はやや下がっている傾向があります。



問9 今後、力を入れていく取組の重要度について

2019年と2024年の結果を比較すると、満足度と同様、全体的な傾向は似通っていますが、個々に見ると、重要度はやや上がっている傾向があります。

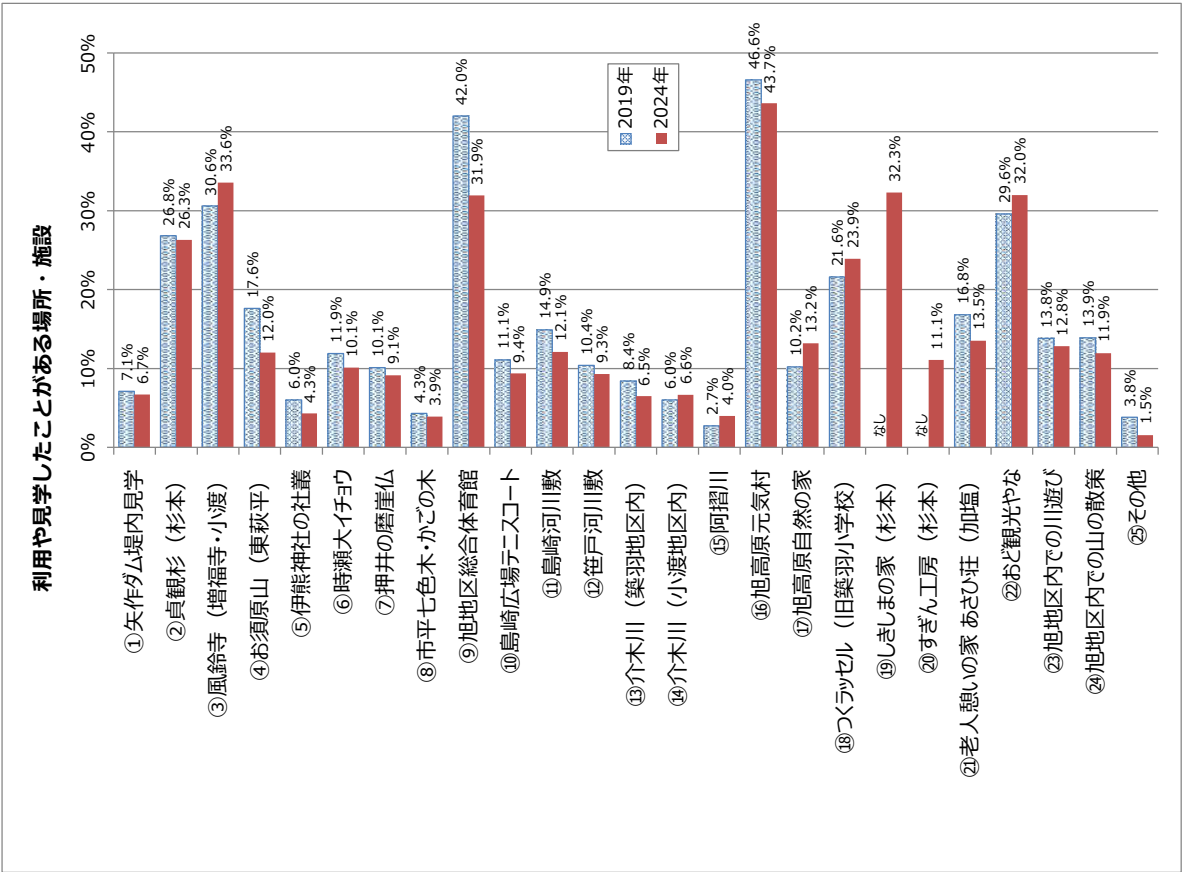




(3) 旭地区の施設やイベントへの参加（利用）状況について

問 10 最近 5 年間で利用や見学したことがある場所や施設は？

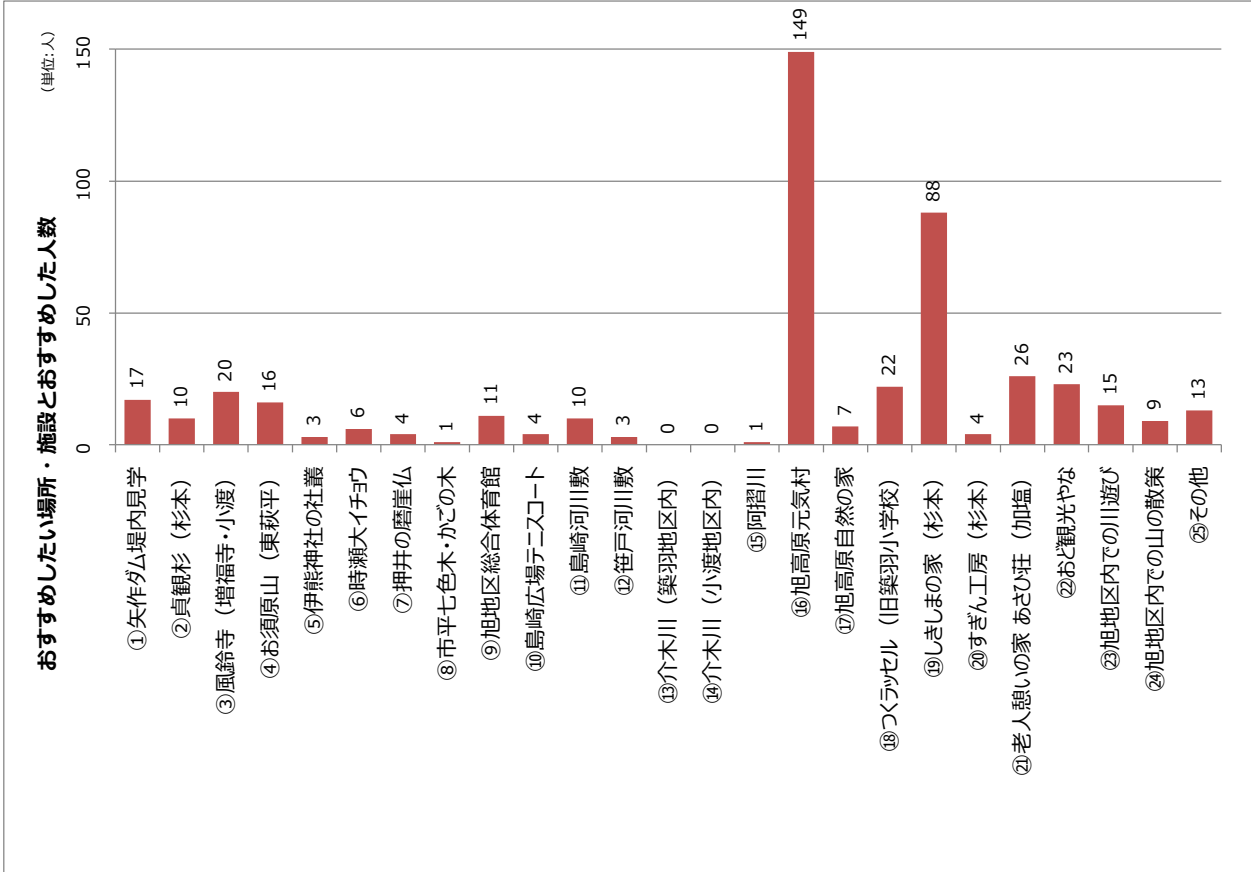
地域住民が利用された場所や施設は、大きく変わりがありませんが、5 年前にはなかった施設の「しきしまの家」の利用が目立っています。



「その他」でご記入いただいた施設等

駒山(牛地町)、小馬寺の天然木見学
上中のしだれ桃
上中のしだれ桃
上中のしだれ桃
上中のしだれ桃
万町しだれ桃
小渡城址
小畑のブルーベリー
旭交流館
敷島会館
さくら村、こらっせる
高能集落の権現さん
敷島会館、旭交流館
敷島会館、旭交流館
溪流荘
溪流荘
温泉、酒蔵、矢作川
さくら村
主要地方道沿線の山あい等の自然
上中のしだれ桃

おすすめしたい場所・施設と理由



おすすめする理由

おすすめ施設	理由
①矢作ダム堤内見学	一度は見学してみたい 堤高を 100mとしたアーチ形ダム(強固な地質地盤) 矢作ダム堤内見学がしたい 機会があれば行ってみたい 大きなダムだから 矢作ダムはゆるキャンでも出ていたので、もっと宣伝するべき 豊田の水書の現状を知って欲しい ダム好きが多いので、SNS などで広めてほしい 世の中にダム好きな人が増えてほしい 矢作ダムを多くの人に知ってほしい 愛知県無形民俗文化財に指定され、一見の価値あり 見栄えがするため 見学したことはないが、矢作川の水源地であるから 夏に行くと涼しい 行ったことがないから行ってみたい 外観も良いが、ダムの内部が見られたり、設備が見られたりできるので、勉強になるし楽しい！ 選べないくらいどこも好き 天然記念物 貞観杉から作った千年箸を使用してパワーをもたらしている。毎日通勤で前を通っている。 歴史を感じるので 1000 余年の風格、社殿と森との調和 大きくて立派だから 近くにあり、見学してもよいと思う 迫力ある巨木が壮観 年間を通していつでも風鈴が奉納できる。座禅、写経もできる。 風鈴奉納 心身が穏やかになり、心が落ち着く場所 この中では最もわかりやすい内容 地元だから 旭の夏の風物詩にしていきたい。8 月中旬に風鈴寺のお祭りをして緑日にするとう良い。 風鈴の音色と願掛けが素敵だと思う 住職さんが素敵 旭らしくて良いと思ったから。 風鈴祭で行きました 夏のいい雰囲気、癒しになる 風鈴の音が心地よい 風鈴がキレイ。風鈴まつりがある。
②貞観杉(杉本)	
③風鈴寺(小渡・増福寺)	

	季節を感じ、心が和む 涼しさが味わえる。風鈴に願掛けができる珍しさ。 風鈴を作れたりするので良い 夏の行事でにぎわいがあるのが良い 想像以上に一見の価値があった 景色が素晴らしい 気持ちがいい 運べないくらいどこも好き 景観が良く、来てよかったと思える場所だから。 眺めが良い 整備されて、見晴らしも良い 健康づくり お須原山の頂上からの景色が美しいから 縁結びの穴を通すのが難しくて楽しかった 心癒される気持ちのいい場所だから 景観の良さ 景色がきれい 高台で 360 度見晴らせる。道路の整備が必要。 動植物の特異性が見られるところ 自然の大切なことがわかる 案内看板が少ないので設置されるとよい 大きい 豊田市外の友達が来たから 案内看板が少ないので設置されるとよい 迫力ある巨木が壮観 秋は絶景 イチヨウが立派 珍しい物であり、旭高原に行く途中に立ち寄ってほしい。 県内でも珍しいもののな、あまり知られていないため 面白くて大きい木 中が広く、体を動かしたい人や部活動で使いたい人が広々と使えるから 他のスポーツを行う施設よりも利用料が安いから 観客席のある体育館は少ない 体育館は他の地域からの利用者も多く、使いやすい施設であると思う いろいろな活動ができるので 手軽に利用できる 笹戸和太鼓で利用した 利用しやすい スポーツは良い 川遊びやテニスに興じることができ、誠に良いところです。
④お須原山(東萩平)	
⑤伊熊神社の社叢	
⑥時瀬大イチョウ	
⑦押井の崖崖仏	
⑧市平七色木・かごの木	
⑨旭地区総合体育館	
⑩島崎公園テニスコート	

	テニス楽しいよ(^^) 体力づくり とてもきれいなコートで使いやすいから 屋外の運動施設 川遊びやテニスに興じることができ、誠に良いところです。 子供の川遊び 広々として気持ちが良い。が、入れないところがあること、河川敷が草だらけなのが残念。 春になると広々とした場所でピクニックできて良い。理由があってされていると思うが、立入禁止が残念な感じがする。 さんぽがたのしかった。こいのぼりがきれい 散歩にちょうどいい 水の郷 旭を一番体感してもらえる立地なので、5月-8月のようになごわいのある状態を通年に拡張していけるといいと思う BBQ で利用したが、今は閉鎖に。ルールや使い方をきちんと明示した上で、有料化しても BBQ やキャンプがまたできるようになれば、地域を活かすいいのでは、と思う。 島崎河川敷は川遊びが安全にできそうだから 景色が良い 静かでのんびりできる。トイレが無いのが残念。 景色が良い 空が広くて開放感がある 綺麗 そこしか知名度がある場所がない 楽しい 家族で楽しめる施設が他にない。他の場所は長時間いられない。 友達を連れて遊びに行っ楽しんで楽しかった。 将来的に皆に使用していただきたいから 自然を感じる事ができること とても見晴らしが良くて空気も良い 自然の中で季節折々の楽しみ方がある 旭地区では最良の場所である ダムカレーはおいしい！ 子供から大人まで、楽しんで遊ぶことのできる良いところだと思う 旭の中で唯一 観光地といえる場所として機能しているから 遊びと交流の場として、更にハナノキを始め貴重な植物の紹介、体力づくりの散策の場の提供として。 散歩、ウォーキング、空気が良い、広々している 見晴らしも良く、ウォーキング、体力づくりに適した環境が整っている 自然の中を散策したり、ソリは子供たちが楽しく遊べる。ドッグランもできて、幅広い世代が楽しめると思う。 WRC での知名度
⑪島崎河川敷	
⑫笹戸河川敷	
⑬旭高原元気村	

	子供が飽きずにソリ滑りができた。大人も十分に楽しめる。
	旭高原はあまり行ったことはないが、家族連れで夏は BBQ、冬はソリができるし楽しめる場所 だと思う
	広々とした最高の景色。大勢の人たちが来られるよう宣伝、呼びかけをしてほしい。
	小中学生に星空観察やソリ滑り体験を経験してもらうと良い
	知名度があるので、更にイベント等追加できると良い。集客になる。
	多種多様な施設がある
	幼い子でも遊べるので良い。もっと作ってほしい
	森林浴にもってこい。山々の緑と自然。年中楽しめると思うが、道路が狭いのが不満。
	一年中楽しめる
	町内の観光施設
	子供の遊び場もあり、ソリ遊びもでき、馬にも乗れる。BBQ もできて、食べる店もあり、テニス 場もあり、流星を観るには最適な施設。
	テニスコートもあり、子供の遊び場もあり、BBQ を楽しめ、流星を観ることができ、食堂もあり 乗馬もあり、充実した施設
	施設の内容が充実しているから
	自然を感じて楽しいから。
	山がきれいです。
	自然に子供から大人までふれあえれる場所 旭らしい場所
	旭ライディングファーム(ふれあい動物園)・小動物とふれあうことができる
	夏季、冬季ともに大人も子供も楽しむことのできる場所だから
	動物とふれあうことができるから
	自然豊かでのんびりできる
	国道から現地までの樹木の管理、道路整備、高原道路周辺の杉、檜、雑木の伐採、見晴らしをよ くする(30-40 年前のように)
	1年を通して楽しめる施設あり
	子供とソリ遊びすると楽しい
	一番、「旭といえれば」な施設だと思う
	ブランコが楽しい
	子供が遊べる施設があり、牛を見ることができ(馬、ヤギ等)
	幅広い層でいろいろ楽しめる。日常から解放され、自然の中で心が洗われる。
	既に大金が投入されていて一年中活用されて欲しい
	自然の中の散策
	施設が充実している
	ソリスキー
	春夏秋冬、BBQ などお泊りに最適。冬のソリ滑り、屋台で食べるラーメンなどがうまい。
	旭地区の観光の主力だから
	自然が豊かだから
	キャンプ・ BBQ ができるから
	旭町のシンボル

	一番の観光スポットではないか
	子供が楽しめる
	今後の旭地区の観光スポットとして知名度が高い
	動物とのふれあいや滑り台などの遊具があり楽しい。キャンプや BBQ、星も綺麗なので、どの 世代の方にもオススメ。
	小さい子供を遊ばせることができる
	避暑地の充実
	景色が美しい。空気がいい。
	子供の遊び場が充実している
	観光客にも人気で、夜は星が綺麗
	涼しい
	売上に貢献してほしいから
	旭地区内で知名度が高い
	大人も子供も遊べる
	春の散策、冬のソリ滑り
	旭高原から下を見た風景がとてもしばらしいと思う
	キャンプなど野外活動をしやすい
	自然がとてとも良いと思う。設備の充実化もしているので、また是非利用したい。
	自然の豊かさで景観
	利用者が多い
	自然豊かな雰囲気味わえる。ゆっくりと時間が流れる感覚がある。
	冬、百名山のうちの 3 つ(白山、御嶽、恵那山)が見えるところはあまりないと思う。
	旭の地名が入っており、一般の方でも利用しやすいため
	手軽に行ける。牧場やグレンデ、ウォーキング施設、食堂など完備されているので、十分楽しめ る
	施設が充実
	設備が整っている
	ある程度楽しめる
	家族で利用できる
	子供を連れて遊べるから良い
	旭で一番広くてきれいだから
	都会人に素敵な環境
	景色が良く、空気がおいしいから
	いろいろなイベントがある
	大人から子供まで美しい山々の中で一日ゆっくり遊んでいける場所。夏は涼しく心が洗われる すてきなこと
	市外の人からも知られていてアピールしやすい。温泉があるとよい。
	子供と遊びやすい
	今後も旭の観光資源として地域外の人に発信したいから
	子供が楽しめる

	B&Bや遊具があり、子供から大人まで楽しめるから 子供から大人までオールシーズン楽しめるから 自然に触れ合える 夏でも朝夕涼しく、自然に触れることができる 世界ラリー選手権 WRCで知名度が上がってきたので、1年を通していつも来てくれる場所にするべき 雪そり 観光地らしい場所 旭地域のシンボルとなるとよい 楽しいから 観光スポットが充実しているから 星がきれい 自然が豊か さわやかで景観が良い 景色がきれい。散策すると気持ちがいい。 一年を通して子供に人気がある ラリーなどで盛り上げてほしい 景色も良く、もっと活気が出てほしいところだと思うから 景色が良い 景色が良い。ドッグランができた。 幼児、低学年くらいの子が長い滑り台等の遊具で楽しく遊べる もっと遊べるものがあれば、更に良い 旭といったら旭高原だから 子供が遊べる 年間を通して楽しめる 楽しめる要素がたくさんあるから 旭地区において最も外からの利用が多く、そり遊び、各イベントに加えて風景のすばらしさなど、一日のんびりできるところだと思う。友達を誘っても十分楽しんでもらえる場所だと思う。 ここ以外におすすめできる場所はない 観光客にも人気で、夜は星が綺麗 観光施設だから 星がキレイ 美しい自然がある 旭の中でも景色が良い 色々な事が出来て楽しいから 色々できていいから ピンポン、みそ作り 様々なことに取り組んでいる これからの地域の在り方となっている バランス感覚が良い
⑦旭高原自然の家	
⑧つくラッセル (旧築羽小学校)	

	廃校を利用し、地域内外の人々が立ち寄れる施設 つくラッセル自体でPRをしており、行きやすい。また、運営の関係者と面識、交流がありPRしやすい。 アイスがおいしい 新しい地域活動がどんどん育っているから 運べないくらいどこも好き 旧築羽小学校でたくさんの方々がいろいろな事業に取り組んでいる姿をぜひ見てほしい 旧築羽小学校を最大限利用し、いろいろなことに取り組んでいる姿がすばらしいのでおもしろい 近所だからスポーツイベント 好きなことができる 地域住民から1ターナー、おいでん山村センターなど多種多様な人たちと交流できるから 新しいことに取り組む人たちに会えるから マレットゴルフができる 交流人口づくりの活動が進んでいる。文化センターの働きをしている。 いろいろな活動をされているため 旭区内の交流が活発 ⑨しきしまの家(杉本) 和文化でしきしまの家についてやっていけるから ご飯が美味しい。送迎があり、高齢者が利用しやすい。 ランチタイムの代金が安かった 飲食ができ、イベントもよいサイズ感でよさそうあり、地域の取組や交流を内外の人がしやすい。 どんな家かしら 何度も訪問したが、他の地域でも大いに参考になることがたくさんあり、地域の活性化に参考にできればと感じている 食事でもき気兼ねなくゆっくりできる憩いの家 気に入っています。 活気がある 喫茶、ランチでもでき良いと思う 喫茶、食事等、気軽に利用してほしい 廃校を利用し、地域内外の人々が立ち寄れる施設 運べないくらいどこも好き 知らない人と会える 敷島地区の拠点としての役割ができつつあり、食べ物も充実してきて訪れる価値がある 全てのこと(助け合い作業依頼できる、友達と会食、ゲーム等、楽しい一時) 気軽に集える場所 当該施設の職員が地域の課題に積極的に取り組んでいる 地元の人々が気軽に集え、楽しめるため いろいろな地区の人と交流できる。子供から大人まで楽しめる 新しい施設で活気にあふれているから 気楽に利用でき、ほっとできる。
--	---

	地域のひととの交流
	出会い
	活気がある。月 1 のイベントで、子供から高齢者の方までたくさん集まり、地域の交流としても良い。飲食できるのも良い。
	今、一番盛り上がりっている。活気あふれる施設だと思う。
	交流が待てる
	ふらっと気軽に立ち寄れるのが良い。どこか安心できる。
	食事が美味しいから
	多くの人が集まり、情報が增える
	地域の新しい集える場所
	いろいろな人が集まれる場所だから
	気軽に入ることができ、場所が懐かしさもあり、もっと認知されてほしい。
	料理がおいしいのと種類がいろいろあるのでよい。ふらっと祭になればいろいろな人が来るので交流もできる。
	がんばっている(取り組み)
	飲食環境はすばらしいから(美味しいから)
	世間話
	新しいことに挑戦しているため。変化を楽しみにしている
	すぐくキレイになって、ごはんも美味しい
	まだ行ったことがないという方がいた。子供から高齢者まで楽しめる。
	近くで気軽に立ち寄れる
	今後、発展してほしいから
	人と人が集まり、おしゃべりと食事ができることが良いと思う
	地域の未来を一番考えている
	世代間交流ができる。集まりやすい。
	いろいろな食べ物もあり、仲間と話し合うには最高の場所だと思う
	しきしま yui は大好き。おいしくて働いておられる人も元気で明るい人ばかり、また行きたくなくなる
	人が集まりやすく、交流ができるため
	食事が美味しい
	旭シネマスコープの月 1 映画上映会
	アットホームで居心地が良い
	料理が美味しくて、ここに行くところの方たちが集まっており、いろいろな方と交流できる
	ゆっくり安らぐ時間が得られる場所
	ごはんが美味しい
	一人暮らしのため、星食などの活用
	役割が増えていてほしい
	運営者の考えに共感できる
	ランチが美味しい
	楽しいー時間が過ごせるから

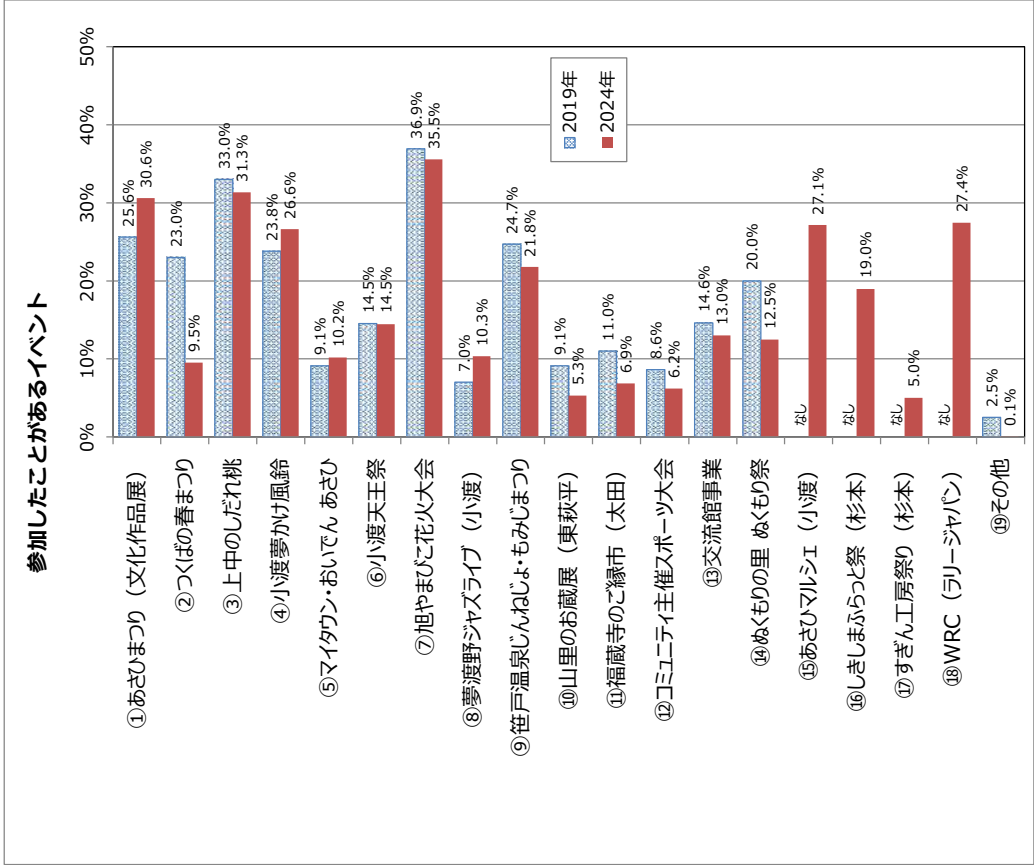
	取り組み内容が先進的
	進んだ取り組みだから
	進んだ取り組みのため
	近くで行きやすく、皆と出会える
	ランチが美味しかった
	古い建物を再利用しているから
	おいしいごはんが食べられる。たくさんの人と交流できる。
	ランチなどおすすめ
	地域活性を美感できるから
	他にないから
	もっと多くの人に利用してもらいたい
	地元で行っているので
	めし美味しい。
	ランチや祭りなどもやっていて、子供から高齢の方まで誰でも楽しめるから
	ゆっくり落ち着ける場所、皆さん優しい方達
	飲食ができ、地域の人が気軽に利用できる場所
	いつも地元の方が集まっているので
	地元住民が主体的に活動しているところ
	ふらっと祭に行くところ、久しぶりに地域の人と会えてうれしい
②すきん工房(杉本)	運ばないくらいどこも好き
	体に安心、おいしいお菓子が買えるから
	おいしいおやつが食べられる。たくさんの人と交流できる。
	お菓子がおいしくて子供が喜ぶので
	高齢者などがゆっくり過ごせる
②老人憩いの家 あさひ荘(加塩)	温泉の湯が良い
	お湯がとてよく、のんびりできる
	あさひ荘の湯が良い
	あさひ憩いの家の湯は肌にはいい湯です。
	泉質がとてよく、温泉に入った気がして体にも良いと思い、回数を多くして利用したい
	旭町近隣で泉質が一番というわけ
	お風呂に入ってゆっくりできる。1日のんびり友達とできるので
	水質がよい。子供に。
	泉質が良く気持ち良く、肌にはいいから。ただ、アメニティがなく、脱衣所も狭いのが残念。
	泉質がとてよく良いと感じている
	お湯が良く、施設もきれいでゆっくりできる
	温泉
	ゆっくり一日休むことができる。近場でいい湯に入ること、山の湧水を汲むこともできるから。
	町内に出る冷泉だが、肌にとてよく滑らかなので、他の人にも知らせるとよい
	皆で集まってお話できるから

	温泉の湯が良く、友達や仲間でゆっくりできる。 あそびの荘はもっと利用されてもよい場所である。"老人"とついているので、若い人は利用できないと思う。 格安で極上の湯に入れる。休憩所もあり、長い時間のんびり過ごせる。 使用料も安く、一日のんびりできる場所 湯がとっても良く、環境も良い。ゆっくり、のんびりとできるので、休養の他、サロン、サークル等に活用されるとよい。 矢作川や山々の見晴らしが良い。今年度はクーラーが新しくなり音もなくなった。旭高原にたくさん来客数がある。 季節感があり子どもから大人まで楽しむことができる 食事(船料理)と川遊びの組み合わせは、子供から大人まで楽しめる。小渡とごく近いので商店街への波及効果も見込める。 高齢者の地域社会に貢献する場 老人会(食事) 鮎が美味しくて雰囲気が良い 鮎のつかみ取り、炭で焼いた鮎はとても美味しい。 できたてを食べることで、鮎も頭から食べられ、とても美味しい 自然の中食べるアヒはおいしいから おど観光やなの名前とおり、そぼくで心やさしい、働いている人たちがとてもよいです。 訪人があった時接待には丁度良い 鮎のつかみどりや鮎料理を楽しむことができ、観光客も多くにぎわっているから。 「水の郷 旭」にふさわしい川の活用 家族などで行きやすく、この土地ならではのものだと思うので 昔からある観光施設なので応援したいから 食事に参加 鮎の焼き方が良い 魚に直接触れることで、命の大切さを養う 鮎の焼き方が良い 鮎の刺身がおいしい 近くにヤナがないので行ってみたい 「水の郷 旭」をもっと売り出したい 時間を忘れて遊べます。 水深の浅い所で安全に遊ぶことができるから 自然体験の釣り遊びをできる公園地として施設整備 JA 前の矢作川、川遊び 魚がいろいろいて、捕まえることもできる 島崎河原の整備をしたら BBQ が楽しめるのではないか 田津原、本流より水が澄んでいる。 川がきれいだから 水がキレイ、いつでも空いている、近い
②おど観光やな	
③旭地区内での川遊び	

	人も少なくなくて遊びやすい 皆が川遊びできるように周辺環境を整備してあげる 川遊び きれいな川で楽しく涼しく過ごせる 小渡、加塩の川遊び。きれいな川で楽しく遊べる 先人たちの知恵がたくさん見つかる 生活に生かせる希望を持てる山作り 自然との共存を再認識する為に有為 さくら村をもっと PR すべき。安心安全で整備されているため立ち入りやすい。 伊熊神社周辺、渡りの蝶「アサギマダラ」の飛来、山野草の観察、年間を通して飽きない 遠くや高い所より郷土を見ることにより、認識を新たに 森林を活かした散策 上中のしだれ桃の里：しだれ桃の苗木を植えてから 45 年くらいになり、枯れ枝が多い老木が多いが、維持管理をしっかりとって観光客に来てほしい 上中のしだれ桃の里：維持管理をしっかりとって観光客に桃源郷を見てほしい 上中のしだれ桃の里：しだれ桃がきれい 万町しだれ桃 築羽地区の発展。旭高原-153 号間で行きたくなるような場所、店があるとよい。 高能集落の権現さん：立派な石築の神殿がある 深津荘：山、川、自然、ジビエ、老若男女が日中楽しめる、旭でオススメしたい観光スポットと言える。 温泉、酒蔵、矢作川：水の郷であることが大前提であることを忘れない さくら村：子供の運動能力向上にピッタリ 主要地方道沿線の山間等の自然：春、秋ともに自然の美しさが味わえる
④旭地区内での山の散策	
⑤その他	

問 11 最近 5 年間で参加したことがあるイベントは？

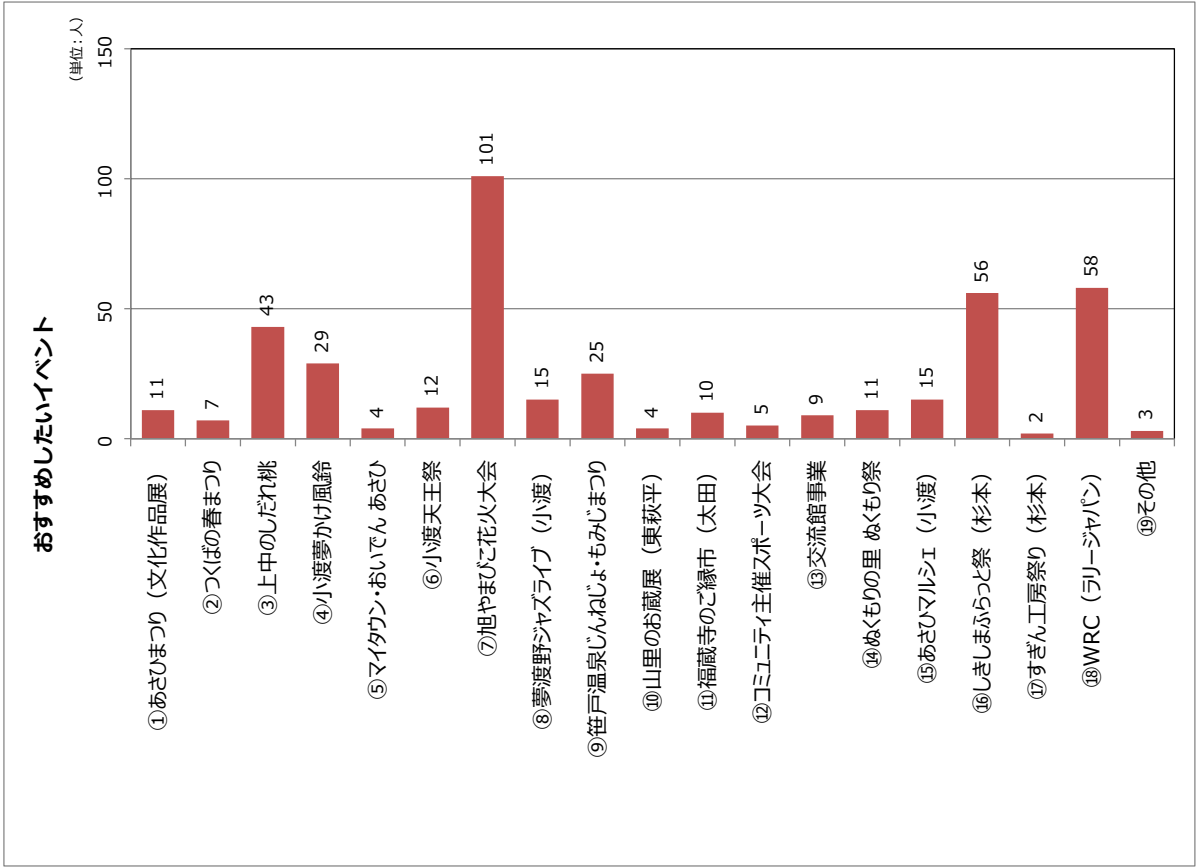
コロナを機に始まった「あさひマルシェ」、しきしまの家のオープンとともに始まった「しきしまふらっと祭」、世界的なイベント「WRC（ラリージャパン）」がこの 5 年間で行われるようになり、多くの住民の方が参加しているようです。



「その他」でご記入いただいたイベントやお祭り等

・つくば夏祭り

おすすめしたいイベントとその理由



おすすめする理由

おすすめイベント		理由
①あさひまつり(文化作品展)	空いて楽。	
	地域に住んでいる方々の素敵な作品をみることができるため。	
	友人と練習し、発表して喜んでくれる人がいると嬉しい	
	地域の人の作品が見られる	
	旭全体の年に一度のイベントだから	
②つくばの春まつり	貴重な発表の場だから	
	文化作品が好きだから	
	多くの人たちが集まるため	
	作品の出来栄がすごい	
	展示品が良い	
③上中のしだれ桃	とても楽しいから	
	梅が綺麗	
	実際に参加し、参加者全体で盛り上げようとする雰囲気があった	
	近所で行った	
	花が好きなので	
	旧旭以外の人に見ていただきたい	
	きれいだから	
	花(植物)癒される	
	維持管理が大変なので、もっと観光客に来てもらえるように市も予算面で補助してほしい	
	もっと観光客に来てほしい	
	うっとり	
	身近にあって美しい景色が眺められ、気分が安らぐ	
	花がキレイなので集客できそう	
	しだれ桃をこれだけ広しい美しいし草を切る仕事の大変でそれがすけて見える。	
	美しい自然の中でゆったりできる	
	花が好きなのにはとても良いと思います。	
	静かな山の中でほどよい歩行。以前は折り返し付近にてコーヒー、五平餅等を食べられたので、復活してほしい。満足度が違ってくると思う。	
	絶景	
	町外の人から好評	
	地域の活性化につながるイベント	
	とてもきれいなので、もっとたくさんの方に見てもらいたい	
	花を見学しながらゆっくりできる	
	しだれ桃が美しい	
	花桃がとてもきれいで、本当に桃源郷のようだから	
	しだれ桃が美しく感動した	
	有名	

	皆梯方の苦労が美しい花を咲かせ、すばらしい、見事な花だった
	自然豊かな旭の象徴景色
	とてもきれい
	きれいな花を眺められる
	一度は行ってみたいもいかな
	旭地区外からよく人も来るため
	地元の方の協力が素晴らしいので
	広い場所がたくさん植えてあり、咲いたら見事
	地元を活気づけたい
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる
	山里らしく、とても良かった
	花が好きなので
	参加(見学者)が大勢いる。楽しい。
	小渡を最も広範囲に長期間楽しめる。地域住民も幅広く参加しやすく、一般観光客への幅広いアピールや定住者募集にもつながりやすい。
	この中では一番宣伝されている。
	気持ち安らぐ
	小渡の商店街が蘇るさかけになりそうだ
	写真映える
	かなり賑わっていたと思うから。
	特色あるイベントだから
	SNS 映えることと、他ではあまり見かけないことから
	初めたいが、期間を短くして、もっと飲食を楽しめるといいと思う
	橋や休憩所の手作りの竹のアーチ
	心が落ち着くから。風流である。
	昔行った時、風情があって良かった
	風鈴がきれい
	旭地区以外から参加できるところが良い。駐車場等の問題はありますが、TVや新聞でも取り上げられるイベントである。
	風鈴の音色がなんとも言えず、安らぐ
	風鈴の音が心地よい
	風鈴がたくさん吊るされ、音で心が癒される
	風鈴の音に情緒あり
	地元を活気づけたい
	子供が楽しめるイベントがいっぱい
	オーブニングイベントのお祭りも楽しい
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる
	やはり地域の人と交流ができるので楽しい
	踊り連も増えてきて、見ていると元気になる
	がんばって踊っている姿を見られるから
⑤マイタウン・おいでんあさひ	

⑥小渡天王祭	お祭りらしい祭り
	小渡を中心とした祭りと花火が同日、同じ場所で楽しめること。
	松明行列など
	花火がとてもきれいで一度は見てもらいたい
	山に囲まれ花火が間近で見られ、音も反響し大迫力。
	天王祭の花火大会は、他の地域の人にも自慢できるものだと思う。美しい花火大会。
	歴史ある祭で豊田市内でも自満ができと思う　みなさんが知っている祭
	松明行列が旺巻。
	夏のイベント：花火大会と天王祭の充実化をして継続していく
	楽しみにしている
	楽しみにしています
	たいへん迫力があり、見応え十分
	小渡を中心とした祭りと花火が同日、同じ場所で楽しめること。
	近くで立派な花火が観覧できる
⑦旭やまびこ花火大会	すばらしい花火大会だから
	規模も大きく誰でも参加しやすいから。花火の距離が近く迫力がある。
	花火大会は是非見にきてください
	近くで見られる
	近くで花火が上がるので迫力がある
	豊田市の(花火大会)に比べると少ないけれど美しい
	山間部ならではの花火のこだまが聞けるし、迫力がある
	旭地区以外の人参加できる
	近くで見ることができ
	矢作川の花火大会
	花火の音の大きさと反響音の大きさが良い
	山の中の小さな花火大会。音がすごい。
	誰でも無条件で楽しめるので
	山の中の花火は音がイベント名のとおり、やまびことなって響き、一味違った花火を感じられるのではないかなと思う

各地で安全確保や経費の高騰などで花火大会が中止される中、小規模ながら山間に響く迫力ある音は観光の一部になると思う。ぜひ継続を。	花火がきれいだから
	街に出た人がふるさとを思い出してほしいから。旭らしいところがあるから。
	音がこだまするところが迫力満点
	家から徒歩で行ける花火大会、ありがたい。
	とにかくすばらしい。
	旭やまびこ花火大会
	近くで見られて迫力がある
	溪谷に響き渡る音が最高！
	谷間に響き渡る音が素晴らしい
⑧旭やまびこ花火大会	山峡に響く花火が街の花火とは違い、すごい
	溪谷に響く音が最高
	はなびきれい
	目立つイベントが他に特にならないから。
	旭やまびこ花火大会
	山の中の花火だから。
	小じんまりしているが、風情がある。
	町外の人から好評
	近くなので出かけやすい、迫力があって楽しいから
	近くで打ち上げ花火が観られる
	間近で見ることができて迫力があってよい
	花火の音を聞いてほしい
	美しい
	花火が近く感じる
旭らしい花火大会でよい	旭らしい花火大会でよい
	伝統的で他にはない花火
	近場でこんなに迫力ある花火を見られるなんて幸せ
	花火が良い
	音の響き
	迫力のある花火が観られるから
	花火の音がすごいしい
	多くの人が集まり、情報が増える
	ほどよい入出と手作り感が好き
	旭ならではの花火大会(花火を美しく見られる)
	花火がとてもきれいだし、その他にもいろいろな物が売っているから
	行けば感動する
	他の花火と違い、独特なものがあるから
	とてもキレイ！
息子たちが東京にいるが、旭の花火は近くで観られて情緒があり、最高だと言っている	人が少なく見やすい。花火がきれい。
	息子たちが東京にいるが、旭の花火は近くで観られて情緒があり、最高だと言っている
	花火は美しい、迫力あり
	花火が好きだから
	山里と矢作川で行われ、響き渡る音がとてもいい
	帰省している友人と会える
	花火との距離が近く迫力がある
	矢作川を目の前にした花火はすばらしい
	花火の距離が近い
	昔から続く花火大会。見どころがあると思う。
	近い距離で花火が観られて感動する
	花火が近くで観られる。屋台もある。

⑨夢渡野ジャズライブ (小渡)	花火が近い
	花火
	近くで花火が観られるから
	見やすい規模で良い
	きれいな花火
	なかなかに見えがあるので、たくさんの人に見てもらいたい
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる
	里帰りの理由になる
	花火は夏の醍醐味
	花火
	狭い場所でも程よい花火が上がり、雰囲気が良い。
	夏のイベント:花火大会と天王祭の充実化をして継続していく
	山間の花火の音がこたます
	小渡のイベントで今までもこれからも続くと良い。その中でも、松明は子供も大人も心から楽しみにしている。だんだん大人は少なくなっていくけれど、続いているのは最高。これは無くしたくない。
	あの場所でも本格的な JAZZ が聴けることが唯一無二
	入場するのに 500 円必要となるが、田舎ならではのきれいな空気、森林とともに素敵な音色が聴けるのが良い
⑨畑戸温泉じねんじょ・ もみじまつり	雰囲気が良い
	自然豊かな独特の雰囲気でのライブが心地よい
	夢渡野 JAZZ ライブをもっと大きく育ててもらいたい。生で演奏が聴けるのは GOOD
	地域で音楽フェスがあると嬉しい。気軽に子供と参加できそう。
	田舎でジャズはいい！
	すてきな音楽とお宮さんの静かな場所、空を見上げれば星、体中でリズムを刻んで奏でる音楽は最高で、皆さんに聞いてほしい
	ステージの近くで見られるのが良い
	スウェーデントーチの灯りの中でのジャズライブはとてもぜいたくだった
	本物のジャズを身近に感じることができると
	生の演奏を聴けるから
	販売されているご飯が美味しい。景色がきれい。
	自然薯(夢とろう)は現在世代交代が難しくなり始めている。旭の産物として生産、販売と活用(料理)の多面的な取り組みを進めたい。
	自然薯を活用した飲食がもっと産物になるといいと思うから
	紅葉もきれいで、自然薯も美味しい。抽選会も楽しい。
	地元の特産品 PR
	いろいろな催し物があって楽しかったから
	出店されている屋台の料理がその時限定的のものが多くておいしい
	特産の自然薯はもちろん、その他の特産品もあり、イベント内容も充実していると思う。地域外からの観光客も多いように思う。

⑩山里のお蔵展(集萩 平)	自然薯を使った料理が食べられる
	イベントも食べ物も満足だった
	自然薯の魅力、底力は計り知れない。聞く人の 4 人に 1 人は「好き」と回答した。
	おいしい自然薯が食べられる
	町に活気が出る楽しいイベント
	地元だから
	特産自然薯の美味しさを広く外部の人へ知らせる
	昼食を食べに行く
	地元を活気づけたい
	おいしい自然薯が食べられる
	地元なので
	自然薯そばがおいしい
	旭といったら自然薯だから
	笹戸ににぎわいを！宿泊施設ゼロからの再生！
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる
⑪福蔵寺のご縁市(太 田)	行きにくく、知り合いなしに外からふらっと行くにはハードルが高かったが、展示されているものが素敵だった。
	再開されてとてもうれしいイベント。とてもステキなハンドクラフトであふれている
	隣にカフェもできる予定。年 2-3 回は実施してほしい。
	友人と練習し、発表して喜んでくれる人がいると嬉しい
	移住者だから。旭に元からいる人は来ない。
	市内外からの関係人口の増加につながるから
	人々との交流が盛んだから
	近隣に住んでいる人たちが個性豊かなお店を出しているから
	地域内の世代交流も都市部からの参加者もあり、子供も大人も楽しめるイベントなので
	年齢に関係なく、遊び、美味しい食べ物があり、おもしろいと思う
	参加者の意識が非常に高い
	手作りのおいしいもの、良いものを買うことができる。あたたかい雰囲気。
	素敵なイベントだった
	他地区の人との交流が図られる。
	心と体が充実するため
⑫コミュニティ主催スポ ーツ大会	交流の場として(旭全体)
	旭中の人々との交流ができて楽しいし、元気が出る
	旭地区の人々と知り合える
	交流を深めたいため
	交流の場として(旭全体)
	交流館の事業は常に新しい企画が考えられ、旭に新しい文化を取り入れられる内容だと思う。新しい経験をしてみたい時や仲間がほしい時など、積極的に利用するとよい内容だと思う。
	交流館事業
	スマホ教室:生活に必要なので、使い方を指導してくれるのがよい

	よい企画があれば参加したい いつもてきな内容の企画をしてもらえる。年齢や人数制限があり、行けない場合は残念…
	ミツバチの巣箱作りに参加
④ぬくもりの里 ぬくもり祭	皆さんの手芸や写真などが飾ってある
	とても楽しく一日過ごすことができる
	火・金曜日にはおじいさんは行く
	一度は見学しておくとか後々ためなる。高齢者の気持ちを汲むことができる。
	職員の皆さんの力を感じられる
	行ったことがあるから
	ロビー 康が良い
⑤あさひマルシェ(小 渡)	私たちが活動するから
	旭産ハラペーニョについて聞かれたことが何度もある。販売や加工品販売などが増えればもっと他地区の方も来るし、楽しいイベントになると思う。
	観光協会が地元と協賛し始めた企画と思える
	毎月頑張っています。でももっと出店数が増えて寄ってくれるお客さんが増えてほしい。地元の方ももっと来場してほしい。
	もっと特産品を増やして！
	手作りの手芸品、工芸品、食べ物や並ぶ楽しい
	キッチンカーの食べ物がいっぱい
	旭に関連する商工者のよき発信場所だから
	地元活性化とはいえ、あれではさみしいので何とかできないか
	いろいろな店があって楽しい
⑥しきしまふらっと祭 (杉本)	楽しいから
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる
	最近少し客足が運のいた気がするため
	楽しいです！
	色々な屋台が出ていて楽しいから
	いろんな人と触れ合える
	いろいろなものが食べられるから
	気軽に立ち寄れる
	食事をしながら交流するのに適している
	楽しい一時が過ごせる
	大勢の人とのふれあいの場。コーヒー、食事ができる。
	気軽に衍て飲食もでき、交流の場としていろいろな見聞ができ、相談もできるところ
	楽しみ
	月にいろいろなイベントが楽しめるため
	いろいろな地区の人と交流できる。子供から大人まで楽しめる
	老若男女、誰でも気楽に楽しめる
	地域の人たちの手作りのイベントだから

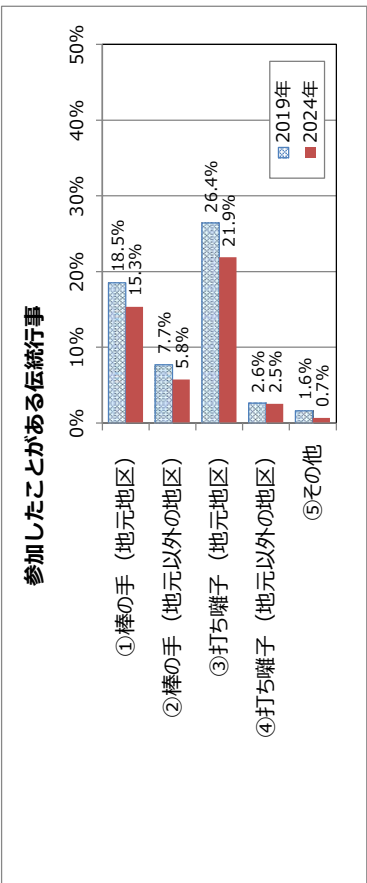
	近くて、人々の顔が見られる
	いろんな世代の人と交流できる
	楽しい
	人々との交流が盛んだから
	老人から子供まで楽しめる。季節行事が時折ある。
	今後、もっと充実してほしいから
	子供から大人まで多種多様な人が集まり、盛り上がりっているから
	子供も大人も楽しめる
	しきしまの家を応援しよう
	毎日連うブースが出ていておもしろい(楽しい)
	大学生との交流
	しきしまの家の活動を多くの人に知ってもらい、利用してもらいたい
	大学生との交流がよかった
	多くの人とつながりやすいから
	地域交流の場で楽しめる
	多くの人との交流の場で活用
	地元の活性化につながる
	にぎやかで、いろいろな人と出会えて楽しい
	身近な人との会話や交流。情報交換。食事、コーヒー、イベントが楽しい。
	子連れにとっては、近い、気軽、楽である
	楽しい一時が過ごせるから
	地域住民のニーズに応える取り組み
	楽しいイベントが多いから
	住民の要望になった取り組みのため
	若い子もお年寄りの方も皆で参加できるから
	私が行った中ではにぎわっていた
	参加者の笑顔、会話が楽しい
	近所だから
	もっと多くの人に利用してもらいたい
	地元の行事なので参加者が増えてほしいため
	地元行事なので
	地域交流の機会になっているため
	子供が毎月楽しみにして行く
	集客力が大きく、旭の地域づくりに貢献できる
⑦すざん工房祭り(杉 本)	おいしい、楽しい
	人々との交流が盛んだから
	ガチかっこいい
	世界規模のイベントだから
⑧WRC(ラリージャパ ン)	世界的なラリーが近くで見られる。
	ラリージャパン、小渡地区も通った。

	ラリージャパは世界的にも有名なレースであり、見る価値がある。 世界のラリーが町内を走るなんてすごいこと。町外の人がすごく興味を持って見たと言っている。 車が見られる 世界が旭にやってくる。世界最高峰を知ることができる素晴らしいイベント。 世界的に有名な選手を間近で見ることができるから 様々な地方から来客があった 車の音(スタート)で日頃のストレス発散。近くの県道で爆音、選手の応援に力が入る。 世界のイベントだから 毎年行わないから 世界のイベント 世界的なイベント。もっと近くで見る場所があると良い 旭がもりあがっている 間近でラリーカーが見学できる たくさんの人が来るから 世界的で宣伝できるイベントなのに、豊田スタジアムばかりなのでもっと豊田市全体で べき ラリーの町としてイメージづけ エンジン音に感動。ラリー車を近くで見られる 間近でラリーカーの走りが見え、その日は地区内に活気もあり良い 国際的 旭高岡元気村で見たラリーが心に残っている 世界的に広めていこう。車の街、トヨタのアピール。 身近で車の音、選手が見られ、応援できる 経済効果をもたらす ラリー行事(見学) 昨年行けなかったので、一度は見てみたい 世界イベントで日本以外にも知られる 間近でラリーカーを見ることができ 自分が住んでいる地域で国際イベントが開催されることに誇りを感じるから 世界的なイベントである 車が好きだから 車好きの世代は幅が広く、多くの人を呼び込みやすい 日頃、見ることがないから 全国から集客できるイベントだから 毎年開催されるのであれば、WRCのルールや見どころを紹介してほしい 全国から旭を知ってもらうよい機会 リエゾンでの応援 世界的に有名なイベントなので、しっかりとアピールするべき 盛り上がるから
--	--

	日本全体からの集客が見込める 間近でラリーカーを見られる 車がかっこいい 大きなイベントで、日本のトヨタでラリーは素晴らしい 世界規模のイベントはなかなか見られない 身近で WRC が見られることはなかなかない 世界的な大会だから つくば夏祭り：お昼は五平餅が食べられたり、鮎が食べられて楽しい。川遊びもできるので、暑い夏にいいと思う。夜は花火をしたり、盆踊り(太鼓)をみんなで楽しむことができるのでオススメ。 近くで気軽に立ち寄れる 夢渡野市：毎月遠うケーキやまんじゅうが楽しみ まとめて一年に一度にイベントを
⑨その他	

問 12 最近5年間で参加または見学したことのある伝統芸能は？

外出の自粛やイベントの中止などが相次いだコロナの影響で、伝統行事への参加も5年前と比較してやや少なくなっています。しかし伝統を継承していきたいという意見が多くみられます。



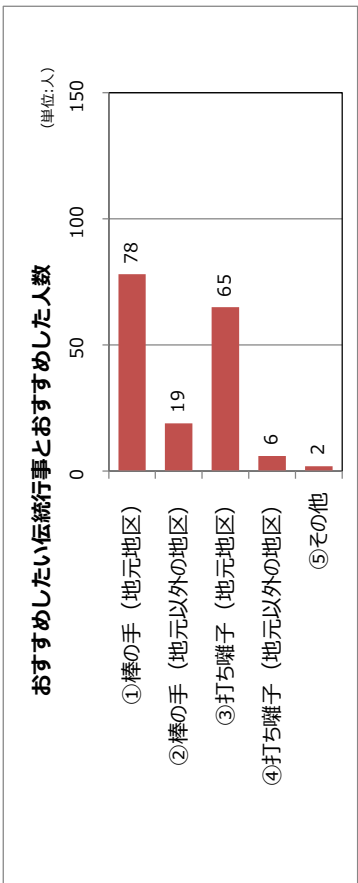
「その他」でご記入いただいた伝統芸能等

小学生指導
足助の秋のお祭り
太田の伊雑神社の祭り
挙母祭りのひき出し

おすすめする理由

おすすめ伝統行事	理由
①棒の手 (地元地区)	かっこいいよ！ 特にな 棒の手すごい 伝統って感じがするから 棒の手は伝統行事として続けて欲しい。 自分の地区の伝統だから 伝統行事として、無形文化財を見直してほしい 姿勢がいい 迫力があって見ていて楽しいから。 迫力があってかっこいいから。 棒の手は複数の流派がありそれぞれに魅力があるから。 伝統を守ってほしい 地元地区の行事であり、参加を呼びかけできればと思う 伝統武芸としての継承 子供に伝統が引き継がれている 迫力があって良い 子供たちが大人の指導のもとで練習していることはたいへん良いと感心した(敬老会で見 た) 伝統行事が地域の絆を作っている 伝統的文化財 伝統を大切にしたい 長く続いていて見応えがある 初めて見たとき、その迫力に驚いた。子供達も食い入るように見ていた。 無形文化財を大事にしてほしい 昔、自分もやっていたから 今後も伝統として残してほしいので 迫力がある 昔を感じるから 継承してほしい 地元だから 子供が減ってしまったが、おじさん達が頑張っている 棒の手は見てもいいし、やってもいいので楽しいと思う 小学生がすごい 昔から受け継がれているから 伝統と世代交代 子供の頃より棒の手をやっているが、練習し披露してみてもらい、喜んでもらえることが嬉しい 地元の行事なので

おすすめしたい伝統芸能とその理由



	迫力があってすごいので、ぜひ見てほしい とにかくカッコいい 伝統を守ってほしいから 杉本の棒の手 文化の伝承に立ち会う 地元が続く行事だから 地元の伝統行事のため 小さな子供たちがリズムよく棒を載く格好は、長く続けていってほしい。祭りを盛り上げてくれる。 継承していただけることを願うから 他にはない伝統行事だから受け継がれてほしい 伝統的で演技がすばらしい お祭りにかせない 力がある 他の地域にない 敷島小の運動会で見た 今後共、継承してほしいから 地元文化の継承を図る 昔からの伝統だから 近くで皆が一生懸命取り組んでいるから 小学生より指導しても、地元を出るとどうしても遠のくようになってしまいう傾向があるので、なんとか将来的に持続できるような努力を 一生懸命頑張ってみえる。地元として誇らしい気持ち。 棒の手奉納するお祭りに参加し、棒の手の演武を見てみたい 大人が心から楽しんでいる姿が良い。 大人だけでなく、小学生の一生懸命な姿にグッとくる。 貴重な伝統芸能 敷島小学校児童が取り組んでいる。継続してほしい。 伝統行事を次世代に継承させたい 子供が小学生の時に習い、地元の大切さを感じられる 敷島小学校 カッコいい 迫力があって楽しいから 伝統行事は欠かせない 小学校の運動会で棒の手を見る。とても上手。 カッコいい 伝統芸能として後世に伝えていきたい 特にな 旭地域でもできるとよいが 伝統行事として、無形文化財を見直してほしい
②棒の手(地元以外の地区)	

	伝統をつづけているから。 棒の手は複数の流派がありそれぞれに魅力があるから。 迫力のある、熟練度の高い棒の手を観た際に「来てよかった」という気持ちになった 薙刀がかっこいい 見てみたい 伝統として継承 小学校の体育館で大人と子供がやっているのを見ていいなと思った 迫力があり、すばらしいので、続けてほしい 杉本地区の棒の手、打ち囃子はお勧め 長く続いていて見応えがある 地元の行事なので 地元の伝統行事 いろいろ見られて良い いろいろな流派があり、踊り方も違うのでおもしろい 小学校の運動会で棒の手を見る。とても上手。 カッコいい ③打ち囃子(地元地区) 打ち囃子は良いものだ。特に地元のものは。 今の時代、子どもから老人まで出席しないといけないけど、今ならまだ人に伝えることはできる。 練習の見学に行ったんだけど、おなかに響く良い音だった。伝統あるものが残っているとよいと思う。 他にないから仕方なく 地元だから 子供から大人まで参加しやすい 村祭に打ち囃子は付きものであったが、今はない。伝承したい。そして、他地域との交流、伝播(打ち拍子、笛の曲の変化)を比べるのもいい。 山々に響き渡る、軽快な笛と太鼓の音色は旭の伝統で懐かしい。 それぞれの地区の伝統を受け継いでいる 子供の頃から聞き慣れている太鼓の音。心がわくわくしてくる。 各地元の伝統行事を保全すべきだから。または、地区を越えての旭地区全体行事として合併。 打ち囃子とともに、小渡王祭は伝統行事として継承できるといと思う 昔からの行事。今は人が足りず、こども園から高齢者、一体となって取り組んでいる。 地元の伝統行事。古きを知る。 地元だから 地元の伝統行事だから 地域の伝統行事 各地区の打ち囃子を集め、イベント化するとよいかと。 児童生徒も参加し、伝統が継がれているのですばらしいことだと思う。 地元の伝統行事だから
--	--

	子供たちから元気をもらう お祭りが楽しい 地元地区の行事であり、参加を呼びかけできればと思う 地元らしさ 伝統を残していきたい 伝統を守っていくとよくことではなく、小さい子供から大人まで継のつながりができる場所 であり、行事だと思う 地元の祭りに出る人が少なくなってしまった 打ち囃子のリズムが独特 体制等、身の丈に合った伝統文化の継承が大事である 子供・女性も取り込めばまだだやれるし、住民の多世代・多様な人同士の交流にもなる 打ち囃子はとてもすてき 保存会員である。周りには「ない」流派である。 迫力がある 地元の伝統芸能のため 小さな子供たちがリズムよく棒を載く格好は、長く続けていってもらいたい。祭りを盛り上げ てくれる。 他にはない伝統行事だから受け継がれてほしい コロナ禍もあり、神社から打ち囃子の音が聞こえてこない。早く復活することを願う。 地元文化の継承を図る 太鼓や笛が途絶えそう。男女、子供関係なく続けられたら嬉しい。 同じ曲でも地区ごとに少しずつ違いがあり、面白いから テンポも良い、他にない曲目がある 伝統ある文化 昔からの伝統だから 引き継がれてきた大切な文化のため 小学生より指導しても、地元を出るとどうしても遠のくようになってしまいう傾向があるので、 なんとか将来的に持続できるような努力を 一生懸命頑張ってみえる。地元として誇らしい気持ち。 白鳥社（有間町） 字のお祭りのときに、年齢に関係なく全員参加してほしい 大人が心から楽しんでいる姿が良い。 大人だけでなく、小学生の一生懸命な姿にグッとくる。 子供がいない中なんとか継承していきたい ふるさとの祭の音は旭の外で響らす人たちに懐かしく聞こえると思う。また、地域外の人に もどこかで聞いた祭の音は心に響くと思う。 伝統芸能として後世に伝えていきたい 伝統を継承していきたい 大切に残していきたい 杉本地区の棒の手、打ち囃子はお勤め
④打ち囃子（地元以外の 地区）	

	同じ曲でも地区ごとに少しずつ違いがあり、面白いから ふるさとの祭の音は旭の外で響らす人たちに懐かしく聞こえると思う。また、地域外の人に もどこかで聞いた祭の音は心に響くと思う。 ⑤その他 足助の秋のお祭り：山車がすてき 棒の手と打ち囃子をコラボした方が良いと思う 拳母祭りの引き出し
--	---

(4) 自由意見のまとめ

問 13 今後、力を入れて取り組んで行くべきだと思うことや、旭地区のまちづくりに
ついてのご意見・ご提案

自治区	性別	年齢区分	いただいた意見・提案
浅野	女	15～19 歳	高齢化で仕方ないとは思いますが、イベントが縮小されていて、若者としてはあまりおもしろくない。地域の伝統を正しく継承していくべきだと思う。若者を使ってきてくれているので、旭まつりを総合体育館でやりたい。スポンツフェスタを復活させてほしい。
浅野	女	15～19 歳	若者がリターンしてきてくれるような町づくりをしてほしいです。
浅野	男	15～19 歳	買い物ができる場所は小渡地区は多いが、敷島地区は少ないので、敷島地区も置いてほしい
浅野	男	19～29 歳	・災害時の避難施設の設置(各自治区に) ・幹線道路にはみ出している樹木、竹の撤去 ・鳥獣対策(猿、猪、熊、鹿の捕獲)で自然と農産物を守る
浅野	男	19～29 歳	減税
浅野			山間部から市街地へ通勤する、もしくは小さな子供を連れて病院へ行くときなど、車の負担(距離が出てしまう、ガソリン代)が多い。そのため、通勤・子育てなどに対するある一定の基準を満たせば補助が出たりすると、もっと20・30代の働く世代、子育て世代が定住を考えるとと思う。今住んでいる人たちも地域への行事に参加したり、交流の機会になると思う。子供の学習塾も充実してほしい(近くで)
浅野	男	30～39 歳	若い世代に旭地区に帰ってきたらと思うともらうためには、旭地区に仕事があることと、職場が長距離にあった場合に支援があること、それがあると良いと思う
浅野	女	30～39 歳	高齢者の免許返納をする人の数が増加し続けていくことや認知症になる人も増加し続けると思うので、高齢者の生活をサポートするサービス等を充実させて安心して暮らすことができる環境が望むと良いと思う。
浅野	男	30～39 歳	少子化が進めば、若い世代の移住者の減少は明らか。待てば好転するという問題ではないので、常にかが力の入れどころ。
浅野	男	40～49 歳	高校通学の便が強く、行き先が限られるため、入試の際に悩む。また進学を機に引越す人もいるように思う。車が運転できない高校生の通学手段を増やし、進学先の選択肢を増やせるといいと思う。
浅野	女	40～49 歳	敷島が取り組んでいる自給家族の仕組みを旭全地区に拡げてやっていけるように、交所もサポートしてくれるといいと思う。他の(敷島などの)先進的取り組みを旭内で学び合えるようにした方がいいと思う。
浅野	女	40～49 歳	①医療体制の充実 ②災害時の避難場所を自治区毎に設置する
浅野	女	40～49 歳	災害に弱い土地ですので、まずは道路などのインフラや浅野会館は災害時使えませんが、役で代わりの避難所の整備をお願いします。また身内に障害者がいます。地域とかわりながら、安心して過ごせる環境を整えていただけたらありがたいです。
浅野	男	40～49 歳	・地域のまとめ方・たみ方・家も含む。 ・紙面からデジタルに移行をお願いします。
浅野	男	40～49 歳	人口が減っている中、ムリにいままでどおり行事を行う事はムリがある。予算をもっと有効活用する為にも、行事を見直しムリやり参加させる等がない様にしたい方がいい地区行事等は人があつまりにくいのではないのでしょうか？
浅野	女	40～49 歳	道路の車列り(特に県道)は頻繁に行ってもえらえとありがたいです。自転車やダンブなど大型車と通ると反対車線にはみでてくる対向車も多く、危険だなと感じることが多いです。最近では鳥獣害(シカやサル)の被害も多く、農作物を作りたくても作れない状況なので、何かしらの補助があるとよいです。(旭地区として)

浅野	男	40～49 歳	災害で家がこわれてしまったら建て直して住むことができない地域が多い。今後大きな災害がおきたら旭地区はほとんど住むことができなくなるので、災害及び家を建て直して住むことができる対策をしてほしい。
浅野	女	40～49 歳	日常困るな、不便だなと思う事は様々あるが、問題が大ききどうしようもない。人数が少ないのに一人一人が満足して生活していければいい。何かに取り組む、新しいことをするのはなく、今あることを大事にできることをしていければいいと思う。少子高齢化を受け入れ、高齢者が安全に安心して過ごせるように、子供たちが平等に教育を受けられるように、無理せず町づくりをしていければいい。
浅野	女	50～59 歳	イベントをするのはいいが、まずは道路整備、路肩が草ボーボーで事故がいつ起きてもおかしくない状態。高齢化が進み、人手不足、被害は増えるばかり。旭地区だけではなくにもならない。市として、県として対策してほしい。
浅野	女	50～59 歳	安全に走行できるように、伸びすぎて道路・電線に掛かっている木をなんとかしてほしい。 島崎公園のトイレ、その他の公衆トイレ。 夏になると増えるサイクルリングの人が安心して走行できる道路整備。
浅野	男	50～59 歳	もうこの地区に未来は無い。早くなんとかしないと本当にダメだと思う。
浅野	女	50～59 歳	若い世代の人が、一度旭を出て行っても戻ってきたらと思えるまじになるといいです
浅野	男	50～59 歳	旭地区だけでなく、日本中人口が少なくな中で、今までと同じことをやったりしなくともいいと思う
浅野	女	50～59 歳	観光地として集客があるといいなと思う
浅野	男	50～59 歳	高齢化が進む中、各種の難民対策が必要と思う。これは地域だけではなく、行政と地域が一緒に課題しなければ、この先旭地区での生活ができず過疎化が進むだけと思う。
浅野	女	60～64 歳	今後、必ずあると思われる南海トラフ大地震に備えた防災対策。各自治区、各町内で自助・共助・公助を真剣に考えることが大切。少子高齢化に対する手立て。 ・空き家バンクに力を入れ、人口減少をストップさせる ・道路の整備 ・働く場所の確保
浅野	女	60～64 歳	旭地区に来てくれる様なイベントをする。 参加してメリットのある内容を考える。
浅野	男	60～64 歳	高齢者や子供を地域で支える仕組み
浅野	回答しない	60～64 歳	農業後継者がいない。いろいろ行事を行うにも老人世帯が多く、若い人の世帯に負担が大きくなり、住みにくい。子供の教育についても、ボランティアのの名のもと、負担を課せられており、教育に不安がある。
浅野	男	60～64 歳	耕作放棄地が増えている昨今その管理維持が大きな課題となっていると思う。国の政策に大きな問題があると思うが、祖先からいただいた土地を荒れたままにしておくことは良いことではないと思います。行政がもっと積極的にとり組む課題に思う
浅野	女	60～64 歳	アンケートはいいのですが経費(みんなの税金)を考えると封筒が上質すぎる もっと大切に使ってほしい
浅野	女	60～64 歳	高齢者・ひとり暮らしの人も山間部の中で安心して暮せるようにようにしてほしい ・交通機関のこと(車がのれなくなるため)・道路の街灯(夜道路が真っ暗なところが多い)・道路の街灯 草が歩道にあり歩けない など。 ・携帯電話が使えない など、など。
浅野	女	65～69 歳	災害時の避難所が旭支所になっているが、収容能力に限界があると思う。地区の会館、集会所を消防庫を含め、避難所として使えるよう場所移動も考え、現実味のない場所を当たり前のように公に「避難所」としているのはどうかと・・・
浅野	男	65～69 歳	特になし 今のままでよいのでは？

浅野	女	65～69 歳	イベントなど最初は出店される方が多く、参加者もたくさんだったが、だんだんと少なくな ってしまい、寂しくなってきたて行こうと思わなくなる。
浅野	男	65～69 歳	何をしてでも無駄である
浅野	男	70～74 歳	人口減少の歯止めとして U ターン、I ターンの促進と住居の充実。空き家バンクと並 行して空き家売買の情報発信、売却御・購入御ともにメリットがある売却税・取得税の 軽減補助。『売って良かった、買って良かった、住んで良かった』
浅野	女	70～74 歳	もう年老いていくばかりなのでペンペンコロロと生きたい
浅野	男	70～74 歳	敷島・築羽地区は空き家対策、定住促進はじめ諸活動が積極的で、イベントにも子供 から老人まで取り込み、熱心さが伝わってくる。それに比べ、矢作川沿い地区は今一 つ「消極的なまちづくり」だと思う。良きリーダーを育てること、地理的状況もあるか と史料するが、お年寄りが楽しく参加できる行事を増やし、実践してほしいと思う。
浅野	男	70～74 歳	高齢者が暮らす為の住宅整備と町と村との差を考える事
浅野	女	70～74 歳	若い方が移住して頂けると良いですね。若い方が働く場所を作る事。
浅野	女	70～74 歳	季節に合わせた行事を内外に知らせる事。
浅野	男	70～74 歳	高齢者への支援 子どもたちが楽しくすごせる為の援助 開かれた学校
浅野	男	70～74 歳	集落ビジョンが形骸化(絵に描いた餅)している。自治区の取り組みに差がある。
浅野	女	70～74 歳	高齢者のための運動が定期的に(週 1)トレーナーの指導のもと行えるような組み をお願したい
浅野	回答しない	70～74 歳	よくわからないが、高齢化が急速に進んでいて若者が住みよいところではないと思わ れる。何をどうすべきかもわからない。
浅野	女	75 歳以上	私の部落では、県道法面の草刈りを年 2 回行っている。今は自分の家の周りの草刈 りもできない家庭が増えている。反対に少しでも思い、自分の周りの県道の草刈り を自発的に行っている人もいる。豊田市は人の家の周りまで草刈りしてくれない。昔 からこの地に住んでいる人は本当にまじめに取り組んでいるが、新しく移住した方な どは、お役も出ない人がいる。地区を良くするには、大なり小なりの力が大切だと思 う。
浅野	男	75 歳以上	イベントだのいろいろな行事を進めるのは良いことかもしれないが、県道は草が生い 茂り、街から来る車は草除けのためセンターラインを越えて、運転がとてども危険。豊田 スタジアムの前には公園を作っており・・・街の開発はすさまじい。田舎は猪、鹿、猿の 害で高齢者も対策は限界。今の旭地区をもっと生の目で見てほしい。
浅野	男	75 歳以上	以前の旭町時代のように、文化人等による会合を開催してほしい。旧豊田市方面での 開催は、高齢者には参加・出席が困難、合併後は旧旭町での開催が少ないと思う。
浅野	男	75 歳以上	地域会議委員の皆様は一生懸命やっておられると思うが、なかなかその活動が町民 に見えてこない。もっと地域会議の会議中を見ることができたらいいと思う。
浅野	男	75 歳以上	現在の旭にとって最も重要なことは、若者の人口を増やすこと。今の状況は、若者の 都会への流出によって高齢化が進み、そのために独居老人が増加の一途をたどっ ている。行政を見ていると、都会重点、中山間地切り捨てと思えるくらい無策ではない か。
浅野	男	75 歳以上	若者の人口を増やす策として、高齢化によって耕作できなくなったが管理しなくては ならない耕作放棄地を活用して住宅を造り、安価に提供する(敷島自治区、杉本地区 が良い例)。下切地内の市道周辺には環境、条件が揃っている。
浅野	女	75 歳以上	地域の地権者と前向きに話し合う機会をつくってみてはどうかと思う！ 足助病院通院で自宅からバス停まで早い時間は地域バスなし。歩くのも不自由とな り、雨降りなど個人で誰かに頼んで行くこともあり、個人タクシーでもあるとよい。
浅野	男	75 歳以上	①風鈴祭で、町全体を風鈴で盛り上げる ②小渡やなも風鈴祭と抱き合わせてひと工夫 ③豊田の奥座敷のフリーズを強調した方が ④ソーリングコースをPRしてもいい

浅野	女	75 歳以上	⑤ウォーキングコース 豊田市駅(おいでんバス)小渡終点下車～恵那明知へ、明智鉄 道で恵那駅(一日コース)
浅野	女	75 歳以上	私たち夫婦は農業をやっており、鳥獣被害に悲鳴を上げている。電気柵、トダン、ヒ モ、檻など役に立たず、困っている。猪が掘ったところから土が崩れも起きているた め、対策に力を入れてほしい。環境美化などの草刈りも年寄りばかりでやっている が、末にはこうした行事も継続は無理。もっと視点を変え、考えてもらいたい。
浅野	男	75 歳以上	・矢作川に親しむ行事の開発(小学生の釣り教室等) ・矢作川の雑魚の種類が減少した原因調査と対策を実施し、昭和 30 年代の川の状態 に戻すこと
浅野	女	75 歳以上	道路の整備等
浅野	男	75 歳以上	・空き家の整理 ・旭地区の施設やイベントの参加 体調が悪く、O印をつけても参加できないため、不記入
浅野	女	75 歳以上	地区の問題 最近猪が増えて、お金・手間を掛け 野菜を作っても猪に食われ全滅大変しいです。 年々増えます。早急に対策出来ないでしょうか。
浅野	男	75 歳以上	地区の問題 ・野菜を作っている家庭は 皆さん猪に野菜を食われて困っている。(野菜全) ・くまもこわいがさるはまた悪い。 行政で対策を考えてもらえないですか。
浅野	男	75 歳以上	1.農林業に必要な予算 2.幹線道と生活道路予算と災害に強い道路 3.交通環境への整備
浅野	男	75 歳以上	須賀河の場合、自主避難所は旭支所である。往路のがけ崩れが心配である。浅谷トン ネルが完成すれば心配無くなるが遠い。浅野会館を避難所とすべく整備(裏山の山崩 れ防止対応)をしてもらいたい。
浅野	男	75 歳以上	高齢化が進んで田、畑も続ける事が大変になりつつもそれでも毎日一生懸命働いて いる人もいます しかし最近ではさる、ハクビシン、イノシシなどにめちゃくちゃにされ て心が折れる事が多くこれに対する対策をなんとかしてほしいです
浅野	男	75 歳以上	むつかしい事ですね。
浅野	女	75 歳以上	高令で体調不良となり若い方に期待いたします。
小渡	女	中学生	旭の事について知ってもらおう
小渡	女	19～29 歳	移住者が増えて、にぎやかな町になると良い。高齢化になってきているため、できる ようなら池島のぬくもりの里、同敷地内に特養があるが良い。
小渡	男	30～39 歳	若者、子育て世代に住む家が足りない、建てられない。中年、壮年世代の地域活動や 文化継承に必要な人手も少ない。
小渡	男	40～49 歳	観光する場所がない。もう一度来たいと思わないと思う。特産品がない(あるけどア ピールできていない)
小渡	女	40～49 歳	長らく関係人口だったけれど、移住して数か月。まだ地域のことなどわからないこと だらけ。過疎、少子高齢化が色んな影を落とす中、今住んでいる人と外から移り住ん できた人が、幸福に楽しく、長この土地で暮らしていただけるためのまちづくりがされて いくことが大切だと思います。
小渡	男	40～49 歳	住みやすい地区にしたい。無理に行事やイベントをしない方がよい。
小渡	男	40～49 歳	観光スポットの充実と特産品などの開発、知名度向上。 旭には遊ぶ場所が無すぎる。子供たちが遊べる公園も無いし、大人が集える居酒屋 も無い。残念ですね。

小渡	男	50～59 歳	移住者・定住者等の受け入れは積極的に行われており、ある程度の成果はあると思われませんが、それ以前に地元の若い人が外へ出ていかない様にするのが大事かと思っています。
小渡	女	50～59 歳	住み続けたいと思える街づくりをしてほしい
小渡	男	50～59 歳	人口が減少していく中で、おもてなしをしながら手伝ってもらおうのではなく、旭地区でのイベント、行事を住民とともに作りあげていって欲れるように、人達を増やすことが必要ではないかと思う。そういった風土になって、受け入れていけるような取り組みをしていかなければならないと感じる。
小渡	男	60～64 歳	隣界集落と言われ久しいが、住民のみさんの力でここまでよくがんばってきたと思う。ただ全体的な高齢化が進み、これまでと同じことを維持するだけでも限界がある。新しい試みも大切であるが、様々な行事を簡素化し、時間的に余裕のある生活ができるようにすることが急務だと思う。
小渡	男	50～59 歳	・若者が住むことができる住居の整備 ・急傾斜地の見直し
小渡	女	60～64 歳	どんなことでも続けていくことは大変努力がかかります。できる限り続けていく努力は必要ですが、負担が大きくなりすぎていけないので、そのあたりの折り合いのつけ方が何事も難しいと思います。
小渡	女	60～64 歳	家族を養っていきける安定した職場。難しいとは思いますが、仕事があり生活の基盤ができているけば若い人も定着するのでは？
小渡	男	60～64 歳	旭への移住者が散見され、子供たちの声が戻りつつあるのはうれしいこと。一度にたくさん移住者を受け入れると地元民との軋轢が生じるので、少しずつ受け入れ、地元民が移住者に慣れることが大切だと思う。
小渡	女	60～64 歳	・若い世代をどんどん受け入れていく(住宅や仕事) ・環境作りに取り組んで行くべき(個人ではやっているし、やっていきますが…)
小渡	女	60～64 歳	インターネットの環境を充実させてほしい。光ケーブルに 5G のアンテナ等を設置してもらえれば、働く人が増え、人口流出も防ぐことができると思う。早急をお願いします。
小渡	女	65～69 歳	空き家バンクの活用
小渡	女	65～69 歳	高齢者が安心して生活できる環境整備、防災
小渡	男	65～69 歳	旭地区の住民と他の地区の人々に、多くの方々に「認知してもらうことが重要だ」と思う。
小渡	男	65～69 歳	現在のイベントを中止することなく継続していくシステムを作る
小渡	女	65～69 歳	高齢化が進んでいくことは避けられない現実だが、健康寿命を少しでも長く維持できる取り組みをしてほしい
小渡	女	65～69 歳	近年、地震・災害・有事の危険が心配されている。生活に一番大事な食について田舎である旭に期待されているのは、環境の良いところに住み、農業をしながら豊田市内で賃金を得る”兼業農家のススメ”である。人口減少を抑え、農地の活性化、地域の老人们的の生きがいにつながると思う。(指導や技術の伝承、農作業の軽減)
小渡	男	65～69 歳	つぶれそうな商店があれば、町全体でテコ入れし、軌道に乗せる。 ネット環境を充実させ、町の魅力、求人情報等により人を集めて育てる。 AI をフル活用して人手不足を解消する。 産業政策が必要。
小渡	男	65～69 歳	家の建て替えのできる地区の整備と、子供を育てやすくする整備と 2 人目以上の子供の補助金を進める お役を少なくする。
小渡	女	65～69 歳	風鈴祭の街中のかざりの充実

小渡	男	70～74 歳	工場(働ける場所)の誘致が大事、地形が山丘地形なので、平地が少なく、なかなか土地造成しにくい、働く場所が整えば人口も増えるし、消費も増え、あらゆる産業が活発になり、良好なサイクルが生まれる。
小渡	男	70～74 歳	高齢化が進む中、近所付き合いが大切になってくると思う。その繋がりを維持していいことが課題だと思う。
小渡	男	70～74 歳	草刈り等の作業が今まで通りにできなくなってきたている。考える時期。
小渡	女	70～74 歳	鹿が増えずぎて農作物への被害が甚大。鹿が激減する取り組みを。街づくりとは直接関係ないが、追求することは大事だと思う。
小渡	女	70～74 歳	旭地区の道路改良が不十分である。まだまだ市道県道の整備がされていない道路が多く、順次整備を提案する。生活道路、災害道路、福祉道路、重要道と思う。
小渡	男	75 歳以上	小渡風鈴まつりは各方面から大勢の皆さんが特に(土)(日)はゆかたをきた着た人たちが行ったり来たりにざわい気持ちの良い日があります。長く続いていますが、もう一工夫すればもっと良い祭りになると思えます。また天王祭の花火大会も、たくさんの方が見学されます。大変な人出となります。
小渡	男	75 歳以上	空き家バンクの活用、山や川等の自然を生かしたまちづくり。
小渡	男	75 歳以上	夢かけ風鈴、イベント
小渡	女	75 歳以上	小渡こども園の人口が少なく、敷島ばかり多く、なぜバランスをよくしないのか。プールを作っていたきたい(老人が多くなり、体力作りにいいと思います。旭中にもあります、もう一つ小渡小学校にも)
小渡	男	75 歳以上	旭高原元気村を市民の憩いの場として整備されたいと思う。
小渡	女	75 歳以上	介木川沿岸の太木の整備
小渡	女	75 歳以上	若者も自然の中での生活を喜ぶ人も多いと思う。ネットがもつつながると良い。不便なところ、自然なところが良いと思う。
小渡	男	75 歳以上	旭地区だけで自己完結的には街づくりをやることは難しい。そのためあつての平成の合併だと思いが…「自主的組織化と、その活動には予算を考えてあげよう」との政策のためには、リーダーシップを取れる人材育成と交流の場が必要と思うが…
小渡	女	75 歳以上	高齢者が参加しやすいように、バス・車の手配をしてほしい
小渡	男	75 歳以上	山間地域の暮らしを支える重要なものは、まず道路。旭地区はダム建設時代に道路整備をしていられなかったと思う。県道市道の整備等取り組んで行くべきだと思う。
小渡	男	75 歳以上	温泉を是非設置してほしい
小渡	女	75 歳以上	地元の太鼓は絶対に直してはならない
笹戸	女	中学生	多様な価値観があるなかで、すべてをやるのは難しい。各地域で大切にしたいこと(優先度)を明確化し、住民が納得した上で取り組んでいけると良い。
笹戸	女	15～19 歳	お祭りやイベントの再開、増加をしてほしい
笹戸	男	30～39 歳	地域の景観を保つための草刈り
笹戸	女	30～39 歳	道路の草刈りや耕作放棄地の草刈りなど町内会でも実施しているが、手が回っていないところも多く、景観が良くないのでなんとかしたい。観光施策にも献対策にもなると思う。
笹戸	男	40～49 歳	川や森といった自然、祭りなどの行事、これら旭地区に元々あるモノを活かし、市街地の人々が求めるモノを提拱できる街づくりをしていく。
笹戸	男	40～49 歳	①やはり、水の郷が旭の軸と考える。「水」をコンセプトとした事業や取り組みを強く打ち出すべき。温泉が 3 か所存在しているが、とても温泉郷と言っていないレベルではない。その点、日本酒は安作ダム貯蔵酒など対内外に発信している。鮎釣りも同様。今からでも水の郷の復興へ。 ②空き家バンクについて、徒来住み暮らしす東加茂住民を不幸にしているいか？制度の見直しを強く求める ③正直者がバカを見る風潮が旭にはある。どんどん住みづらくなっていく。

笹戸	女	40～49歳	新しく何かを興すのではなく、今あるもの(例えば笹戸温泉や水の郷旭と言われる由縁となったもの)を使っていくべきだと思う。せっかく矢作ダム、矢作川があるのだから、これをもっと活かしてほしい。 小渡こども園に園児がいる間は残してほしい。小学校も今後児童が減っても合併はないほしい。 スーパーの誘致を検討してほしい。 道路整備、土砂対策等の安全対策、観光 今ある行事を形を変えてでも続けていけるよう次世代へ教えてほしい(祭の笛、太鼓、しめ縄作り等) 持続できる町内会活動の取り組み(10・15年後、町内会が存続しているのか不安) 定住促進ではなく、企業誘致(働き場所)を小規模から徐々に進め、働きたい人やこで自ら住みたい人が安定して居住できる仕組みを整える施策にする。無理に移住させない。家賃、土地代が安いからという理由での人集めは、コミュニティが壊れる原因となりかねない。 本当に思うことなんて書けない 10年後、20年後も旭で暮らし続けたいけるよう、地域のつながりが時代に合わせて形を変えつつも持続できればと思う。そう願っている。 小さくてもよいので、スーパーがほしい 住民が住むのに必要な施設、出て行った住民が戻ってくる、新しい住民が住みたくなるような施設の設置と、道路の安全確保をお願いしたい。現状、県道を走ると、歩道を歩けない道がほとんど。見直しをお願いします。 しきしまの家に行って思ったが、近所の人が気軽に集まれるところができてうれしいと言われる人が多い。地域で集まれる場所がもっとあるとうれしい。 若者が旭地区に住みたいと思えるような仲間づくり 高齢者が増え子供が少い状態は、若者(働く現役世代)の負担増を招きかねない。 若い世代が帰って来て、安心して子育てできる地域づくりができるとよいと思うが、難しい。高齢になっても元気な方は、地域の担い手となって活躍してほしい。また、女性ももっと各方面でその能力を発揮してほしいと願っている。 外国からの人が増えてきて、地域の行事等いろいろな障害が増えてきていると思う ・移住者が多くなるのはよいが、旭住民の良きところがなくならないようにしてほしい！ ・ささかりのキャンプ場(有料)と無料の河原を利用する人のマナーについて考えられたいらと思う！ ・こども園、小中学校の今後の在り方！ 旭地区での収入確保 旭地区は愛知県で初めて紙漉きがされた場所で、三河森下紙が漉かれていた。全国的に無くなっている紙漉きは本当にいい仕事で、必ず日本に残さなくてはならない伝統工芸。次の世代、未来ある子供たちのために「旭で和紙づくり」として継承を行い、紙の好きな人たち、修復家、アーティスト、海外の人たちが来られ、自由にものづくりができ、旭地域が美術や音楽を中心としたアートの街づくりをし、10年後、100年後の旭地区を考えている。どうか、よろしく願います。 皆さん頑張っている。もっど行事にみんな参加してほしい。 景観の改善、耕作放棄地を減らすor美化(草刈り)、日本の里山・田園風景を復活、美しい里山、不便さの価値を高める 移住者をもっとと謙虚になっしてほしい。移住者に頼ることなく、地元の人にかんばってほしい。
笹戸	男	40～49歳	
笹戸	女	40～49歳	
笹戸	女	50～59歳	
笹戸	男	50～59歳	
笹戸	女	50～59歳	
笹戸	女	50～59歳	
笹戸	男	60～64歳	
笹戸	男	65～69歳	
笹戸	女	65～69歳	
笹戸	女	65～69歳	
笹戸	男	65～69歳	
笹戸	男	65～69歳	
笹戸	女	65～69歳	
笹戸	男	65～69歳	
笹戸	男	70～74歳	
笹戸	男	70～74歳	
笹戸	女	65～69歳	
笹戸	男	70～74歳	

菅戸	男	75 歳以上	若い人が自宅から通勤できるように働く場所の検討→若い人が旭から出て行かない魅力ある地域づくり。 子供が少ない→未婚者が多い。
菅戸	女	75 歳以上	田畑だけでなく、鳥獣が多く、安心して住むことができない
菅戸	男	75 歳以上	アンケート→何が知りたいの？
菅戸	女	75 歳以上	菅戸温泉の再開発を望んでいる
菅戸	女	75 歳以上	菅戸温泉の復活
菅戸	女	75 歳以上	高齢者が年々多くなる。家にて引きこもりにならないような、誰にでもできる、運動がかねた遊びのような行事を取り入れてほしい。
菅戸	回答しない	回答しない	人、特に若者がどんどん減っているのに、何かする必要があるのでしょうか？
敷島	男	中学生	楽しい行事つくって
敷島	男	中学生	特にない
敷島	女	中学生	クマとかの被害を減らす
敷島	男	15～19 歳	今後、力を取り入れ組んで行くべきだと思うことは、日用品などを売っている場所を山間部にも作るべき。
敷島	女	15～19 歳	正直なところ、中学生や高校生などの若者が楽しめる地域イベントがコロナ禍以降減少している。あさひまつりやスポーツフェスタはコロナ前のようにやってほしい。スポーツフェスタはもう少し若い世代が競技に参加していけば、継続していけると思う。あと、学生の中で小渡のイベントは小渡の人のみ、敷島のイベントは敷島の人のみが参加するという変な偏見があるので、そこを少しでもなくせばもっとよいと思う。イベントの時だけでも交通機関を増やしてほしい。
敷島	女	19～29 歳	高齢者が多い地域なので、多発している詐欺や犯罪などの啓蒙活動に力を入れてあげてほしい。
敷島	男	19～29 歳	放置された針葉樹の間伐
敷島	女	19～29 歳	山が多いので、少しずつでも杉やヒノキではなく、広葉樹（花がキレイなものや、蜜源植物、実のなるものなど）を植えていきたい。いつか旭の資源となつたいい。
敷島	男	30～39 歳	総合体育館にクーラーを付けてほしい。
敷島	女	30～39 歳	移住者が増えて子供が多くなっているのに、遊ぶ場所が少ない。公園等、小さい子供れが遊ぶ場所がほしい。
敷島	回答しない	30～39 歳	旭内でコンパクトシティを目指し、できるだけ中心地に人を集めていくと支え合いや助け合いがしやすいかな、のでは。
敷島	男	30～39 歳	地域を未来へ残すなら、子育て、子供のための施設の充実を。今の人口比に対応した施策の取り方では、その人口比傾向を加速させる。（より高齢化が進む）増やしたい層のための施策を取りましょう！
敷島	女	30～39 歳	子供がもっと遊ぶ場所がほしい。移住者の受け入れ。人口減少が少しでもゆるやかになるような取り組み。
敷島	男	50～59 歳	町をいかに集約させていくか、支所をなくしてもいいと思う。先の短い年寄りの意見ばかり聞かないで仕方がない。年寄りの意見よりも若者の意見を優先して考えるべき。ムダなところにお金を使わない。自ら好んで山奥に住んでおきながら、バス代を無料にしうとかいう自分本位な意見は聞く必要がない。草刈が大変なら除草剤をもっと使えばよいのでは。
敷島	男	30～39 歳	20・30 代の若い世代・夫婦で旭に住みたいと考えてる人は、行政等が把握しているよりも多くいると思う。私の知人も旭に住める場所を検討していたが、見つからず諦めたり。豊田の市街地でアパートを探すのと同じくらい簡単に検討できることが必要だと思う。市営住宅の戸数は足りていないと思う。戸建てを建てることのできる分譲地も必要だと思う。

敷島 敷島	男	30～39 歳	定住を希望される方がいても家を建てられる土地が少なく、人口増加につながりづらい。空き家バンク等ではなく、将来的に定住できるような宅地提供が必要だと思う。また、子供らが気軽に集まって遊べる公園等がほしい。
敷島	女	30～39 歳	子育てしやすい環境も大切だが、高齢者が増えていくと思うので、高齢者に優しい町づくりが最優先。また、高齢者を支える世代の人材の確保。
敷島	女	30～39 歳	・山の手入れ ・宿と連携した観光の在り方 ・旭に多いお寺や神社の活用 ・旭に向いている農作物の普及
敷島	女	30～39 歳	個人的には観光よりも住みやすさをアピールして、定住・移住を促進した方がいいと思う。豊田にも名古屋にも通勤しやすい、静かな山里として住みたい人はいれると思う。
敷島	男	40～49 歳	雇用。仕事さえあれば(充実していれば)若い人も集まりやすくなるのでは。
敷島	男	40～49 歳	インターネットの光回線の充実、水資源の保護
敷島	女	40～49 歳	旭に限ったことではないが、少子高齢化が進み人口減少がますます加速していく中で、移住定住のひとつ大きな力ギとなるのが教育だと思う。他県では教育に力を入れ、移住者が増えた事例もある。今、多様な教育ニーズが増加、この山間部で自然豊かなオリジナルの教育を展開してみては？島根発「地域みらい留学」などは移住や関係人口が増えたと聞いた。
敷島	男	40～49 歳	とりあえず人が集まらない(住まない)ことには始まらないので、定住が進むように衣食住の確保と、そのための就労場所の確保が必要かと思う。
敷島	回答しない	40～49 歳	高齢者の方が一生懸命作った野菜を動物に食べられ、田畑を荒らすため、鳥獣害対策に力を入れて取り組んでほしい。網は動物が噛みちぎってしまつたため、細い金網で対応してもらいたい。
敷島	回答しない	40～49 歳	市道もちゃんと草刈り等をしてほしい
敷島	女	40～49 歳	中学生の事業でいらバーニョのことを知って好きになり、自分で畑で育て、今年初めて出荷した。中学生や足助高校などコラボで何か取り組んでいけるといいと思う。
敷島	女	40～49 歳	地域住民と学校の連携。学校だけでなく地域で安心して子育てができると、未来は明るくなるだろうと思うから。
敷島	男	40～49 歳	旭地区で生まれ育った人へのアプローチに力を入れてほしい。一度地元を離れることは良いことだと思うが、Uターンを期待する。
敷島	女	40～49 歳	・田んぼや畑(使っていない)ところを埋め立てて宅地を作るべき。矢作川からの砂も埋め立てられるし助かると思う。田んぼを荒らしておくより埋め立ててほしい。 ・空き家をどうにかしないと、景観も悪いし危険。いつ崩れるか不安だし、こわい。
敷島	男	40～49 歳	環境美化のような地域の作業の負担軽減。作業内容が住民の数に合わないので、参加行事だけで住みにくい環境になっている。
敷島	女	40～49 歳	土日何度も集まることが減ることがありたい。この地域に住む上で大切なことなら必要なとは思いますが、「昔から続いているから」「やめると言いづらから」という理由が大きいことは無くていいかと思う。その方が出ていく(引)越しい人も少なくなるし、今以上にすみやすくなるかなと感じる。
敷島	男	40～49 歳	住みやすい町にするには、不便さを解消することが大きいと思う
敷島	男	40～49 歳	自治会の統廃合、町内会の統廃合および神社やお寺の合併、集約が必要 人が少なくなると、草刈り、道路整備まで手が回らないので、ロボット等を活用できる仕組みを作れたらいいと思う。
敷島	女	40～49 歳	空き家を親族ではどうすることもできない(費用面で)場合の対策が公的なもので助けてもらえるとありがたい。
敷島	男	40～49 歳	もっと地元民の力を引き出して、町のアピールに参加してもらえばべき

敷島	女	40～49 歳	高齢化が進む町内で、主となって役をこなせる人も減ってきて、残った人に負担が多くなってくる。町内の行事、祭事、作業などの廃止や回数を減らす等、考えた方がいいと思う。農地の管理も、景観というだけで傾けていくことは本当に無理。高齢者が運転できなくても、通院や買い物に困らないような仕組みができるといいと思う。現役世代が減っているのに、今までと同じようなやり方や同じような地域の役を担っていくのは無理なので、検討すべき
敷島	女	40～49 歳	・人口減少と高齢化で、できることが減ってきたが、できることをでできる範囲で楽しめるといいと思う。 ・災害も獣害も山の管理が原因だと思うので、もっともっと真剣に地域・行政が取り組む必要があると思う。今現在の対策と未来を見据えた 2 つのことを同時進行で行うべき。
敷島	男	40～49 歳	・旭地区は、全体的にとってもあたたかい人間関係のあるところで、これは旭の宝だと思う。 ・森林(山林)の整備が待たなしの課題だと思う。このままでは農業をする人が減ってしまうし、農地も荒れてしまう。時間はかかるが、間伐の促進、人材育成、小中学校での山の教育、間伐材の利用促進など、進めていきたいと思う。
敷島	男	40～49 歳	温泉街の復興など、その地域にしかない宝を活用した事業をやって町興しをしていくべきと感じる。地域再興。
敷島	女	40～49 歳	鳥獣害対策を進めてほしい。動物が多すぎる。外出するのも安心できない。
敷島	男	40～49 歳	公共交通機関の充実をお願いしたい。若者が住みやすい町にしないといけない。旭ではできない、中山間だからできる教育環境の向上は、移住者増にもつながる。今の旭は教育の選択時が公教育一択のため、教育がフックとなる移住者は少ないので、そこを充実させることで多くの世帯に移住を検討してもらえようになるでしょう。
敷島	男	40～49 歳	地域の方、地域外の方が交流できる機会や場所を増やすことで活性化されると思う
敷島	女	40～49 歳	子供が遊べる公園などがもう少しあるといいと思う。
敷島	女	40～49 歳	歩ける範囲に買い物できるところがあるといいなと思う
敷島	女	50～59 歳	移住者の受け入れをすることは、人口減少に少しでも歯止めがかかりそれ自体はいいことだが、移住者のトラブルが多いので、しっかりと審査をして見極めて受け入れれないと後々大変なことになると思う(もうなっているかもしれないが)
敷島	女	50～59 歳	災害が増えているので、特に独り暮らしの老齢の方などは災害時にどのように自分を守るか、また避難するかシミュレーションしたり、また温暖化のせいか熱中症が増えているので、どのように対策するかなどの知識を持つべく、教育的な場を設ける。地区の集まりの際などでもいいかも。
敷島	男	50～59 歳	田畑の獣害対策、特に猪で崩れた土手など、個人の力ではなかなか修繕できない。荒らされない対策と合わせて考える必要がある。
敷島	男	50～59 歳	農地の保全、鳥獣害対策の推進
敷島	男	50～59 歳	何を知らたいのかわかりません 地域の充実、老後の生活、子供支援、地域の活性化
敷島	女	50～59 歳	移住者を受け入れることも大切だと思うが、子供たちが地元に残って暮らしたいと思える環境も見直して考えてもらいたい
敷島	女	50～59 歳	旭の公共施設にフリーWi-Fi がほしい。ネット環境の充実、キャッシュレス化を積極的に取り入れると若い世代が住みやすくなると思う。
敷島	男	50～59 歳	足助の町並みのような、一つのびれないテーマ性を持った町づくりをしてほしい。豊かな自然環境を活かして、別のものと掛け合わせた価値を模索するのがよいのかなと感じる。
敷島	男	50～59 歳	お米のおいしい地域だが、認知されていないように思う。ミナサヒも下山、新城のイメージ。旭地区としてもアピールして売りやすい環境にすることが、田畑を守り農村を守ることにつながると思う。

敷島	男	50～59 歳	今後 20 年以内に消滅が予想される地区の終活が必要だと思う
敷島	女	50～59 歳	若者を中心に旭を考える取り組みをしていけば、世代はつながっていくと思う
敷島	女	50～59 歳	防災や避難所運営に女性が参画できるよう、自治区運営にもっとジェンダー平等の視点が必要と思う
敷島	女	50～59 歳	次世代が戻ってきて、安心して子育てできる環境づくりは早急に取組まなければいけないと思う。どんな対策をしよう、人がいなければ将来はないと思う。それも地元出身の子が親になり発展してほしい。そのためには住居、仕事、子育て支援、いろんな年齢が集まれる場所が必要。若い世代にもっと意見を聞いてほしい。
敷島	男	50～59 歳	地域課題について皆さん問題意識を持たれているが、高齢の方が多く、情報伝達、共有が遅れてしまうように思う。情報交換がスムーズにできるようになるだけで、解決できることも多いと思う。魅力的な地域資源がたくさんある地域だと思う。
敷島	男	50～59 歳	田舎を大切にし、良さを最大限に引き出す力を引き出すことが近郊の課題と考える。田舎暮らしに必要なものは何か！？また、どのような環境であれば住みたいと思える町となるのか！？ぼちぼち真剣に考える時期に来ていると感じる。
敷島	男	50～59 歳	森林、道路沿いの木、竹の処理
敷島	女	50～59 歳	高齢だから協力できないではなく、あと 10 年もすれば高齢者しかない環境なのは間違いないのだから、今から 70 代、80 代の人や元気な人は進んでいるいろいろなことをしてほしいと思う。子育てしている人に役員などをお願いするところには、1 ターンも 1 ターンもないし、魅力を感じほしいと思うから。
敷島	男	50～59 歳	・高齢化に伴い、病院に通える手段が必要。 ・県道 土岐足助線 杉本～小渡間をループ橋等で大型車両でも通行しやすくする。国道への格上げ。 ・日用品店等の誘致。
敷島	男	60～64 歳	人口が増えるように、仕事が地区で行えるようにしてください
敷島	女	60～64 歳	高齢者になっても働ける場所があるとよい。遠くまで車を運転するのは大変になってくるので、近場で働ける場所があるのはありがたい。高齢者に限らず、若者にも魅力ある企業があらば人は集まると思う。
敷島	男	60～64 歳	年毎に体力気力がなくなくなり、お付き合いもできにくくなった。若者と暮らしているわけでもなく、夫婦二人暮らしで自治区の役員などが負担になってきた。定年もないので、役を立てなくても役員会にはしるしぶりがでるを得ず、困っているのと考えてほしい。
敷島	女	60～64 歳	市道・県道の整備、安全確保、働く場所の拡大(工場誘致等々)
敷島	女	60～64 歳	道路近くの樹木が伸びて道路に覆いかぶさり、道が狭く感じるところがある。個人の土地の木もあるだろうけど、切って道路が明るく広くなるといいと思う。
敷島	男	60～64 歳	空き家の利用の検討
敷島	女	60～64 歳	・笹戸温泉がもったいない。 ・あさひ荘を外部からの利用も受け入れて、知ってもらえたら良いと思う。 ・旭には良いところがたくさんあるのに、何かパラパラすぎてもったいないと思う。
敷島	男	60～64 歳	わくわく事業など住民が主体的に参画できる事業が重要だと思うが、採択のプロセスなどの情報公開や民主的なプロセスが必要だと思う。審査会が申請団体だと利害関係が生じるステークホルダーなので、適正な審査でない状況が生ずる心配がある。
敷島	女	60～64 歳	役員になった時の負担が大さい。子育て世代が楽しめる行事を大切にしてほしい。
敷島	女	60～64 歳	小渡、敷島という意識があり、旭地区の町づくりとして 1 つには考えにくいところがある。特に豊田市内または他地域に動機に出ている世代や人たちは、それだけで精一杯で"町づくり"について考えたり、何かをしりたい余裕がないと思う。住民を増やすために、住宅地整備など取り組めたいらしい。
敷島	男	60～64 歳	マルシェ、農業体験などの推進。他県の成功例を研究する。

敷島	男	60～64 歳	やはり関係人口を増やすには、なんといっても道路が必要。旭は他(小原、足助、下山)に比べてとにかく道路が狭い。道もくねくねしていて、市街地から時間がかかる。岐阜方面に抜けるにも道がとても悪い。とにかく道路整備が重要課題であると思う。町づくりする上で必須であると思う。
敷島	女	60～64 歳	伝統文化、行事等、継承していくことは大切にしたいと思う
敷島	男	65～69 歳	子育て世代の移住、定住 ①空き家の耐震化をして入居(空き家は古く不安が多い) ②住宅用地の確保 ③子育て相談、嫁さんが相談できる取り組み
敷島	男	60～64 歳	誰かががんばらないと維持できない活動にはどこかに無理がある。長期に持続できる町づくり、イベントを促したい。
敷島	男	65～69 歳	子育て、保育の環境づくり
敷島	女	65～69 歳	景観維持、空き家解体の助成など
敷島	男	65～69 歳	農業で物を作る楽しさを知る
敷島	男	65～69 歳	・自転車のサイクルマラソン、ツールド旭など地域で計画、合わせて移動トレラーで食事、ドリンクも提供 ・山林の皆伐による跡地の有効利用！(例:移住向け、ドライブコース、ジョギング)
敷島	女	65～69 歳	地域の結束が必要。バラバラなかんじがする
敷島	男	65～69 歳	今後、ますますの人口減少は仕方のないことであり、人口の増加または減少傾向の鈍化を図る諸政策より、人口が減少しても未来地域にて生活が維持継続可能な各種の取り組みが必要と思われる。法律的に制限されている項目があると思うので、法律の改正も今後視野に入れる必要があると思う。未利用農地を宅地として、墓地として再利用すべきである。
敷島	男	65～69 歳	・小学校・保育園を 1 つにして、スクールバスでの送迎をする。 ・地区行事を増やさない、形ばかりの行事で、参加もお約半分出席している人も多い。 ・少人数参加でも、行事を進めていき、地区で何人くらいという目安を作らない。お役出席を無くす。
敷島	男	70～74 歳	人口減少の中で、行政組織(町内会、自治区)のスリム化(統廃合)については、地域のつながりが強い小学校区を基本とするよと史料する
敷島	女	70～74 歳	交通の便をもっと充実させてほしい。野菜を作っても畝に溢られてしまい、何のために作っているのか。網で囲い、更にその中を囲ったりしても鹿などに荒らされ、人間の口にはほとんど入らない。田の法面が崩れて申請しても何年も待たねばならない。大勢にならないうちに対処してほしい。
敷島	男	70～74 歳	人口や世帯は今後も減り、これまでの町内会単位では解決できない課題も増加する。したがって、自治区の課題解決能力を高める必要があり、小学校区で一自治区にするなど再編強化を図るべきではないか。
敷島	女	70～74 歳	人との精神的なつながりは変わらないと思う。後期高齢者が増える中、体力・経済で支え合うのは限界だと思う。 ※不安なこと:台風や豪雨のたび、家や畑に接しているボタから中をくぐって水が流れ、地形が変わっている。「赤道が水で寸断され、崩れなくなっている
敷島	女	70～74 歳	旭地区外にいる家族(息子、娘)が手伝い、参加してくれるようになると良い
敷島	女	70～74 歳	いろいろバタバタしていたので、家から必要以外出ていなくなっただめ、なんとも言えない
敷島	男	70～74 歳	・とにかく町の活性化を図る ・若者が住んでくれる町づくり。

敷島	女	70～74 歳	・観光・観光スポットの整備 ・特産品：土産物の開発 ・ラリーや風鈴などもっとアピール ・パワースポットなどの整備、インスタ映える場所のアピール、海外にもインスタで んどんアピール
敷島	男	70～74 歳	定住対策、景観維持
敷島	男	75 歳以上	高齢化により美しい里山の景観が維持できなくなっていく。農業を含めて、地域全体 を支える仕組みが必要。
敷島	女	75 歳以上	若者が住みやすい環境、医療、通学、買い物
敷島	女	75 歳以上	それぞれの地区で力を入れていることを進めていけば、旭地区全体の町づくりになる のではないかと
敷島	男	75 歳以上	新聞、TV、ラジオ等の報道機関へ旭地区の出来事や取り組みなどをどんどん提供し ていく。小さなことでも報道で取ってくれると大きくなり、旭地区の宣伝ができる。
敷島	男	75 歳以上	幅広い年齢層が一つに、また一緒に行える催し物等企画してもらいたい
敷島	男	75 歳以上	①中山間地は、大気中の CO ₂ を吸収して水と酸素を出す大事な工場だが、守る姿勢 が政治に見られない。 ②中山間地の田畑、山は利益にならないため、若い人はタダでももらいたくないと考 えている。 ①を考えると守らないといけないと思う。そういう仕組みづくりが必要。 歩くのが難儀なので、どこへも行けない 古くから地域にある史跡、文化等を継承、保存、守ってほしい(貞観杉、弘法山 の地蔵さん等)
敷島	女	75 歳以上	今回でさじしまの家」は本当にすてき。考えられた方々には頭が下がる。敷島の 誇りとして、これからもますます来えていくことを願っている。
敷島	女	75 歳以上	空き家が本当に多いので、一組でも入居してもらえようように町ぐるみで応援してほし い
敷島	男	75 歳以上	若者たちに住宅団地ができない
敷島	男	75 歳以上	旭を自慢できるようになりたい
敷島	女	75 歳以上	地域外へ出た子供たちがいつてもまた戻って生活できるようにいろいろ取り組んでほ ください
敷島	男	75 歳以上	コンビニの設置
敷島	回答しない	75 歳以上	近頃とても淋しいなあと思うことは、地域の中に地域を良くしようという世代がいな いような気がする。コロナ禍の後ということもあるとは思いますが、敷島自治区には「さ じまの家」ができた。この施設が拠点を守り、住民の居場所であり続けることを願っ ている。住民一人一人が自分の地域を守る。いつも心に留めて暮らしたい。
敷島	男	75 歳以上	文書やPC、スマホメール等による諸連絡が多く、口から口への伝言が少ない。人と人 との会話によるお知らせがほしい。ポストに入れるだけでなく、一言を添える配り方 を工夫できないか。
敷島	男	75 歳以上	山林資源の活用
敷島	男	75 歳以上	大変な時代で、上に立つ方はご苦労されていると思うが、何をやってもらっても困けど何と かで、地元の方が参加されるようなイベントを考えねばと…。どこ誰かわからない若 い人ばかりでは、どこかの花火と同じで一発で終わり。インターネットや何やらで集ま った人たちのだけの、数を集めればの行事は無意味では、何をするかはこれからの課題 といえる大変。ラリーもいいが、もっとやることは税金の使い方も含め。
敷島	男	75 歳以上	若者に安定した仕事があること。農林産物に採算の合う価格保証を求めること。 伝統行事以外で、趣味など一生懸命携わっている方々の紹介と、その方達が継続でき るよう市役所として補助、援助するような手立てを考えるのはどうか？

敷島	女	75 歳以上	家の周りの整備、雑木など大きな台風や大雨がこわい。日も当たらなくなり、農作も できなくなる。とにかく鹿、猪、ハクビシン、野獣が多く困っている。野菜を食べられて しまう。
敷島	男	75 歳以上	学生との交流の記事を広報で見ると、旭の農業体験の交流を増やし、年間の作物の 成長、管理の重要性、収穫の喜びを体験し、田舎の良さを少しでも理解されるよう交 流してほしい
敷島	男	75 歳以上	人々が旭に住みたい町づくりを
敷島	女	75 歳以上	人口が減っている状況を考え、荒れている田畑、山林をどうかしてほしいなと思う
敷島	女	75 歳以上	もっと車を出してほしい。年寄りほどどこにも行けない。
敷島	女	75 歳以上	年を重ねて、農業ができなくなるのはすぐ目の前。荒れ地が増えることは残念なこ と。
敷島	女	75 歳以上	私にはわからない
敷島	男	75 歳以上	・温泉の街として復活できないものだろうか。大切な地域資源だと思う。 ・インフラの整備：道路、駐車場
敷島	回答しない	回答しない	・地区への定住希望者に住民ごとの支援を惜しまないこと ・豊田の気温上昇に、この地区は 3-4℃低いことを取り上げて教訓していったらどう か ・さじまの家ができすぎずほしい。 ・昔から継承している人間関係が大切だと思う。 ・生活環境を皆で良くしていきたい。
敷島	回答しない	回答しない	万町の産廃と水道の調査
築羽	男	中学生	交通機関や買い物スポット
築羽	女	中学生	商店街の活気、買い物ができる場所がなく不便。他の場所で購入する為、旭でお金を使 う事が全くない。経済が回らないから何年後には旭地区なくなそう…
築羽	男	19～29 歳	高齢者が多い社会、病院がある地域まで時間がかかる。仕方のないことだが、町づく りにおいて取り組むべきだと思う。また、テーマパーク、ショッピングモール、セブンイ レブ、交通機関などは住む上で不満だが、自然や空気はすばらしいと思う。
築羽	女	30～39 歳	窓の外に広がる山や空の景色が好きなので、宅地や観光スポットがすぐそばに来てほ しいとは思わない。でも同世代が少ないので、空き家がなくなるくらいの人口林を自 ほしい。それと、道沿いに花木を植えるだけではなく、伐期になった多くの人口林を自 然豊かな(多数種)の森にできたらもっと美しい風景になるだろうな。住民だけでは きない森の手入れは、支所や森林課、森林組合と協力して進めていけたらいいと思 う。(各町の森づくり会議から意見をもらう場を作りたいと個人的に思っている。)
築羽	男	40～49 歳	旭地区内の道沿いに生えている木(倒木、枝が落下しそうな木)の伐採
築羽	男	19～29 歳	地元の人やよく参加する人が楽しんでいるイメージ。地元以外の人々が参加しているイ メージがない。
築羽	男	40～49 歳	高齢者が安心して暮らせる街づくり 公共交通環境(バスの増便等)
築羽	女	40～49 歳	若い人が減ってきているので、以前と同じ行事や活動は難しいと思う
築羽	男	40～49 歳	・鹿が自然環境や集落活動、田畑へ被害を大きく与えている。根本的な対策を地域全 体として取り組みたい。 ・旭の中で働ける機会づくりや見える化。
築羽	女	40～49 歳	きれいな川づくりに力を入れていくと、地域の自然を活かした子育て、学校教育にも つながり、住んでいる人の満足度 UP や移住者増にもつながるかなと思う
築羽	男	50～59 歳	山林農地の管理維持。子供たちは外に出ており、たぶん旭地区には戻って来ないだろ う。水路地、獣害柵等、補助金を活用して整備した農地が傾野になる。
築羽	女	50～59 歳	継続できないことが増えていくと思われる。残すのかやめてしまうのか、決断していく ことが迫っている。広く意見を募り、決めていく欲しい。

染羽	男	50～59 歳	地元だけでなく、地域外の人とも協力して活動できる体制(環境)づくりもあればと感じる
染羽	男	50～59 歳	鹿や猪など害獣をどうにかしてほしい
染羽	女	50～59 歳	子供が楽しめる行事がうれしい
染羽	男	60～64 歳	・全ての地域活動の見直し(縮小か廃止) ・道路法面、田畑法面の草刈りを全て公費で実施
染羽	男	65～69 歳	10年後にはおそらく現在の田畑の 70%以上が耕作されていないと思う。田畑を荒らすずに次世代へ渡す方法を考えないといけないと思う。例えば、動植物に田畑を守ってもらう世話のない方法を皆で考えてみたい。
染羽	女	65～69 歳	地区の行事などお年寄りに声をかければ参加してくださるのに、中間の若い人達が参加していない様な！気持ちが悪くないのか？もう少し参加して協力できる関係ができると活気が出て良くなるのでは？元氣よく、みんなで楽しく！
染羽	女	65～69 歳	誰でも慣れる町になるように
染羽	女	65～69 歳	広域農道の木を切った方がよい
染羽	女	65～69 歳	移住者、定住者の受け入れについて、地区の決まりごとに添えない人は受け入れない方がよいと思う。後に長いトラブルに繋がると思う。
染羽	男	65～69 歳	通過型ではなく、滞在型の観光地を目指して
染羽	女	65～69 歳	移住者、定住者をいかに増やすか
染羽	男	65～69 歳	雇用創出からの拡がり
染羽	女	65～69 歳	若者がどんどん出て行ってしまいい、残るのは高齢者ばかり。若い人達が地域で働くことのでき、親、子、孫等と一緒に地域に残って生活できる環境を作ってほしい。
染羽	回答しない	70～74 歳	・小中学校の統合(旭地区内に限らず) ・笹戸温泉の再生
染羽	男	70～74 歳	理想論ばかり言っているのはもうやめにしてみたい現実にしっかり見たり対策、行政、他を行ってほしい。地元に残った人々にこれ以上の負担の強要はやめるべきだと思う。外部より町へ入ってくる人々を、市(町)はしっかり見極めて、地域の負担を作らない様、このアンケートも 1set どれだけのお金がかかっているのか疑問だ。△ダは小さなことから書いてほしい。
染羽	男	70～74 歳	人口何人の町づくりを目標にしているのか？農地や森林の保全、集落の維持が保たれれば良いのか？企業の誘致や住宅の確保、商業施設の充実がなければ若者の人口増加は勇みめないと思われるが？
染羽	男	70～74 歳	温泉地名の復活
染羽	男	70～74 歳	旭で何ができるかな？お米、野菜、果物づくりに挑戦して、旭にはこんなにおいしいものがあると言いたい。家の近くに食事のできる場所ができるとういいなと思う。
染羽	男	70～74 歳	今後、ますます人口減少と高齢化が進む中、自治体単位での高齢者見守り、お助けなどの制度が必要になると思われる
染羽	男	70～74 歳	高齢地域になり、自分が体力劣化となり、今までのように活動できなくなったことで、地域との関わりがますます低くなった
染羽	女	70～74 歳	高齢化が進み、人口が減少している地域ではあるが、それを止めるとか人を多く集めることに力を入れなくてもいいと思う。世の中の自然な流れであり、若い人達が自分の考えで好きな道を選択できる時代になっているからこそだと思う。でも、今の旭に住んでいる人々々が幸せで満足するためには、仲間の協力が有り、文化的な環境があり、仕事があり、田畑を守ることができ環境づくりが大切だと思う。住んでいる人が幸せならば、若い人も集まってきたり、子供達も残ってくれるのかなと思う。
染羽	男	70～74 歳	・教育に力を入れてほしい。大人になった時に、東京で育ってほしい情報があり、自分の選択する人生が変わったなと思ったりする。 ・交通の整備をしてほしい。公共交通、道路整備など、インターネットでの情報量は増えたが、実体験ができる時間、空間に行くのに時間がかかる。

染羽	女	75 歳以上	鳥獣害対策に力を入れてほしい。農作物の被害が大きく、耕作欲が失われてしまう。
染羽	女	75 歳以上	田畑の維持管理が高齢化で困難となるので、市・県・国での対応を検討してほしい。10年後、20 年後は田畑は荒れ放題になってしまう
染羽	男	75 歳以上	少子高齢化が進んでいるので、若い人が一人でも多くこの地で定住し、生活が成り立つ地域づくりが推進されることを期待する。
染羽	女	75 歳以上	介護施設が少ない。遠くに行くのは嫌だ。
染羽	男	75 歳以上	困りごとの吸い上げをし、各団体でも行っているため、それらをまとめ、やってもらえる方法を考えていく。例えば、おいでん山村センターなど。
染羽	回答しない	回答しない	人を集める仕組みが不足している。来ても電波が入らなかったりと、不便を感じる声をよく耳にする。

旭地区のまちづくりについて、あなたの意見をお聴かせください！！

旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査

日ごろから旭地区のまちづくりにご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年に旭のまちづくりの『道しるべ』として策定・運用してきました

「第2次旭地区まちづくり計画」の前期5か年計画が、令和8年3月末で終了します。

地域会議では引き続き、今後のまちづくりについて、その方向性を皆で共有し、

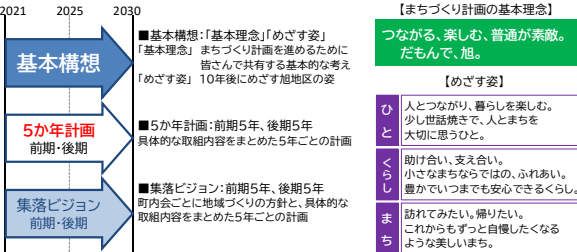
オール旭で取り組んでいくために後期5か年計画を策定していくこととしました。

そこで、計画の策定にあたり、前期5か年計画を振り返り、皆さまのご意見やアイデアを

参考にさせていただきたいので、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

令和6年7月
旭地域会議 会長 板倉小夜子

■ 現行の旭地区まちづくり計画



【アンケート調査の取扱いについて】

1 調査結果は数字で統計的に処理します。調査目的以外に使用することはありません。

2 無記名方式のため、個人が特定されることはありません。

【調査の対象】

1 旭地区に住む**15歳（令和6年4月1日現在）以上（高校生以上）の方、全員を対象**しております。
（中学生の方については、改めてアンケート調査をお願いさせていただきます）

【調査票の返信について】

1 世帯全員（15歳以上）の皆さまからの意見をいただいて、今後の地域課題に取り組んでまいりたいと思いますので、たいへんお手数をおかけしますが、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

2 ご記入後は、町内会の指示に従ってご提出ください。

○町内会長さんから ⇒ 区長さんへは、**8月の各自治会の役員の席か、それまで**にお渡しください。

○あなた（回答者）自身のことについてお聞きします。

あてはまる番号に○を付けてください。

問1	あなたの性別は？	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
問2	あなたの年齢は？ (令和6年4月1日時点)	1. 15～18歳 2. 19～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上
問3	あなたのお住まいの地区 (自治区)は？	1. 浅野自治区 2. 小渡自治区 3. 笹戸自治区 4. 敷島自治区 5. 築羽自治区
問4	あなたの出生地（お生まれ）は？	1. 旭地区内 2. 豊田市内（旭地区を除く） 3. 豊田市外
問5	あなたの家族構成は？	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子（2世代） 4. 親・子・孫（3世代） 5. その他（ ）
問6	あなたの職業は？	1. 農林漁業 2. 会社員、公務員、教員、団体職員など勤め人 3. 自営業・家族従業 4. パートタイマー・アルバイト 5. 学生 6. 専業主婦（夫） 7. 無職 8. その他（ ）
問7	問6で1～5に○をつけた方にお聞きします。あなたの勤務地（通学地）は？	1. 旭地区内 2. 豊田市内（旭地区を除く） 3. 豊田市外

1 旭地区のまちづくり全般についてお聞きします。

問8 現在の生活環境について伺います。

日常生活の満足度について、 ご自身の感覚で結構です ので、0～5の中からそれぞれ「あてはまる番号一つに○を」つけてください。	生活の満足度					
	満足	普通	不満	わからない	わからない	
① 子育て、保育のしやすい環境、雰囲気がつくられている	5	4	3	2	1	0
② 移住者、定住者を受け入れる雰囲気が地域にある	5	4	3	2	1	0
③ 家を建て（替え）られる用地の確保など環境の整備が行えている	5	4	3	2	1	0
④ 公園やスポーツ施設が安全に利用できる	5	4	3	2	1	0
⑤ 必要なものが身近で購入できる	5	4	3	2	1	0
⑥ 幹線道路や生活道路が安心・安全に通行できる	5	4	3	2	1	0
⑦ 通学や通学に必要な公共交通環境が整っている	5	4	3	2	1	0
⑧ 困ったときに助け合える近所付き合いが行われている	5	4	3	2	1	0
⑨ 町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組んでいる	5	4	3	2	1	0
⑩ 集落の維持に必要な地域活動が行われている	5	4	3	2	1	0
⑪ 地域の課題解決等に必要な団体活動を行うことができる	5	4	3	2	1	0
⑫ 高齢者や子どもを地域で支えている	5	4	3	2	1	0
⑬ 洪水・土砂災害などの災害に対する安全性が保たれている	5	4	3	2	1	0
⑭ 自主防災活動が充実している	5	4	3	2	1	0
⑮ 治安がよく、犯罪や事故に対する安全性が保たれている	5	4	3	2	1	0
⑯ 体力維持や病気予防のための取組などが充実している	5	4	3	2	1	0
⑰ 必要な医療・福祉サービスが確保されている	5	4	3	2	1	0
⑱ 高齢者が安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	0
⑲ 障がい者が安心して自分らしく暮らすことができる	5	4	3	2	1	0
⑳ 伝統文化や祭りなどの地域文化の保存、継承ができています	5	4	3	2	1	0
㉑ 豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境がある	5	4	3	2	1	0
㉒ 知識や技術を継承するのに必要な世代間交流が行われている	5	4	3	2	1	0
㉓ 来訪者に地域の素材を活かした特産品がいつでも提供できる	5	4	3	2	1	0
㉔ 観光客が訪れるイベント、観光スポットが充実している	5	4	3	2	1	0
㉕ 営農体制の維持などにより、田畑が適切に維持管理されている	5	4	3	2	1	0
㉖ 集落活動などにより、美しい農村景観が守られている	5	4	3	2	1	0
㉗ 農作物等を守るために必要な鳥獣害対策が進んでいる	5	4	3	2	1	0
㉘ 森林が健全に保全され、森林資源が有効活用されている	5	4	3	2	1	0
㉙ 「水の郷 旭」にふさわしい川を活用した取組が進んでいる	5	4	3	2	1	0

問9 今後、力を入れて取り組んで行くべきだと考える項目について伺います。

今後の取組みの重要度について、 ご自身の感覚で結構です ので、0～5の中からそれぞれ「あてはまる番号一つに○を」つけてください。	取組みの重要度					
	高い	普通	低い	わからない	わからない	
① 子育て、保育のしやすい環境づくり	5	4	3	2	1	0
② 移住者、定住者の受け入れ	5	4	3	2	1	0
③ 家を建て（替え）られる用地の確保など環境の整備	5	4	3	2	1	0
④ 公園やスポーツ施設の整備	5	4	3	2	1	0
⑤ 日用品の買い物環境の整備	5	4	3	2	1	0
⑥ 幹線道路や生活道路の整備	5	4	3	2	1	0
⑦ 通学や通学に必要な公共交通環境の整備	5	4	3	2	1	0
⑧ 困ったときに助け合える近所付き合いの充実	5	4	3	2	1	0
⑨ 町内会として解決が必要な課題や活性化に取り組む	5	4	3	2	1	0
⑩ 集落の維持に必要な地域活動の充実	5	4	3	2	1	0
⑪ 地域の課題解決等に必要な団体活動の充実	5	4	3	2	1	0
⑫ 高齢者や子どもを地域で支える取組み	5	4	3	2	1	0
⑬ 洪水・土砂災害などの災害に対する安全対策	5	4	3	2	1	0
⑭ 自主防災活動の充実	5	4	3	2	1	0
⑮ 観光のための環境整備	5	4	3	2	1	0
⑯ 体力維持や病気予防のための取組みの充実	5	4	3	2	1	0
⑰ 必要な医療・福祉サービスの確保	5	4	3	2	1	0
⑱ 高齢者が安心して暮らすことができる環境整備	5	4	3	2	1	0
⑲ 障がい者が安心して自分らしく暮らすことができる環境整備	5	4	3	2	1	0
㉑ 伝統文化や祭りなどの地域文化の保存、継承	5	4	3	2	1	0
㉒ 豊かな自然や地域資源を活かした学校などの教育、保育環境	5	4	3	2	1	0
㉓ 知識や技術を継承するのに必要な世代間交流	5	4	3	2	1	0
㉔ 地域の素材を活かした特産品の開発	5	4	3	2	1	0
㉕ 観光客が訪れるイベント、観光スポットの充実	5	4	3	2	1	0
㉖ 営農体制の維持などによる、田畑の適切な管理	5	4	3	2	1	0
㉗ 集落活動などによる、美しい農村景観の維持、管理	5	4	3	2	1	0
㉘ 農作物等を守るために必要な鳥獣害対策の推進	5	4	3	2	1	0
㉙ 森林が健全に保全され、森林資源が有効活用される取組み	5	4	3	2	1	0
㉚ 「水の郷 旭」にふさわしい川を活用した取組み	5	4	3	2	1	0

2 旭地区の施設やイベントの参加（利用）状況について伺います。

問10 下記の中から、直近5年以内に利用または見学したことがある場所や施設などの番号に○印を付けてください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------------|
| 1 矢作ダム堤内見学 | 2 貞観杉（杉本） | 3 風鈴寺（増福寺・小渡） |
| 4 お須原山（東萩平） | 5 伊熊神社の社叢 | 6 時瀬大イチョウ |
| 7 押井の磨崖仏 | 8 市平七色木・かごの木 | 9 旭地区総合体育館 |
| 10 島崎公園テニスコート | 11 島崎河川敷 | 12 笹戸河川敷 |
| 13 介木川（築羽地区内） | 14 介木川（小渡地区内） | 15 阿摺川 |
| 16 旭高原元気村 | 17 旭高原自然の家 | 18 つくラッセル（旧築羽小学校） |
| 19 ししまの家（杉本） | 20 すざん工房（杉本） | 21 老人憩いの家 あさひ荘（加増） |
| 22 おど観光やな | 23 旭地区内での川遊び | 24 旭地区内での山の散策 |
| 25 その他（ | | ） |

問10の中からお勧めしたい場所・施設の番号を選び、その理由をご記入ください。

番 号		理 由	
--------	--	--------	--

問11 下記の中から、直近5年以内に参加したことがあるイベントの番号に○印を付けてください。

- | | | |
|-----------------|------------------|--------------------|
| 1 あさひまつり（文化作品展） | 2 つくばの春まつり | 3 上中のしだれ桃 |
| 4 小渡夢かけ風鈴 | 5 マイタウン・おいでん あさひ | 6 小渡天玉祭 |
| 7 旭やまびこ花火大会 | 8 夢渡野ジャズライブ（小渡） | 9 笹戸温泉じねんじょ・もみじまつり |
| 10 山里のお蔵展（東萩平） | 11 福蔵寺のご縁市（太田） | 12 コミュニティ主催スポーツ大会 |
| 13 交流館事業 | 14 ぬくもりの里 ぬくもり祭 | 15 あさひマルシェ（小渡） |
| 16 ししまふらっと祭（杉本） | 17 すざん工房祭り（杉本） | 18 WRC（ラリージャパン） |
| 19 その他（ | | ） |

問11の中からお勧めしたいイベントの番号を選び、その理由をご記入ください。

番 号		理 由	
--------	--	--------	--

問12 下記の中から、直近5年以内に参加または見学したことがある伝統行事の番号に○印を付けてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 棒の手（地元地区） | 2 棒の手（地元以外の地区） |
| 3 打ち囃子（地元地区） | 4 打ち囃子（地元以外の地区） |
| 5 その他（ | ） |

問12の中からお勧めしたい行事の番号を選び、その理由をご記入ください。

番 号		理 由	
--------	--	--------	--

問13 自由記載欄

今後、力を入れて取り組んで行くべきだと思うことや、旭地区のまちづくりについてのご意見・ご提案をお聞かせください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。
回収用の封筒に入れて、町内会で指示のあった方法により提出をお願いします。

アンケートはバラさず、3枚とも提出してください。

令和6年7月実施

計画策定の経緯

(1) 策定の主な経過

◇旭地域会議 第2次計画の確認及び進め方の協議	2024年5月
◇「旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査」実施	2024年7～9月
◇団体ヒアリングの実施(8団体)	2024年7～9月
◇旭地域会議 前期5か年計画の振り返り及び総括	2024年10月～12月
◇「持続可能なまちづくり協議会」へのヒアリング	2025年1月～4月
◇後期5か年計画の骨子作成	2025年3月
◇後期5か年計画の内容検討	2025年4月～12月
◇後期5か年計画の策定	2026年2月

①旭地区のまちづくりを考えるアンケート調査

第2次まちづくり計画後期5か年計画の策定に向けて、今後の旭地区のまちづくりに向けた課題、現状を把握するためにアンケート調査を実施。

調査対象：旭地区に住む15歳（2024年4月1日現在）以上（義務教育を終えた方）の全員2,136人及び旭中学校の全校生徒41人の合計2,177人

実施期間：2024年7月2日（火）～9月3日（火）

回収結果：有効回答数 1,356人 有効回収率 62.3%

②団体ヒアリング（地域会議で意見交換会実施）

前期5か年計画の振り返り及び各団体が考える課題と将来像について意見交換会を実施。

対象：旭高原元気村、旭観光協会、旭交流館、ぬくもりの里、おいでん・さんそんセンター、旭商工会、旭地域バスにのろまい推進協議会

実施時期：2024年7～9月

③団体ヒアリング（書面での回答）

前期5か年計画の振り返り及び各団体が考える課題と将来像について回答書の提出を依頼。

対象：旭木の駅プロジェクト、つくラッセル、すぎん工房、わくわく事業団体
旭中学校、小渡小学校、敷島小学校、小渡こども園、杉本こども園

実施時期：2024年7～8月

(2) 策定委員

■ 地域会議委員

第 10 期（2024 年度・2025 年度）

安藤 孝之 （笹戸）	◎板倉 小夜子（敷島）
伊藤 和夫 （浅野）	伊藤 圭一 （小渡）
○稲垣 雅子 （浅野）	大塚 昌義 （浅野）
鈴木 雄也 （浅野）	富永 英明 （築羽）
鳥居 信宏 （小渡）	長澤 莊平 （敷島） ※2024 年度未退任
成瀬 初恵 （小渡）	増田 尚子 （築羽）
柳井 清一郎（笹戸）	渡邊 さとみ（敷島）

※50 音順。（ ）内は自治区名

※◎は会長、○は副会長



第2次旭地区まちづくり計画

〔2021～2030〕

後期5か年計画2026～2030

発行 旭地域会議

編集 豊田市旭支所

豊田市小渡町船戸15-1 TEL 68-2211 FAX 68-3476

asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

2026年2月